

Bluetooth 二次元スキャナ CM-601BT



アイメックス株式会社

CM601BT2306051

第1章：重要なお知らせ	18
1. 重要なお知らせ：	19
1-1 規則.....	19
1-2 日本国内の電波法に適合.....	19
1-3 ナショナルコミュニケーション委員会.....	20
1-4 RoHS指令	20
1-5 予防安全措置	21
第2章：イントロダクション.....	22
2. イントロダクション	23
2-1 製品特徴	23
2-2 製品仕様	24
2-3 同梱物	26
2-4 バーコード種別の初期値.....	27
2-5 ボタンとLEDインジケータ	29
第3章：スキャナ設定.....	30
3. スキャナ設定	31
3-1 基本設定	31
第4章：メモリ / Bluetooth モード.....	32
4. メモリ / Bluetooth モード	33
4-1 メモリモード.....	33
4-1-1 モード変更 (Bluetooth からメモリモードへ)	33
4-1-2 メモリモードで蓄積したデータの転送.....	33
4-1-3 蓄積データの消去 (データ単位 / 一括)	34
4-2 Bluetooth モード.....	35
4-2-1 モード変更 (メモリから Bluetooth モード)	35
4-2-2 Bluetooth モードのLED 表示.....	36
4-2-3 Bluetooth モード選択番号表.....	37
4-2-4 Bluetooth モード設定	38
4-2-5 Bluetooth デバイスパラメータ設定	41
第5章：Bluetooth 接続モード設定.....	45
5. Bluetooth 接続モード設定.....	46
5-1 SPP マスタ接続モード.....	46
5-2 SPP スレーブ接続モード.....	52
5-3 Bluetooth HID 接続モード.....	55
5-4 iOS 用 HID 接続.....	58
5-5 BTR-UK3 ドングルモード接続 (USB-HID / USB-VCOM)	61
5-6 SPP 自動マスタ接続モード	62
第6章：環境設定：メモリ / Bluetooth / ケーブル.....	68
6. 環境設定：メモリ / Bluetooth / ケーブル	72

6-1	メモリモードの環境設定.....	72
6-1-1	モード.....	72
6-1-2	出力インタフェース.....	73
6-1-3	読取環境の設定.....	73
6-1-4	大小ボタンの複合操作機能.....	74
6-1-5	小ボタンの操作機能.....	74
6-1-6	充電.....	75
6-1-7	正読ビープの音量.....	75
6-1-8	操作ビープの音量.....	76
6-1-9	警告ビープの音量.....	76
6-1-10	送信フォーム.....	77
6-1-11	送信完了時蓄積データ自動削除.....	77
6-1-12	送信ヘッダ.....	77
6-1-13	送信フッタ.....	78
6-1-14	正読時バイブレーション.....	78
6-1-15	操作時バイブレーション.....	78
6-1-16	警告時バイブレーション.....	79
6-1-17	読取時間.....	79
6-1-18	読取待機時間.....	80
6-1-19	スタンバイ時間.....	80
6-1-20	プリアンブル送信.....	81
6-1-21	プリアンブルデータ.....	81
6-1-22	ポストアンブル.....	82
6-1-23	ポストアンブルデータ.....	82
6-1-24	プリフィックスデータ.....	83
6-1-25	プリフィックスデータ.....	83
6-1-26	サフィックスデータ.....	84
6-1-27	サフィックスデータ.....	84
6-1-28	バーコード種別名.....	85
6-1-29	バーコード種別ID.....	85
6-1-30	バーコード種別ID表示位置.....	85
6-1-31	バーコードデータの文字数.....	86
6-1-32	Caps Lock.....	86
6-1-33	タイムスタンプ区切り.....	87
6-1-34	タイムスタンプ区切り文字.....	87
6-1-35	制御コード.....	88
6-1-36	蓄積データの送信間隔.....	88
6-1-37	日付と時刻情報送信.....	89
6-1-38	日付/時刻情報の表示位置.....	89

6-1-39	日付/時刻 区切り文字	90
6-1-40	二重読取禁止	90
6-2	Bluetooth モードの環境設定	91
6-2-1	モード	91
6-2-2	アウトプットインタフェース	92
6-2-3	アプリケーションタイプ	92
6-2-4	大小ボタンの複合操作機能	93
6-2-5	小ボタンの機能	93
6-2-6	USB 充電切替	94
6-2-7	正読ビープの音量	94
6-2-8	操作ビープの音量	95
6-2-9	警告ビープの音量	95
6-2-10	正読時バイブレーション	96
6-2-11	操作時バイブレーション	96
6-2-12	警告時バイブレーション	96
6-2-13	ペアリング有効時間	97
6-2-14	正読ビープ周波数	98
6-2-15	正読ビープ時間	98
6-2-16	正読バイブレータ時間	99
6-2-17	読取時間	100
6-2-18	読取待機時間	101
6-2-19	スタンバイ時間	101
6-2-20	プリアンブル送信	102
6-2-21	プリアンブルデータ	102
6-2-22	ポストアンブル	103
6-2-23	ポストアンブルデータ	103
6-2-24	プリフィックス	104
6-2-25	プリフィックスデータ	104
6-2-26	サフィックス	105
6-2-27	サフィックスデータ	105
6-2-28	バーコード種別名	106
6-2-29	バーコード種別 ID	106
6-2-30	バーコード種別 ID 表示位置	106
6-2-31	バーコードデータの文字数	107
6-2-32	Caps Lock	107
6-2-33	タイムスタンプ区切り	108
6-2-34	タイムスタンプ区切り文字	108
6-2-35	制御コード	109
6-2-36	日付と時刻情報送信	109

6-2-3 7	日付/時刻情報の表示位置	109
6-2-3 8	日付/時刻 区切り文字	110
6-3	ケーブルモードの環境設定	111
6-3-1	モード	111
6-3-2	出力インタフェース	112
6-3-3	読取環境の設定	112
6-3-4	大小ボタンの複合操作機能	113
6-3-5	小ボタンの操作機能	113
6-3-6	充電	114
6-3-7	正読ビープの音量	114
6-3-8	操作ビープの音量	115
6-3-9	警告ビープの音量	115
6-3-10	正読時バイブレーション	116
6-3-11	操作時バイブレーション	116
6-3-12	警告時バイブレーション	116
6-3-13	自動スキャンモード	117
6-3-14	正読ビープ 周波数	117
6-3-15	正読ビープ時間	118
6-3-16	正読バイブレータ時間	118
6-3-17	読取時間	119
6-3-18	プリアンブル送信	120
6-3-19	プリアンブルデータ	120
6-3-20	ポストアンブル	121
6-3-21	ポストアンブルデータ	121
6-3-22	プリフィックス	122
6-3-23	プリフィックスデータ	122
6-3-24	サフィックス	123
6-3-25	サフィックスデータ	123
6-3-26	バーコード種別名	124
6-3-27	バーコード種別ID	124
6-3-28	バーコード種別ID 表示位置	124
6-3-29	バーコードデータの文字数	125
6-3-30	Caps Lock	125
6-3-31	タイムスタンプ区切り	126
6-3-32	タイムスタンプ区切り文字	126
6-3-33	制御コード	127
6-3-34	日付と時刻情報送信	127
6-3-35	日付/時刻情報の表示位置	127
6-3-36	日付/時刻 区切り文字	128

第7章：環境設定.....	129
7. 環境設定.....	132
7-1 ホストインタフェース.....	132
7-1-1 バージョン.....	132
7-1-2 設定中止.....	132
7-1-3 バーコード初期化.....	133
7-1-4 全初期化.....	133
7-1-5 モード設定.....	134
7-2 データ出力インタフェース.....	135
7-2-1 USB HID キーボードタイプ.....	136
7-2-1-2 Num Lock.....	136
7-2-1-3 Shift 解除した Caps Lock.....	137
7-2-1-4 送信タイムアウト.....	137
7-2-1-5 文字間遅延間隔.....	138
7-2-1-6 文字間遅延時間.....	138
7-2-1-7 レコード間隔時間.....	139
7-2-1-8 USB HID キーボード言語.....	139
7-2-1-9 出力言語.....	140
7-2-2 USB - SPP (仮想COM) タイプ.....	141
7-2-2-1 通信プロトコル.....	141
7-2-2-2 <STX> - <ETX>パケット.....	141
7-2-2-3 バーコードとエスケープ文字.....	142
7-2-2-4 コマンドモード.....	142
7-2-2-5 再転送カウント.....	143
7-2-2-6 ACK タイムアウト.....	143
7-2-2-7 送信タイムアウト.....	144
7-2-2-8 送信文字間遅延設定.....	144
7-2-2-9 送信文字間遅延時間.....	145
7-2-2-10 送信データ間遅延時間.....	145
7-2-3 Bluetooth HID タイプ.....	146
7-2-3-1 CapsLock.....	146
7-2-3-2 Num Lock.....	146
7-2-3-3 Caps Lock 解除 (Shift + Caps Lock).....	147
7-2-3-4 Bluetooth HID キーボード設定.....	147
7-2-3-5 送信タイムアウト設定.....	148
7-2-3-6 文字間遅延間隔.....	148
7-2-3-7 文字間遅延時間.....	149
7-2-3-8 データ間遅延時間.....	149
7-2-3-9 送信言語.....	150

7-2-4 Bluetooth - SPP タイプ	151
7-2-4-1 通信プロトコル	151
7-2-4-2 <STX> - <ETX>パケット	151
7-2-4-3 <CMD>&<BAR>文字	152
7-2-4-4 コマンドモード	152
7-2-4-5 NAK 再転送回数	153
7-2-4-6 ACK タイムアウト	153
7-2-4-7 送信タイムアウト	154
7-2-4-8 文字間遅延間隔	154
7-2-4-9 文字間遅延時間	155
7-2-4-10 データ間遅延時間	155
7-2-5 メモリ HID モード	157
7-2-5-1 Caps Lock	157
7-2-5-2 Num Lock	157
7-2-5-3 Shift 解除した Caps Lock	158
7-2-5-4 メモリ HID キーボード設定	158
7-2-5-5 送信タイムアウト設定	159
7-2-5-6 文字間遅延間隔	159
7-2-5-7 文字間遅延時間	160
7-2-5-8 データ間遅延時間	160
7-2-5-9 送信言語	161
7-2-6 メモリ - SPP タイプ	162
7-2-6-1 通信プロトコル	162
7-2-6-2 <STX> - <ETX>設定	162
7-2-6-3 <CMD>&<BAR>文字	163
7-2-6-4 再転送カウント	163
7-2-6-5 ACK タイムアウト	164
7-2-6-6 送信タイムアウト	164
7-2-6-7 送信文字間遅延設定	165
7-2-6-8 送信文字間遅延時間	165
7-2-6-9 送信データ間遅延時間	166
7-3 システム制御	167
7-3-1 モード	167
7-3-2 システムビープの音量	167
7-3-3 USB ケーブル接続状態	168
7-3-4 日付形式	168
7-3-5 時間形式	169
7-3-6 システムバイブレータ	169
7-3-7 ヘッダ文字列出力	169

7-3-8	フッタ文字列出力	170
7-3-9	ヘッダにシリアル番号出力	170
7-3-10	フッタにシリアル番号出力	170
7-3-11	ヘッダ日時情報出力	171
7-3-12	フッタ日時情報出力	171
7-3-13	ヘッダ蓄積数出力	171
7-3-14	フッタ蓄積数出力	172
7-3-15	日付区切文字	172
7-3-16	時間区切文字	173
7-3-17	DLE 制御コード	173
7-3-18	ETX 制御コード	174
7-3-19	STX 制御コード	174
7-3-20	セットアップタイムアウト時間	175
7-3-21	日時情報	175
7-3-22	蓄積データのクリア	176
7-3-23	蓄積データ送信	176
7-3-24	フッタ文字	177
7-3-25	ヘッダ文字	177
7-3-26	読取エリア 中央	178
7-3-27	読取エリア 上部設定	178
7-3-28	読取エリア 下部設定	179
7-3-29	読取エリア 左側設定	179
7-3-30	読取エリア 右側設定	180
第8章	バーコード設定	181
8.	バーコード設定	182
8-1	バーコード種別の初期値一覧	182
8-2	UPC-A	184
8-2-1	読取	184
8-2-2	チェックデジット	184
8-2-3	2桁アドオンコード	184
8-2-4	5桁アドオンコード	185
8-2-5	アドオンコード	185
8-2-6	アドオン区切り	185
8-2-7	クーポン Gs1DataBar 送信	186
8-2-8	拡張クーポンコード	186
8-2-9	アドオンコード 読取時間	187
8-2-10	UPC-A を JAN-13 に変換	187
8-2-11	先頭削除文字数	188
8-2-12	末尾削除文字数	188

8-2-1 3	先頭「0」削除.....	189
8-2-1 4	データ1挿入位置.....	189
8-2-1 5	挿入データ1コード.....	190
8-2-1 6	データ2挿入位置.....	190
8-2-1 7	挿入データ2コード.....	191
8-3	UPC-E.....	192
8-3-1	読取.....	192
8-3-2	UPC-A 変換.....	192
8-3-3	チェックデジット.....	192
8-3-4	2桁アドオンコード.....	193
8-3-5	5桁アドオンコード.....	193
8-3-6	アドオンコード.....	193
8-3-7	アドオンコード 区切り.....	194
8-3-8	アドオンコード読取時間.....	194
8-3-9	先頭文字削除.....	195
8-3-1 0	末尾文字削除.....	195
8-3-1 1	先頭「0」削除.....	196
8-3-1 2	データ1挿入位置.....	196
8-3-1 3	挿入データ1コード.....	197
8-3-1 4	データ2挿入位置.....	197
8-3-1 5	挿入データ2コード.....	198
8-5	JAN-13(EAN-13).....	199
8-4-1	読取.....	199
8-4-2	チェックデジット.....	199
8-4-3	2桁アドオンコード.....	199
8-4-4	5桁アドオンコード.....	200
8-4-5	アドオンコード.....	200
8-4-6	アドオンコード区切り.....	200
8-4-7	ISBN 変換.....	201
8-4-8	アドオンコード読取時間.....	201
8-4-9	先頭文字削除.....	202
8-4-1 0	末尾文字削除.....	202
8-4-1 1	先頭「0」削除.....	203
8-4-1 2	データ1挿入位置.....	203
8-4-1 3	挿入データ1コード.....	204
8-4-1 4	データ2挿入位置.....	204
8-4-1 5	挿入データ2コード.....	205
8-5	JAN-8(EAN-8).....	206
8-5-1	読取.....	206

8-5-2	チェックデジット.....	206
8-5-3	2桁アドオンコード.....	206
8-5-4	5桁アドオンコード.....	207
8-5-5	アドオンコード.....	207
8-5-6	アドオンコード区切り.....	207
8-5-7	アドオンコード読取時間.....	208
8-5-8	先頭文字削除.....	208
8-5-9	末尾文字削除.....	209
8-5-10	先頭「0」削除.....	209
8-5-11	データ1挿入位置.....	210
8-5-12	挿入データ1コード.....	210
8-5-13	データ2挿入位置.....	211
8-5-14	挿入データ2コード.....	211
8-6	Msi.....	212
8-6-1	読取.....	212
8-6-2	チェックサム検証.....	212
8-6-3	最小コード長.....	213
8-6-4	最大コード長.....	213
8-6-5	先頭文字削除.....	214
8-6-6	末尾文字削除.....	214
8-6-7	先頭「0」削除.....	215
8-6-8	データ1挿入位置.....	215
8-6-9	挿入データ1コード.....	216
8-6-10	データ2挿入位置.....	216
8-6-11	挿入データ2コード.....	217
8-7	Gs1Databar.....	218
8-7-1	<i>Omnidirectional</i> 読取.....	218
8-7-2	<i>Limited</i> 読取.....	218
8-7-3	<i>Expanded</i> 読取.....	218
8-7-4	最小コード長.....	219
8-7-5	最大コード長.....	219
8-7-6	先頭文字削除.....	220
8-7-7	末尾文字削除.....	221
8-7-8	先頭「0」削除.....	221
8-7-9	データ1挿入位置.....	222
8-7-10	挿入データ1コード.....	223
8-7-11	データ2挿入位置.....	224
8-7-12	挿入データ2コード.....	225
8-8	GS1Databar 合成シンボル.....	226

8-8-1 読取.....	226
8-8-2 JAN/UPC バージョン.....	226
8-8-3 Gs1Emulation.....	227
8-8-3 GS1 エミュレーション.....	227
8-9 Codablock	228
8-9-1 Codablock 読取.....	228
8-9-2 CodablockF 読取.....	228
8-9-3 最小コード長.....	229
8-9-4 最大コード長.....	229
8-9-5 先頭文字削除.....	230
8-9-6 末尾文字削除.....	230
8-9-7 先頭「0」削除.....	231
8-9-8 データ1挿入位置.....	231
8-9-9 挿入データ1コード.....	232
8-9-10 データ2挿入位置.....	232
8-9-11 挿入データ2コード.....	233
8-10 PDF417.....	234
8-10-1 PDF417 読取.....	234
8-10-2 MacroPDF417 読取.....	234
8-10-3 低品質PDFコード読取.....	234
8-10-4 MicroPDF417 読取.....	235
8-10-5 最小コード長.....	235
8-10-6 最大コード長.....	236
8-10-7 先頭文字削除.....	236
8-10-8 末尾文字削除.....	237
8-10-9 先頭「0」削除.....	237
8-10-10 データ1挿入位置.....	238
8-10-11 挿入データ1コード.....	238
8-10-12 データ2挿入位置.....	239
8-10-13 挿入データ2コード.....	239
8-11 TLC39.....	240
8-11-1 読取.....	240
8-11-2 先頭文字削除.....	240
8-11-3 末尾文字削除.....	241
8-11-4 先頭「0」削除.....	241
8-11-5 データ1挿入位置.....	242
8-11-6 挿入データ1コード.....	242
8-11-7 データ2挿入位置.....	243
8-11-8 挿入データ2コード.....	243

8-1 2 QR コード	244
8-1 2-1 読取.....	244
8-1 2-2 連結 QR コード.....	244
8-1 2-3 最小コード長.....	245
8-1 2-4 最大コード長.....	245
8-1 2-5 先頭文字削除.....	246
8-1 2-6 末尾文字削除.....	246
8-1 2-7 先頭「0」削除.....	247
8-1 2-8 データ1挿入位置.....	247
8-1 2-9 挿入データ1コード.....	248
8-1 2-10 データ2挿入位置.....	248
8-1 2-11 挿入データ2コード.....	249
8-1 3 DataMatrix	250
8-1 3-1 読取.....	250
8-1 3-2 最小コード長.....	250
8-1 3-3 最大コード長.....	251
8-1 3-4 先頭文字削除.....	251
8-1 3-5 末尾文字削除.....	252
8-1 3-6 先頭「0」削除.....	252
8-1 3-7 データ1挿入位置.....	253
8-1 3-8 挿入データ1コード.....	253
8-1 3-9 データ2挿入位置.....	254
8-1 3-10 挿入データ2コード.....	254
8-1 4 MaxiCode	255
8-1 4-1 読取.....	255
8-1 4-2 最小コード長.....	255
8-1 4-3 最大コード長.....	256
8-1 4-4 先頭文字削除.....	256
8-1 4-5 末尾文字削除.....	257
8-1 4-6 先頭「0」削除.....	257
8-1 4-7 データ1挿入位置.....	258
8-1 4-8 挿入データ1コード.....	258
8-1 4-9 データ2挿入位置.....	259
8-1 4-10 挿入データ2コード.....	259
8-1 5 AZTEC	260
8-1 5-1 読取.....	260
8-1 5-2 連結 AZTEC.....	260
8-1 5-3 最小コード長.....	261
8-1 5-4 最大コード長.....	261

8-1 5-5	先頭文字削除	262
8-1 5-6	末尾文字削除	262
8-1 5-7	先頭「0」削除	263
8-1 5-8	データ1挿入位置	263
8-1 5-9	挿入データ1コード	264
8-1 5-10	データ2挿入位置	264
8-1 5-11	挿入データ2コード	265
8-1 6	ChineseSensible(HanXin)	266
8-1 6-1	読取	266
8-1 6-2	最小コード長	266
8-1 6-3	最大コード長	267
8-1 6-4	先頭文字削除	267
8-1 6-5	末尾文字削除	268
8-1 6-6	先頭「0」削除	268
8-1 6-7	データ1挿入位置	269
8-1 6-8	挿入データ1コード	269
8-1 6-9	データ2挿入位置	270
8-1 6-10	挿入データ2コード	270
8-1 7	Codabar (NW7)	271
8-1 7-1	読取	271
8-1 7-2	スタート/ストップ出力	271
8-1 7-3	チェックサム検証	272
8-1 7-4	連結	272
8-1 7-5	最小コード長	273
8-1 7-6	最大コード長	273
8-1 7-7	連続確認	274
8-1 7-8	連結確認時間	274
8-1 7-9	先頭文字削除	275
8-1 7-10	末尾文字削除	275
8-1 7-11	先頭「0」削除	276
8-1 7-12	データ1挿入位置	276
8-1 7-13	挿入データ1コード	277
8-1 7-14	データ2挿入位置	277
8-1 7-15	挿入データ2コード	278
8-1 8	Code39	279
8-1 8-1	読取	279
8-1 8-2	チェックサム検証	279
8-1 8-3	スタート/ストップ出力	280
8-1 8-4	タイプ	280

8-1 8-5 最小コード長.....	281
8-1 8-6 最大コード長.....	281
8-1 8-7 連続読取確認.....	282
8-1 8-8 Code32 フォーム.....	282
8-1 8-9 先頭文字削除.....	283
8-1 8-10 末尾文字削除.....	283
8-1 8-11 先頭「0」削除.....	284
8-1 8-12 データ1挿入位置.....	284
8-1 8-13 挿入データ1コード.....	285
8-1 8-14 データ2挿入位置.....	285
8-1 8-15 挿入データ2コード.....	286
8-1 9 Interleaved2of5 (ITF).....	287
8-1 9-1 読取.....	287
8-1 9-2 チェックサム検証.....	287
8-1 9-3 最小コード長.....	288
8-1 9-4 最大コード長.....	288
8-1 9-5 先頭文字削除.....	289
8-1 9-6 末尾文字削除.....	289
8-1 9-7 先頭「0」削除.....	290
8-1 9-8 データ1挿入位置.....	290
8-1 9-9 挿入データ1コード.....	291
8-1 9-10 データ2挿入位置.....	291
8-1 9-11 挿入データ2コード.....	292
8-2 0 NEC 2of5.....	293
8-2 0-1 読取.....	293
8-2 0-2 チェックサム検証.....	293
8-2 0-3 最小コード長.....	294
8-2 0-4 最大コード長.....	294
8-2 0-5 先頭文字削除.....	295
8-2 0-6 末尾文字削除.....	295
8-2 0-7 先頭「0」削除.....	296
8-2 0-8 データ1挿入位置.....	296
8-2 0-9 挿入データ1コード.....	297
8-2 0-10 データ2挿入位置.....	297
8-2 0-11 挿入データ2コード.....	298
8-2 1 Code93.....	299
8-2 1-1 読取.....	299
8-2 1-2 付加.....	299
8-2 1-3 最小コード長.....	300

8-2 1-4	最大コード長	300
8-2 1-5	先頭文字削除	301
8-2 1-6	末尾文字削除	301
8-2 1-7	先頭「0」削除	302
8-2 1-8	データ1挿入位置	302
8-2 1-9	挿入データ1コード	303
8-2 1-10	データ2挿入位置	303
8-2 1-11	挿入データ2コード	304
8-2 2	Straight2of5(Industrial2of5)	305
8-2 2-1	読取	305
8-2 2-2	最小コード長	305
8-2 2-3	最大コード長	306
8-2 2-4	Straight2of5 IATA 連続読取確認	306
8-2 2-5	先頭文字削除	307
8-2 2-6	末尾文字削除	307
8-2 2-7	先頭「0」削除	308
8-2 2-8	データ1挿入位置	308
8-2 2-9	挿入データ1コード	309
8-2 2-10	データ2挿入位置	309
8-2 2-11	挿入データ2コード	310
8-2 3	Matrix2of5	311
8-2 3-1	読取	311
8-2 3-2	最小コード長	311
8-2 3-3	最大コード長	312
8-2 3-4	先頭文字削除	312
8-2 3-5	末尾文字削除	313
8-2 3-6	先頭「0」削除	313
8-2 3-7	データ1挿入位置	314
8-2 3-8	挿入データ1コード	314
8-2 3-9	データ2挿入位置	315
8-2 3-10	挿入データ2コード	315
8-2 4	Code11	316
8-2 4-1	読取	316
8-2 4-2	チェックサム検証	316
8-2 4-3	最小コード長	317
8-2 4-4	最大コード長	317
8-2 4-5	先頭文字削除	318
8-2 4-6	末尾文字削除	318
8-2 4-7	先頭「0」削除	319

8-24-8	データ1挿入位置	319
8-24-9	挿入データ1コード	320
8-24-10	データ2挿入位置	320
8-24-11	挿入データ2コード	321
8-25	Code128	322
8-25-1	読取	322
8-25-2	付加	322
8-25-3	ISBT 連結	323
8-25-4	最小コード長	323
8-25-5	最大コード長	324
8-25-6	先頭文字削除	324
8-25-7	末尾文字削除	325
8-25-8	先頭「0」削除	325
8-25-9	データ1挿入位置	326
8-25-10	挿入データ1コード	326
8-25-11	データ2挿入位置	327
8-25-12	挿入データ2コード	327
8-26	GS1-128	328
8-26-1	読取	328
8-26-2	最小コード長	328
8-26-3	最大コード長号長	329
8-26-4	先頭文字削除	329
8-26-5	末尾文字削除	330
8-26-6	先頭「0」削除	330
8-26-7	データ1挿入位置	331
8-26-8	挿入データ1コード	331
8-26-9	データ2挿入位置	332
8-26-10	挿入データ2コード	332
8-27	二次元郵便コード	333
8-27-1	読取	333
8-27-2	Postnet チェックデジット送信	334
8-27-3	Plant チェックデジット送信	334
8-27-4	先頭文字削除	335
8-27-5	末尾文字削除	336
8-27-6	先頭「0」削除	337
8-27-7	データ1挿入位置	338
8-27-8	挿入データ1コード	339
8-27-9	データ2挿入位置	340
8-27-10	挿入データ2コード	341

8-28 Gs1 AI および GS1 FNC1	342
8-28-1 AI 区切り	342
8-28-2 AI 区切り文字	342
8-28-3 FNC1 区切り	343
8-28-4 FNC1 区切り文字	343
8-29 バーコード種別	344
8-29-1 バーコード種別 ID 初期値	344
8-29-2 バーコード種別 ID コード	346
16進数 / 10進数 表	348
ASCIIコード表	349
BTR-UK3 ドングル言語設定	350

第1章：重要なお知らせ

- 1-1 規則
- 1-2 日本国内の電波法に適合
- 1-3 ナショナルコミュニケーション委員会
- 1-4 RoHS指令
- 1-5 安全なための予防対策

1. 重要なお知らせ：

1-1 規則

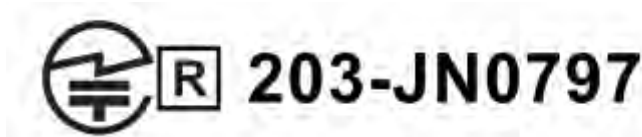
この装置はFCC規則の第15部に従います。オペレーションが次の2つの状態の適用を受けます：(1) この装置は有害な妨害を起こさないかもしれませんが、そして(2) この装置は、望まれていないオペレーションを起こすかもしれない干渉を含めて、受けられたどんな干渉でも受け入れなくてはなりません。

この装置はテストされて、そして、FCC規則の第15部に従って、クラスBデジタルデバイスのために限度に従うために見つけられました。これらの制限は在宅の就任で有害な妨害に対して適正な保護を供給するよう意図されます。この装置は使用と容器によって放射された高周波エネルギーを生み出して、そして、もしインストラクションに従ってインストールされて、そして使われないなら、無線通信に有害な妨害を起こすかもしれません。しかしながら、もしこの装置が、装置をON・OFFにすることによって、決定されることが出来るラジオあるいはテレビ視聴に有害な妨害を起こすなら、干渉が特定の設備で起こらないであろうという保証がありません、ユーザーは次の基準の1つ以上によって干渉を修正しようとするよう奨励されます：

- 受信アンテナを移すか、あるいは移動させてください。
- 装置とレシーバーの間で分離を増やしてください。
- 装置を受話器が接続しているそれと異なったサーキットの上にコンセントに接続してください。

1-2 日本国内の電波法に適合

証明書番号：203-JN0797



1-3 ナショナルコミュニケーション委員会

NCC 登録番号： NCC - RCB -12

適合シリアル番号：

 **CCAL17LP2000T0**

1-4 RoHS 指令

RoHS 指令（欧州会議指令 2002/95/EC）は、ヨーロッパ市場で売られる電気・電子機器の製作会社が以下の材料を製品から最小限の使用または除去することを命じます。：



1. 鉛
2. 水銀
3. カドミウム
4. 六価クロム
5. ポリ臭素化ビフェニル (PBB)
6. ポリ臭素化ジフェニルエーテル (PBDE)

これらの材料は、2006年7月1日までに適切なレベル（指令によって発表されるように）に下げなければなりません。

テクノロジーは、環境を約束しました。そして、指令に従うために弊社製品に必要な変更をもたらします。これは、弊社製品の大部分の不従順な構成要素（エレクトロニクス、PCボードなど）を条件に適合した等価物に換えることが必要です。弊社も集会プロセス（はんだ、接着剤、その他）を指令に完全に対応する物に変えました。これらの変化は、弊社製品の形、サイズまたは機能に影響を及ぼしません。そして、重要なことは、信頼性です。そしてパフォーマンスは、同じ状態のままです。

1-5 予防安全措置

- スキャン用の光源を直視しないでください。
- バーコード読取用窓の透明な板に触れないでください。もし、窓が汚れたり傷ついたら、読み取り精度が低下します。
- スキャナ内部のコンポーネントを逆アSEMBル、あるいは修正しないでください。
- スキャナを火の中に投入しないでください。
- バッテリーを過充電しないでください。

リチウムイオンポリマバッテリー

- リチウムイオンポリマバッテリーのエネルギー密度は 400Wh/L より小さいです。そのため、PSE 認可をこの製品では必要としません。
- 最初に、初充電はバッテリーをフル充電するために4時間必要です。
- バッテリーの取り外しや分解を行わないでください。
- バッテリーの充電には、推奨する AC アダプタをご使用ください。
- 充電中に、もしLEDインジケータが急速に赤色に点滅を続けるなら、速やかに充電を取り止めて、そしてスキャナを購入店へお返してください。
- バッテリーから液漏れあるいは異臭を感じたら、直ちに操作を止めてスキャナを購入店へお返してください。
- バッテリーから液漏れが生じたら、皮膚や目に接触しないようにしてください。バッテリーの液漏れを洗い流して、きれいな水で患部をすすいで、そしてすぐに医者に相談してください。
- 最初にスキャナを受け取りましたら、必ずバッテリーをフル充電してください。

第2章：イントロダクション

- 2-1 製品の特徴
- 2-2 製品仕様
- 2-3 同梱物
- 2-4 バーコード種別の初期値
- 2-5 ボタンとLEDインジケータ

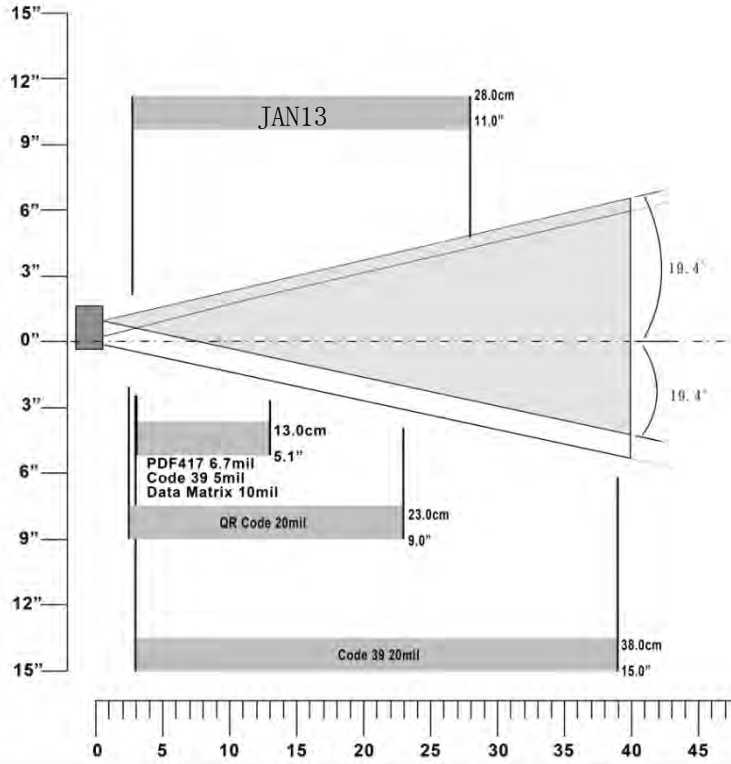
2. イントロダクション

2-1 製品特徴

- 人間工学的デザインで軽量
- 選べる3つのモード（Bluetooth / メモリ / USB ケーブル）
- USB ケーブルは、有線スキャナ、フラッシュメモリからデータ転送、バッテリー充電用ケーブルとして使用できます。
- 6種類の Bluetooth 通信モード（SPP マスタ/SPP スレーブ/USB HID/iOS HID/BTR-UK3/SPP 自動マスタ）で PC、携帯電話、PDA、BTR-UK3 ドングル間で通信できます。
- 設定可能なタイムスタンプと出力データフォーマット
- 可変なビープ音程と音量
- フラッシュメモリに 130,000 件のデータ（JAN13 でタイムスタンプ付き）蓄積可能

2-2 製品仕様

項目	内容
ケーブルインタフェース	USB HID キーボード、USB 仮想シリアル
読取バーコード種別	バーコード : JAN/EAN/UPC、GS1 Databar (RSS)、Code 39、Code 128、GS1-128、ISBN、ISBT、Interleaved 2of5、Matrix 2of5、Industrial 2of5、Standard 2of5、Codabar、Code 93/93i、Code 11、MSI
	二次元コード : PDF417、MicroPDF417、Data Matrix、QR Code、MicroQR Code、Aztec Code、MaxiCode、Codablock A、Codablock F、Chinese Sensible (Han/Xin) Code
	郵便コード : Australian Post、British Post、Canadian Post、China Post、Japanese Post、Korea Post、Netherlands Post、Planet Post、Postnet
光学解像度	640×480 ピクセル
PCS 値	0.3 以上
スキャン速度	30 フレーム/秒
読取角度	回転 : ±180°、上下 : ±45°、傾き : ±45°
視野	水平線 : 37.8°、垂直 : 28.8°
読取深度	最短距離 : 50mm (Code 39、PSC 0.9、0.396mm) 最長距離 : 250mm (Code 39、PSC 0.9、0.396mm)
正読インジケータ	緑色 LED とブザー
LED インジケータ	三色 : 赤色、緑色、青色
照明と照準	照明 : 白色 LED / 照準 : 赤色 LED 四角
設定	ユーザマニュアル (設定バーコード)
重量	87g
外形寸法	135 (L) x 41mm (W) x 29.9mm (H)
環境湿度	5%~95% (結露無きこと)
Bluetooth	Bluetooth Class1、100m (見通し距離)、 プロファイル : SPP・HID・iOS HID
動作温度	-10℃ ~ 40℃
保存温度	-40℃ ~ 60℃

落下試験	1.2m																												
安全基準	FCC & CE Class B、VCCI																												
バッテリー	リチウムポリマ充電式電池 (3.7V, 1100mAh) /充電 : USB																												
耐周辺光	0 から 100,000 ルックスで読取許可能																												
消費電流	最大 400mA (通常動作時)、25mA (待機時)																												
読取深度	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>バーコード種別</th> <th>細バー</th> <th>最小距離</th> <th>最大距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JAN13</td> <td>100%</td> <td>55mm</td> <td>280mm</td> </tr> <tr> <td>Code39</td> <td>0.127mm</td> <td>61mm</td> <td>130mm</td> </tr> <tr> <td>Code39</td> <td>0.508mm</td> <td>60mm</td> <td>380mm</td> </tr> <tr> <td>PDF417</td> <td>0.170mm</td> <td>60mm</td> <td>125mm</td> </tr> <tr> <td>Data Matrix</td> <td>0.254mm</td> <td>60mm</td> <td>130mm</td> </tr> <tr> <td>QR Code</td> <td>0.508mm</td> <td>50mm</td> <td>230mm</td> </tr> </tbody> </table>	バーコード種別	細バー	最小距離	最大距離	JAN13	100%	55mm	280mm	Code39	0.127mm	61mm	130mm	Code39	0.508mm	60mm	380mm	PDF417	0.170mm	60mm	125mm	Data Matrix	0.254mm	60mm	130mm	QR Code	0.508mm	50mm	230mm
バーコード種別	細バー	最小距離	最大距離																										
JAN13	100%	55mm	280mm																										
Code39	0.127mm	61mm	130mm																										
Code39	0.508mm	60mm	380mm																										
PDF417	0.170mm	60mm	125mm																										
Data Matrix	0.254mm	60mm	130mm																										
QR Code	0.508mm	50mm	230mm																										

2-3 同梱物

発注内容によっては、パッケージの中身が標準品と異なることもあります。

パッケージの中に、次の項目が含まれています：

CM-601BT 本体

同梱案内書

シリコンカバー

ネックストラップ

USB ケーブル

マニュアル・ドライバ関係は、ホームページよりダウンロードにて入手可能です。

マニュアル関係：<https://www.aimex.co.jp/manual>

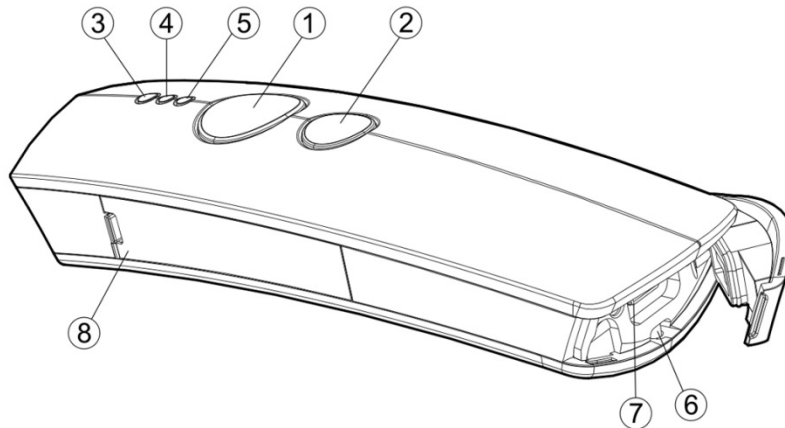
ドライバ関係：<https://www.aimex.co.jp/software>

2-4 バーコード種別の初期値

バーコード種別		初期値
UPC-A		読取許可
UPC-E		読取許可
JAN-13 (EAN-13)		読取許可
JAN-8 (EAN-8)		読取許可
Msi		読取禁止
GS1 Databar	Omnidirectional	読取許可
	Limited	読取許可
	Expanded	読取許可
GS1 Composite		読取禁止
Codablock	CodablockA	読取禁止
	CodablockF	読取禁止
PDF417	PDF417	読取許可
	MacroPdf417	読取禁止
	MicroPdf417	読取許可
Tlc39		読取禁止
QR		読取許可
DataMatrix		読取許可
MaxiCode		読取禁止
Aztec		読取許可
ChineseSensible (HanXinCode)		読取禁止
Codabar (Nw7)		読取許可
Code39		読取許可
Code93		読取許可
Interleaved 2of5		読取許可
NEC 2of5		読取許可

Straight 2of5	Straight 2of5 (Industrial 2of5)	読取禁止
	Straight 2of5 IATA	読取禁止
Matrix 2of5		読取禁止
Code 11		読取禁止
Code 128		読取許可
GS1-128		読取許可
2D Postal		読取禁止
China Post (HongKong 2of5)		読取禁止
Korea Post		読取禁止

2-5 ボタンとLEDインジケータ



- ①大ボタン（トリガ）：押している間バーコードの読み取りを継続し、読取を完了するとデータ送信または保存し照明を消灯します。
- ②小ボタン（電源）：多彩な付加機能を割り当てることができます。
- ・メモリモード：ボタンを押すことで蓄積したモードを消去します。
 - ・Bluetoothモード：大ボタンの組合せでペアリングを開始します。また、電源をON/OFFします。
- ③正読インジケータ：読取完了を知らせます。読取成功するとLEDが緑色点灯します。
- ④モードインジケータ：動作モードを色で表示します。
- ・Bluetoothモード：青色
 - ・USBケーブルモード：緑色
 - ・メモリモード：橙色
- ⑤電源インジケータ：充電状態を表示します。
- ・充電状態：USBケーブルで充電を開始すると赤色点灯します。充電が完了するとゆっくりと赤色点滅をします。
 - ・動作状態：USBケーブル接続していない状況で赤色点滅したら充電不足です。
- ⑥ストラップ穴：ネックストラップを取り付けます。
- ⑦USBポート：USBケーブルでホストと接続するとデータ転送を行うことができます。または、バッテリーの充電を開始します。
- ⑧バッテリー交換口：バッテリー交換時に開口しますが、お客様自身での交換は推奨しておりませんのでカバーを開けないでください。

第3章：スキャナ設定

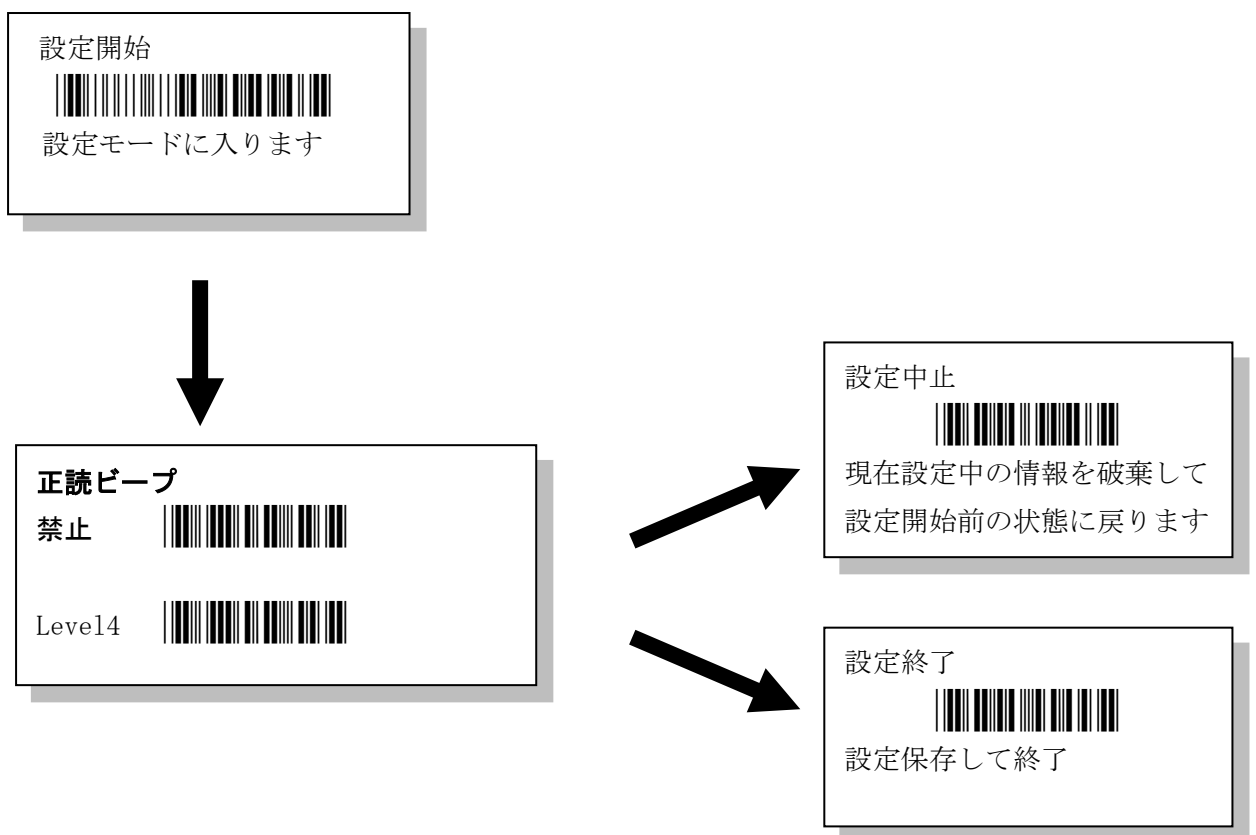
3-1 ユーザマニュアルでの設定変更

3. スキャナ設定

3-1 基本設定

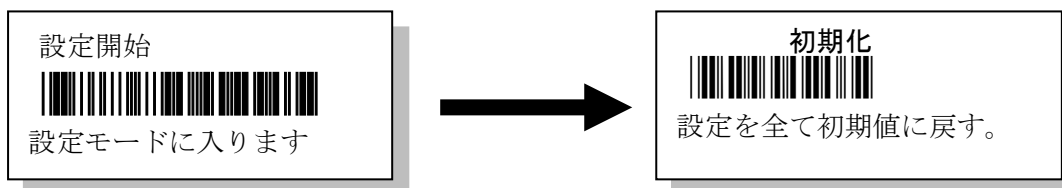
スキャナを設定するために「設定開始」、「各種設定」「設定終了／設定中止」の順で設定バーコードをスキャンしてください。

例：



もし、スキャナの動作が異なる場合には、初期化を行ってください。

「**初期化**」は、ユーザーが設定した内容を全て初期値に戻します。仕様に合わせて再度設定を行ってください。



第4章：メモリ / Bluetooth モード

4-1 メモリモード

4-1-1 モード変更 (Bluetooth からメモリモードへ)

4-1-2 メモリモードでのバーコードデータ転送

4-1-3 バーコードデータの消去 (データ単位 / 一括)

4-2 Bluetooth モード

4-2-1 モード変更 (メモリからBluetooth モードへ)

4-2-2 Bluetooth モードの LED 表示

4-2-3 Bluetooth モード選択番号表

4-2-4 Bluetooth モードの設定

4-2-4-1 SPP スレーブモード (モード選択番号:1)

4-2-4-2 SPP マスタモード (モード選択番号: 2)

4-2-4-3 HID モード (モード選択番号: 3)

4-2-4-4 iOS 用 HID モード (モード選択番号: 4)

4-2-4-5 BTR-UK3 ドングルモード (モード選択番号: 5)

4-2-4-6 自動マスタモード (モード選択番号: 9)

4-2-5 Bluetooth パラメータ設定

4-2-5-1 Bluetooth デバイスのローカル名

4-2-5-2 リモート接続 Bluetooth アドレス

4-2-5-3 PIN コード

4. メモリ / Bluetooth モード

この章はメモリ機能と Bluetooth 機能の違いについて説明します。

4-1 メモリモード

4-1-1 モード変更 (Bluetooth からメモリモードへ)

Bluetooth モードからメモリモードに変える方法が 2 通りあります：

- 1) 大ボタンを長い間押し続けて正読 LED が橙色に点灯しビープ音が鳴ったら、大ボタンを解放してモードが変更されます。LED が橙色に点灯したら、メモリモードへ変更されました。

または、

- 2) Bluetooth モードからメモリモードに変わるために次のバーコードをスキャンしてください。

(1) 設定開始：(設定モード)



(2) メモリモードに変更



※※メモリモードは、初期値で禁止設定になっております。許可するためには、「7-3-1 モード」項目で「ケーブル&メモリ&Bluetooth」を先に設定してください。

4-1-2 メモリモードで蓄積したデータの転送

バーコードスキャナから蓄積データを転送する方法が 2 通りあります。

- 1) スキャナと PC の間を USB ケーブルで接続してください；
 - (1) 小ボタンを押し続けて正読 LED が橙色点灯した後に、ビープ音が鳴りましたら小ボタンを離すと「転送モード」になります。
 - (2) 大ボタンを押して蓄積データの転送を開始します。

ホスト側でアクティブなソフトウェア（例えば Word、Excel、メモ帳など）に蓄積データが入力されます。

2) スキャナとPCの間をUSBケーブルで接続してください。そして下記のバーコードをスキャンしてください。

(1) データ転送



(2) 大ボタンを押してデータを転送

4-1-3 蓄積データの消去（データ単位 / 一括）

データ単位の消去：

小ボタンを押して削除したいデータと同じバーコードをスキャンします。蓄積データの最初から検索をして、一致した蓄積データ1件を削除します。

※USBケーブルは接続しない状態で作業してください。

全データの一括消去：

1. 小ボタンを押し続けて正読LEDが橙色の高速点滅することを確認してください。
2. 大ボタンを押してください。
3. 大ボタンと小ボタンの両方を一緒に解放してください。メモリに保存された蓄積データは、全て消去します。

※USBケーブルは接続しない状態で作業してください。

または、

下記のバーコードをスキャンしてください。：

(1) メモリクリア



警告：

「メモリクリア」のバーコードをスキャンするとメモリに保存している全ての蓄積データを消去しますので、事前に蓄積データの転送（バックアップ）を実施してください。

4-2 Bluetooth モード

Bluetooth 通信環境に合わせた Bluetooth 接続モードを設定できます。

1. SPP スレーブモード (外付け Bluetooth デバイス対応)
2. SPP マスタモード (外付け Bluetooth デバイス対応)
3. **HID モード (外付け Bluetooth デバイス対応) ・ ・ 初期値**
4. iOS HID モード (iOS 搭載 [iPad、iPhone など] デバイス対応)
5. BTR-UK3 ドングルモード (専用ドングル、USB HID/USB 仮想シリアル対応)
6. SPP 自動マスタモード (外付け Bluetooth デバイス対応 - BT アドレス不要)

4-2-1 モード変更 (メモリから Bluetooth モード)

メモリモードから Bluetooth モードに変更する方法が 2 通りあります。

※初期値ではメモリモードを禁止していますので下記の操作は無効です。

1. 大ボタンを長い間押し続けて正読 LED が橙色に点灯しビープ音が鳴ったら、大ボタンを解放してモードが変更されます。

または、

2. メモリモードから Bluetooth モードに変わるために下記のバーコードをスキャンしてください。

(1) 設定開始 (設定モード)



(2) Bluetooth 通信モード



※モードインジケータ LED が青色に点灯したら、Bluetooth モードへ変更されました。

4-2-2 インジケータ LED 表示

	記述
赤色	充電状態を示します。 バッテリーの残容量が少なくなると、赤色 LED 表示で充電要求を知らします。 充電プロセスが完了すると、赤色 LED がゆっくり点滅に変わりフル充電を知らせます。
緑色	正読状態を示します。 バーコードの読み取りを完了して、正常にデータ解読したことを知らせます。
青色	Bluetooth モードを示します。 Bluetooth 未接続では、LED が 1 秒間に 3 回青色点滅します。
	Bluetooth モードで Bluetooth 未接続ならば、小ボタンを押し続けるとビープ音が 3 回鳴ったら大ボタンを押してビープ音が 4 回鳴ったら大ボタンと小ボタンの両方を解放します。 ペアリングが開始されます。
	起動状態で Bluetooth 接続されているなら、青色 LED が点灯します。

4-2-3 Bluetooth モード選択番

Bluetooth モード選択番号表		
モード	対 象	モード選択番号
SPP スレーブモード	外付け Bluetooth ドングル、あるいは 内蔵 Bluetooth デバイス	1
SPP マスタモード	外付け Bluetooth ドングル、あるいは 内蔵 Bluetooth デバイス	2
HID モード	HID 機能をサポートした外付け Bluetooth ドングル、あるいは 内蔵 Bluetooth デバイス	3
iOS HID モード	iPad、iPhone デバイス iOS 搭載の Bluetooth デバイス	4
BTR-UK3 ドングルモード	専用ドングル USB HID または USB 仮想シリアル インタフェース	5
SPP 自動マスタモード	外付け Bluetooth ドングル、あるいは 内蔵 Bluetooth デバイスで BT アドレスの指定無しでペアリング	9

4-2-4 Bluetooth モード設定

- **SPP スレーブモード設定** ; 下記のバーコードを順番にスキャンしてください。
このモードは、外付け Bluetooth アダプタ、あるいは 内蔵 Bluetooth デバイスと SPP スレーブ通信の設定を行います。

設定手順 :	
(1) 設定開始 : (設定モード)	
(2) モード : (スレーブ設定)	
(3) 設定終了 : (設定保存)	




- **SPP マスタモード設定** ; 下記のバーコードを順番にスキャンしてください。
このモードは、外付け Bluetooth アダプタ、あるいは 内蔵 Bluetooth デバイスと SPP マスタ通信の設定を行います。

設定手順 :	
(1) 設定開始 : (設定モード)	
(2) モード : (マスタ設定)	
(3) 設定終了 : (設定保存)	
(4) 接続先の Bluetooth アドレス ※	

※ 4-2-5-2 接続先 Bluetooth アドレスを参照してください。




- **HID モード設定 (初期値)** ; 下記のバーコードを順番にスキャンしてください。
このモードは、USB HID をサポートしている外付け Bluetooth アダプタ、あるいは 内蔵 Bluetooth デバイスと Bluetooth HID キーボード通信の設定を行います。

設定手順 :

- | | |
|---------------------|--|
| (1) 設定開始 : (設定モード) |  |
| (2) モード : (HID 設定) |  |
| (3) 設定終了 : (設定保存) |  |






- **iOS HID 設定** ; 下記のバーコードを順番にスキャンしてください。
このモードは、iOS 搭載 (iPad、iPhone、iPod touch など) の Bluetooth デバイスと iOS 対応 Bluetooth HID キーボードの設定を行います。
※小ボタンを押してソフトキーの出し入れをサポートしています。

設定手順 :

- | | |
|------------------------|---|
| (1) 設定開始 : (設定モード) |  |
| (2) モード : (iOS HID 設定) |  |
| (3) 設定終了 : (設定保存) |  |

- **BTR-UK3 ドングル設定**；下記のバーコードを順番にスキャンしてください。

このモードは、BTR-UK3 ドングル接続の設定を行います。

設定手順：	
(1) 設定開始：(設定モード)	
(2) モード：(BTR-UK3)	
(3) 設定終了：(設定保存)	
(4) ドングルのバーコード	 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">サンプル</div>  <small>ZBT200037A53E0B7</small>

※BTR-UK3 は、USB HID または USB 仮想シリアルインタフェースの切り替えを行います。

- **SPP 自動マスタモード設定**；下記のバーコードを順番にスキャンしてください。

外付けの Bluetooth アダプタ、あるいは 内蔵 Bluetooth デバイスと SPP マスタ通信で接続先を指定しない方式で接続する設定を行います。

設定手順：	
(1) 設定開始：(設定モード)	
(2) モード：(SPP 自動マスタ)	
(3) 設定終了：(設定保存)	

※自動マスタモードは、接続先の Bluetooth アドレスを登録しないでペアリングできます。





4-2-5 Bluetooth デバイスパラメータ設定

• Bluetooth デバイス名設定 ;

Bluetooth スレーブ、マスタ、HID、iOS HID、自動マスタの各モードに対応しています。
ASCII テーブル表を参照して 16 進数 (0~9、A~F) で指定します。最初の文字と最後の文字は、スペースあるいは “-” を使用できません。デバイス名が正しくない場合に接続エラーが発生します。

形状	ローカル名の文字数	初期値
ASCII テーブルを参照ください	16 文字	「SmartBt」

設定手順 :

- (1) 設定開始 : (設定モード) 
- (2) 「Bluetooth ローカル名」 
- (3) 入力パラメーターは 16 進数設定バーコードをスキャンしてください。
- (4) 確定 : (数値確定) 
- (5) 設定終了 : (設定保存) 

入力例 :

ローカル名を「BT Scanner」と設定する場合 :





- (A) 「設定開始」バーコードをスキャン
- (B) 「Bluetooth ローカル名」バーコードをスキャン
- (C) 16 進数バーコード表 = > 「4」、「2」、「5」、「4」、「2」、「0」、「5」、「3」、「6」、「3」、「6」、「1」、「6」、「E」、「6」、「E」、「6」、「5」、「7」、「2」
(名前「BT Scanner」に設定、ASCII テーブルを参照ください)
- (D) 確定バーコード=>、「確定(OK)」
- (E) 「設定終了」バーコードをスキャン

・接続先 Bluetooth アドレス設定；

接続先 Bluetooth アドレスを設定します。 16進数で12桁（0～9、A～F）を「HEX ASCII テーブル」のバーコードをスキャンしてください。

設定コード	Bluetooth アドレス	初期値
16進数 /10進数 バーコード	12桁	000000000000

設定手順：

- (1) 設定開始：(設定モード) 
- (2) 「Bluetooth アドレス」 
- (3) 入力パラメーターは、16進数/10進数の設定バーコードをスキャンしてください。
- (4) 確定：(数値確定) 
- (5) 設定終了：(設定保存) 

入力例：

接続先 Bluetooth アドレスを「00126F006EAA」の場合：

- (A) 「設定開始」バーコードをスキャン
- (B) 「Bluetooth アドレス」設定開始」バーコードをスキャン
- (C) 16進数/10進数バーコード表 = > 「0」、「0」、「1」、「2」、「6」、「F」、「0」、「0」、「6」、「E」、「A」、「A」
(接続先 Bluetooth アドレス) を「00126F006EAA」に設定、ASCII テーブルを参照ください)
- (D) 確定バーコード=>、「確定(OK)」
- (E) 「設定終了」バーコードをスキャン

メモ：

- ※「ZBT2XXXXXXXXXXXX」(X：接続先 Bluetooth アドレス) データを Code128 で作成して一発スキャンで設定できます。
- ※スキャナの接続モードが、「SPP スレーブ」、「HID」、「iOS 用 HID」あるいは「SPP 自動マスタ」モードの場合には、接続先 Bluetooth アドレスの設定は不要です。





• **BTR-UK3 Bluetooth アドレス設定** ;

BTR-UK3 Bluetooth アドレスを設定します。 16進数で12桁 (0~9、A~F) を「HEX ASCII テーブル」のバーコードをスキャンしてください。

または、BTR-UK3 ドングル本体の側面に付いているバーコードをスキャンしてください。

設定コード	Bluetooth アドレス	初期値
16進数 /10進数 バーコード	12桁	000000000000

設定手順 :

- (1) 設定開始 : (設定モード) 
- (2) 「BTR-UK3 Bluetooth アドレス」 
- (3) 入力パラメーターは、16進数/10進数の設定バーコードをスキャンしてください。
- (4) 確定 : (数値確定) 
- (5) 設定終了 : (設定保存) 

入力例 :

BTR-UK3 Bluetooth アドレスを 「001C97FF043A」 の場合 :

- (A) 「設定開始」 バーコードをスキャン
- (B) 「Bluetooth アドレス」 設定開始」 バーコードをスキャン
- (C) 16進数/10進数バーコード表 = > 「0」、「0」、「1」、「C」、「9」、「7」、「F」、「F」、「0」、「4」、「3」、「A」
(BTR-UK3 Bluetooth アドレス) を「001C97FF043A」に設定、ASCII テーブルを参照してください)
- (D) 確定バーコード=>、「確定(OK)」
- (E) 「設定終了」 バーコードをスキャン

メモ :

BTR-UK3 接続モードは、BTR-UK3 ドングルの Bluetooth アドレスを保存する必要があります。 初期値は「000000000000」です。

• PIN コード設定；





スキャナと Bluetooth デバイスがペアリングを行うときに、確認のために PIN コードを入力する必要があります。この PIN コードは、モード設定によって Bluetooth デバイスによる生成、あるいは事前登録された値を使用します。

※セキュリティレベルにより省略されることもあります。

- (1) 「スレーブ」、「マスタ」あるいは「自動マスタ」モードでは、PIN コード入力をペアリング確定する上でホスト側で入力します。・・・事前登録
- (2) 「BTR-UK3 ドングル」モードでは、PIN コードの入力要求はありません。
- (3) 「HID」、「iOS」モードでは、ペアリング認証中に PC または受信端末で PIN コードを発行します。スキャナは、10 進数テーブルから PIN コードと同じ番号をスキャンします。

設定の範囲	入力桁数	初期値
00000000~99999999	最大 8 桁	1234

設定手順：

- (1) 設定開始：(設定モード) 
- (2) 事前登録用「PIN コード」 
- (3) 入力パラメーターは、10 進数の設定バーコードをスキャンしてください。
- (4) 確定：(数値確定) 
- (5) 設定終了：(設定保存) 

入力例：

PIN コードを「5 6 7 8」の場合：

- (A) 「設定開始」バーコードをスキャン
- (B) 「PIN コード」バーコードをスキャン
- (C) 10 進数バーコード表 = > 「5」、「6」、「7」、「8」
(「ピンコード」値を 5 6 7 8 にセットしました)
- (D) 確定バーコード=>、「確定(OK)」
- (E) 「設定終了」バーコードをスキャン

第 5 章 : Bluetooth 接続モード設定

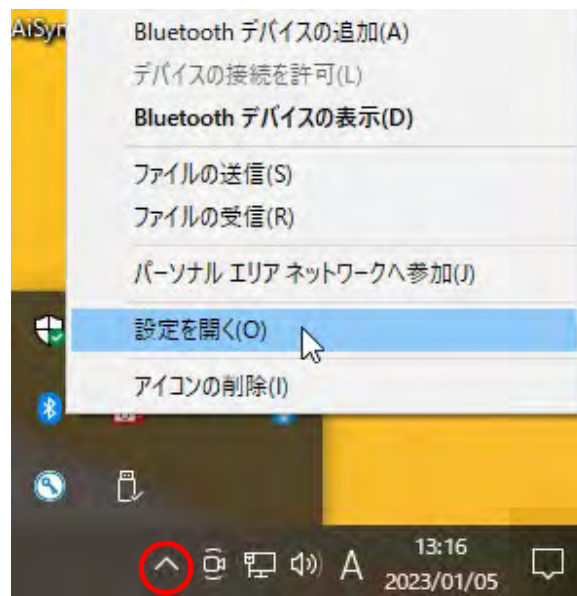
- 5-1 SPP マスタ接続モード
- 5-2 SPP スレーブ接続モード
- 5-3 HID 接続モード
- 5-4 iOS 用 HID 接続モード
- 5-5 BTR-UK3 ドングル接続モード
- 5-6 SPP 自動マスタ接続モード

5. Bluetooth 接続モード設定

5-1 SPP マスタ接続モード

- スキャナが Bluetooth モードに設定されていることを確認してください； Bluetooth モードについては、4-2-1 章をご参照ください。
- モード選択番号が「2」に設定されることを確認ください。 4-2-4-2 章をご参照ください。
- 接続先の Bluetooth アドレスを設定してください。 4-2-5 章をご参照ください。

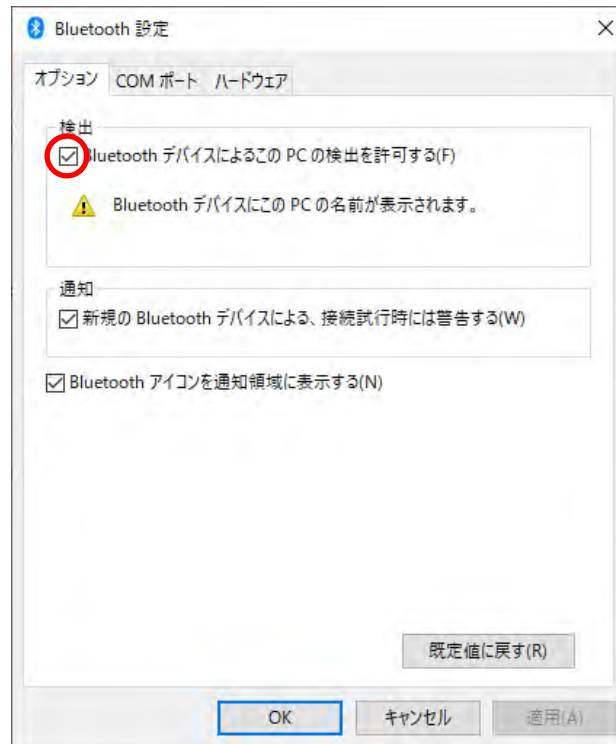
1. アイコン一覧より Bluetooth アイコンにカーソルを合わせて右クリックでメニューを表示します。 「設定を開く」を選択します。



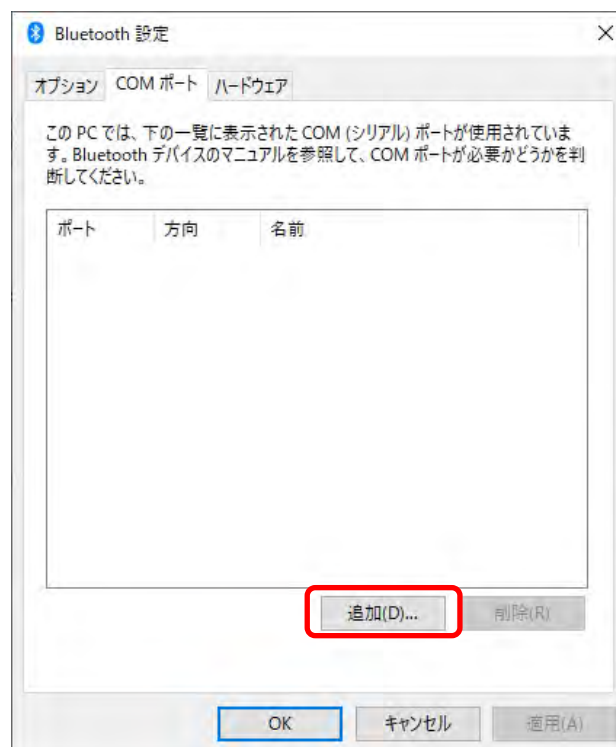
2. 関連設定より「その他の Bluetooth オプション」を選択します。



3. 検出欄「Bluetooth デバイスによるこの PC の検出を許可する (F)」にチェックを入れます。

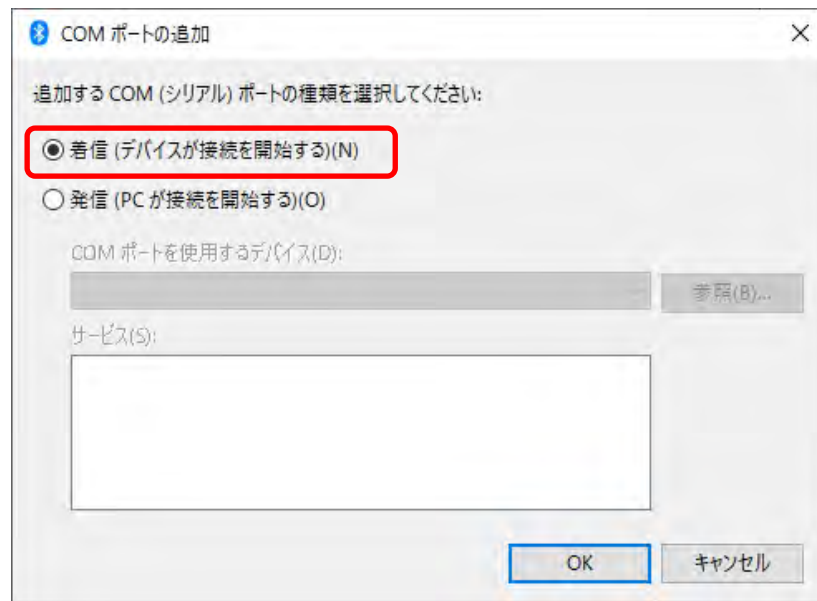


4. 「COM ポート」タブを選択します。

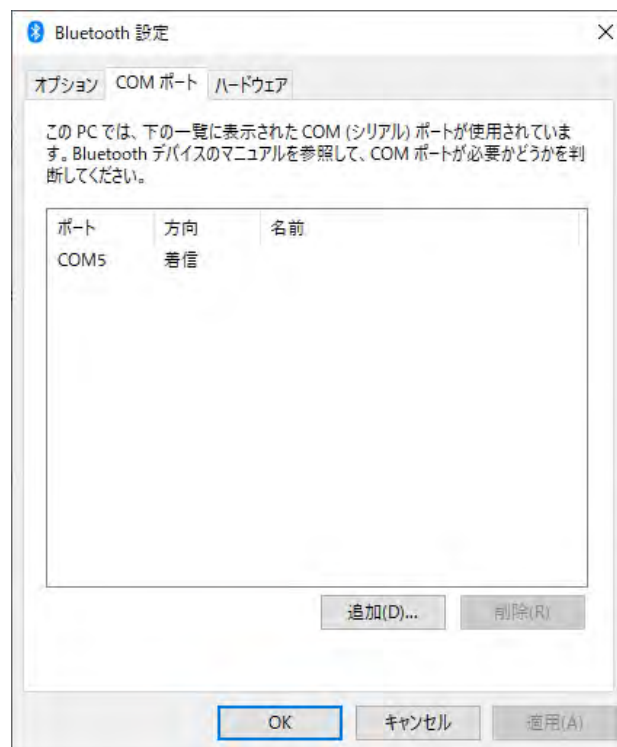


5. 受信用 COM ポートを作成するために「追加」ボタンをクリックしてください。

6. 「着信（デバイスが接続を開始する）(N)」ラジオボタンを選択します。



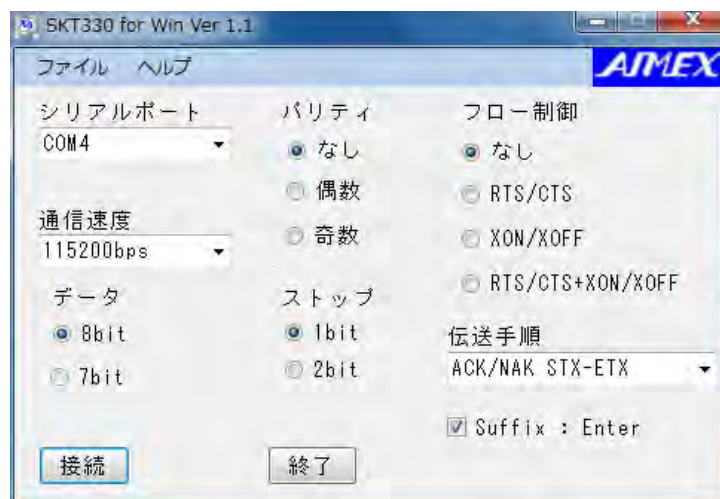
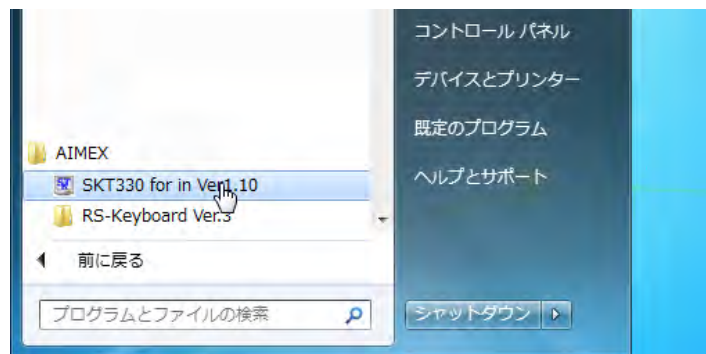
7. 「OK」ボタンを選択します。



「COM5 着信」は、Bluetooth SPP で受信する全データを共通で受け取ることのできるポート番号です。

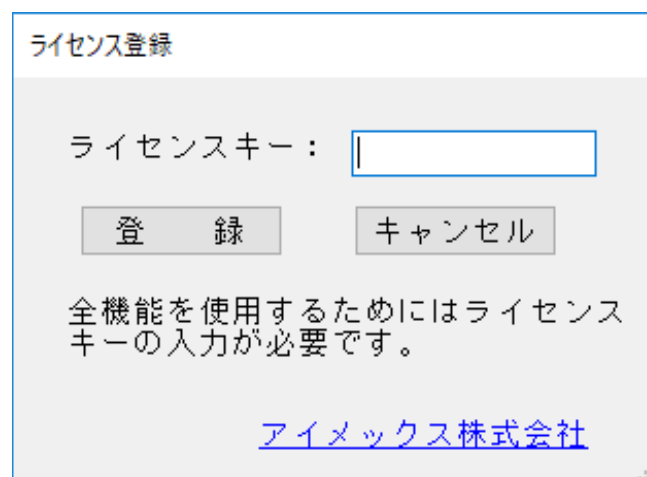
個別のポート番号は、Bluetooth デバイスが接続要求を出して、初めて表示されますので事前に待機する場合には、共通ポートを利用ください。

- Bluetooth SPP マスタ通信は、伝送手順を必要としますので、専用ソフト SKT330 for Win のご利用をお勧めいたします。以下は、SKT330 for Win を利用した受信の説明をいたします。



CM-601BT と Bluetooth SPP マスタ接続するためにシリアルポート番号を Bluetooth 共通受信ポート番号に合わせてください。

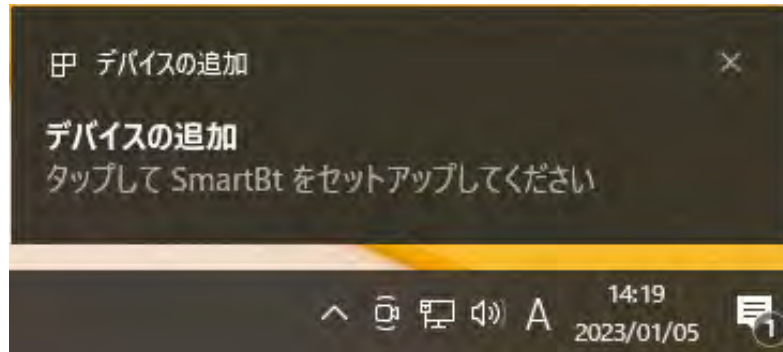
SKT330 for Win の伝送手順等を変更するためには、ライセンス登録が必要です。ライセンスキーは、CM-601BT を購入されたお客様へ無償で提供しております。



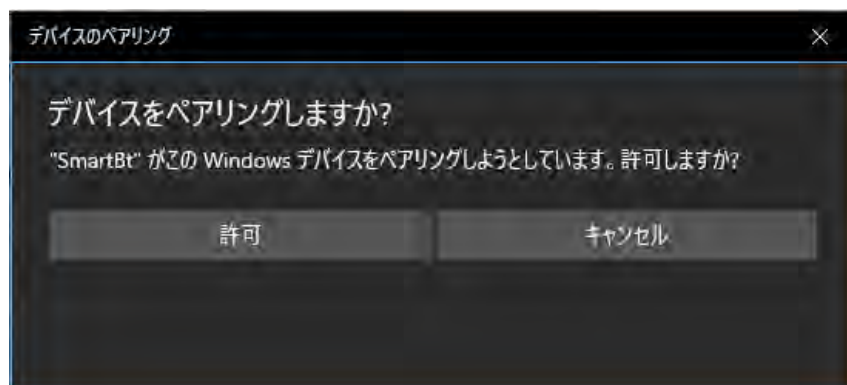
2. Bluetooth ペアリング

接続先 Bluetooth アドレスを設定する必要があります。

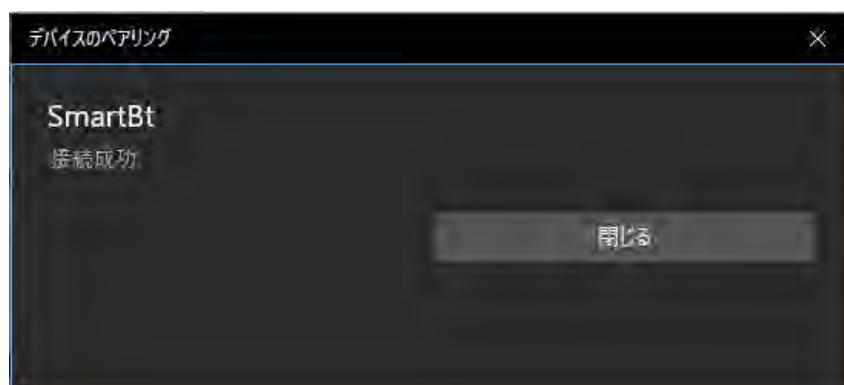
Bluetooth モードで Bluetooth 未接続ならば、小ボタンを押し続けてビープ音が 3 回鳴ったら大ボタンも押し続けてビープ音が 4 回 (2 回 × 2 回) 鳴ったら、大ボタンと小ボタンの両方を解放します。 ペアリングが開始されます。



3. 「デバイスの追加」をタップします。



4. 「許可」ボタンを選択します。



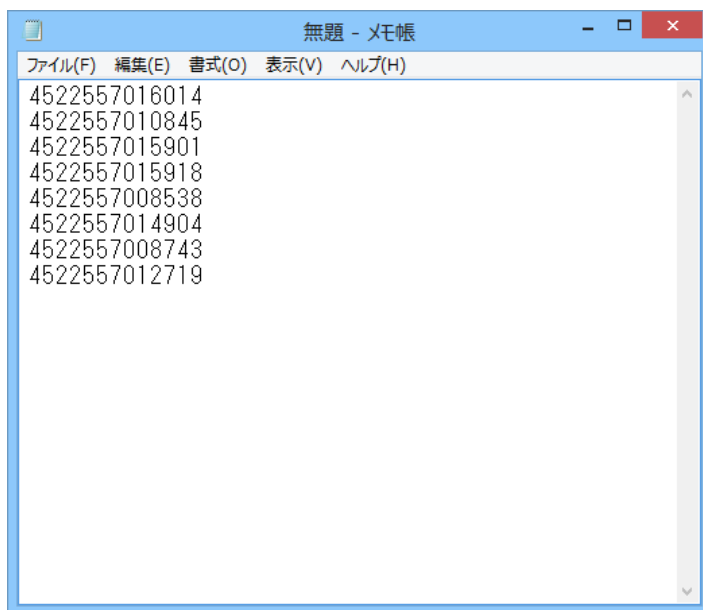
5. ペアリングが完了して接続ソフトで認識すると「接続成功」が表示されます。

「閉じる」ボタンを選択して終了です。

※「接続失敗」が表示されますと接続ソフトで認識できませんでした。

6. 受信データの確認

メモ帳などのテキスト入力画面でカーソルのある位置にスキャンデータが入力されます。

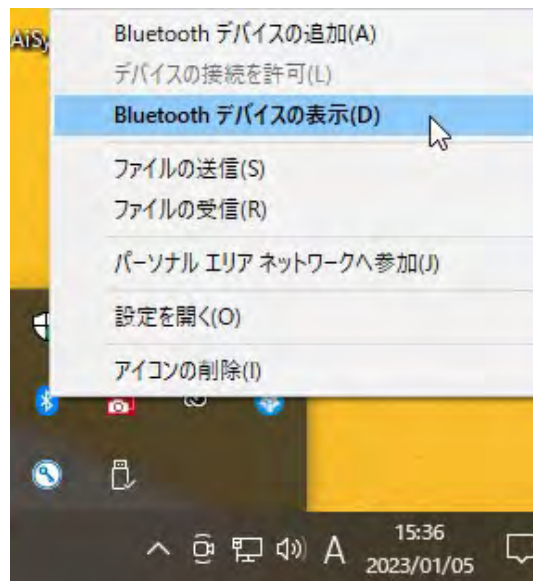


※SKT330 for Win を使用することでシリアル入力をキーボード入力へ変換します。 さらに、伝送手順もサポートしています。

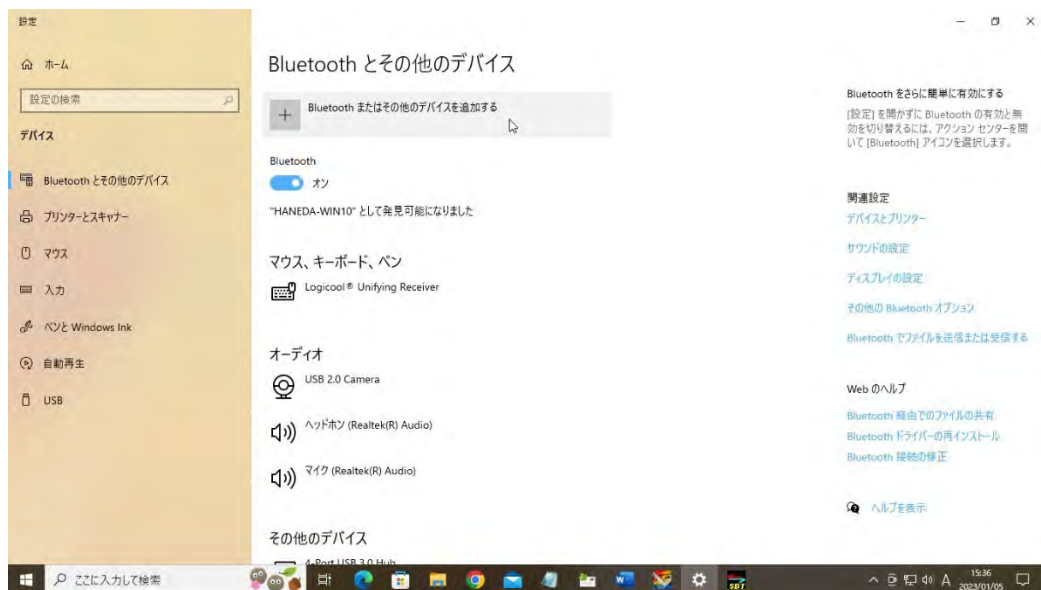
5-2 SPP スレーブ接続モード

- スキャナが Bluetooth モードに設定されていることを確認してください； Bluetooth モードについては、4-2-1 章をご参照ください。
- モード選択番号が「1」に設定されることを確認ください。 4-2-4-1 章をご参照ください。

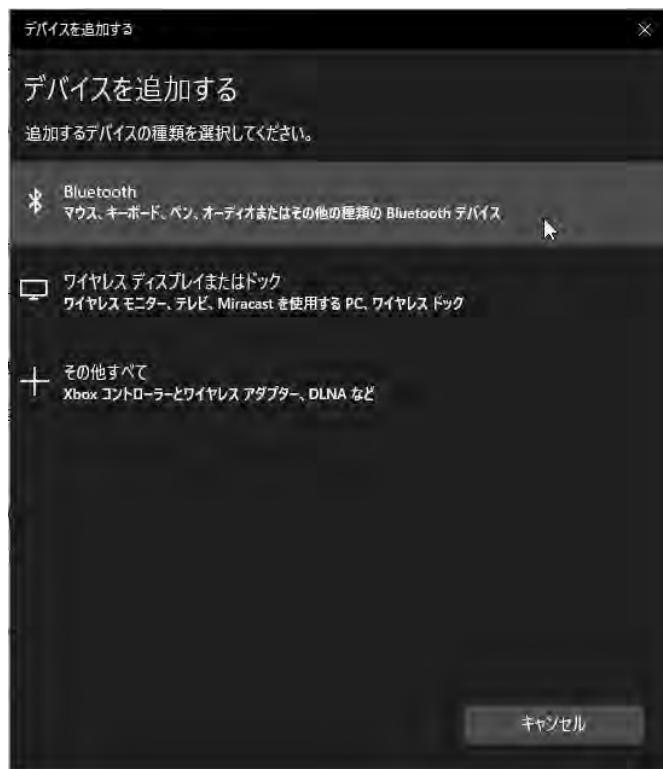
1. コーナーより Bluetooth アイコンにカーソルを合わせて右クリックでメニューを表示します。 「Bluetooth デバイスの表示」を選択します。



2. 「+ Bluetooth またはその他のデバイスを追加する」を選択します。

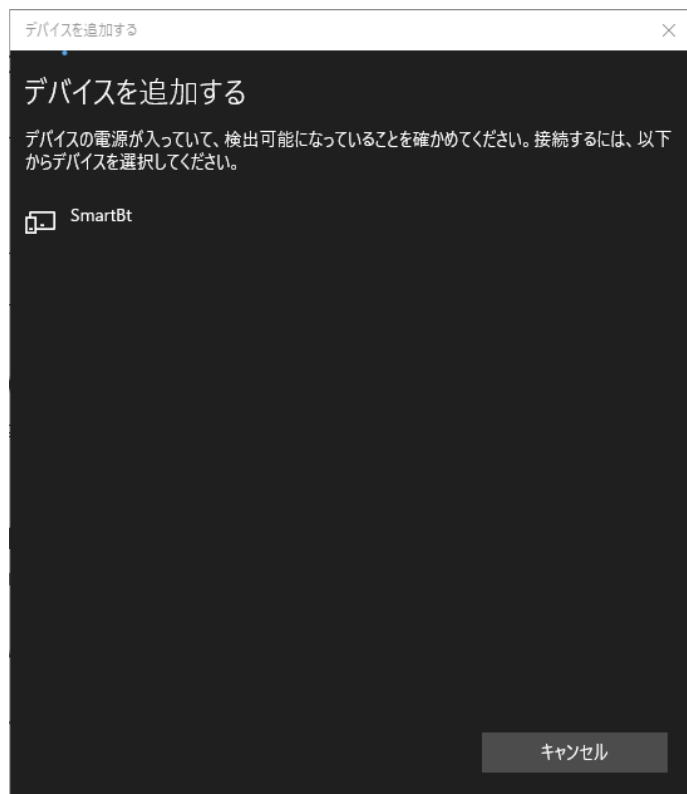


3. 「Bluetooth」を選択します。

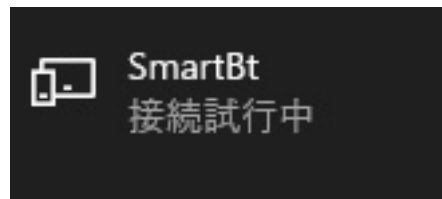


4. Bluetooth モードで Bluetooth 未接続ならば、小ボタンを押し続けてビープ音が 3 回鳴ったら大ボタンも押し続けてビープ音が 4 回（2 回×2 回）鳴ったら、大ボタンと小ボタンの両方を解放します。ペアリングが開始されます。

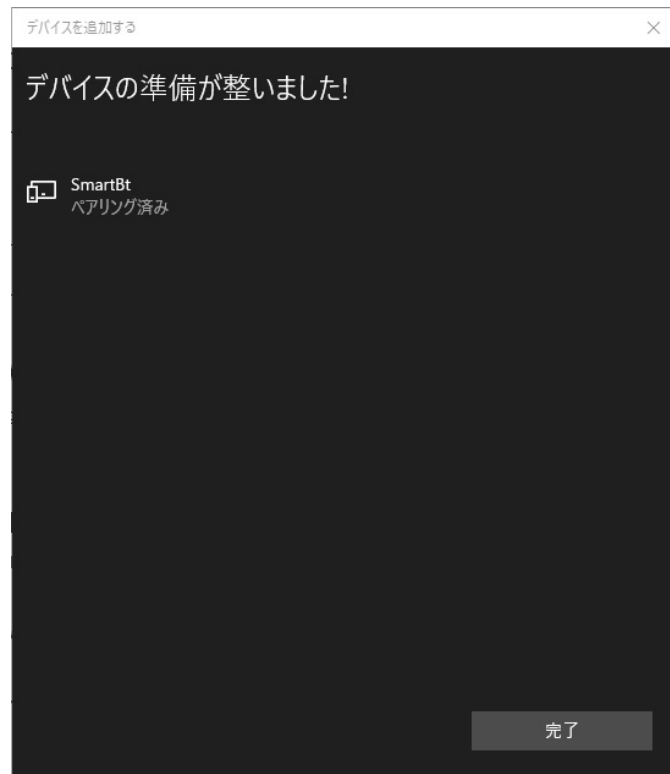
5. 「Smart Bt」を選択します。



6. ペアリング中



7. 「ペアリング済み」を表示したら「完了」ボタンを選択します。

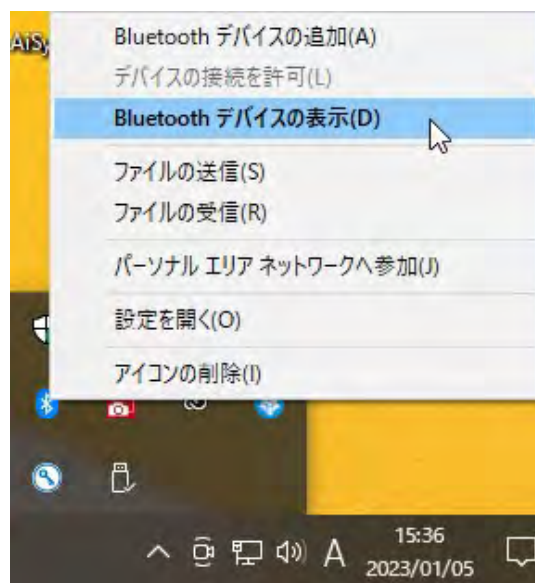


8. 接続はパソコン側から CM-601BT の送信ポートを開くことで接続が完了します。
※送信ポート番号は、デバイスマネージャーか Bluetooth 設定 COM ポートで
確認ください。

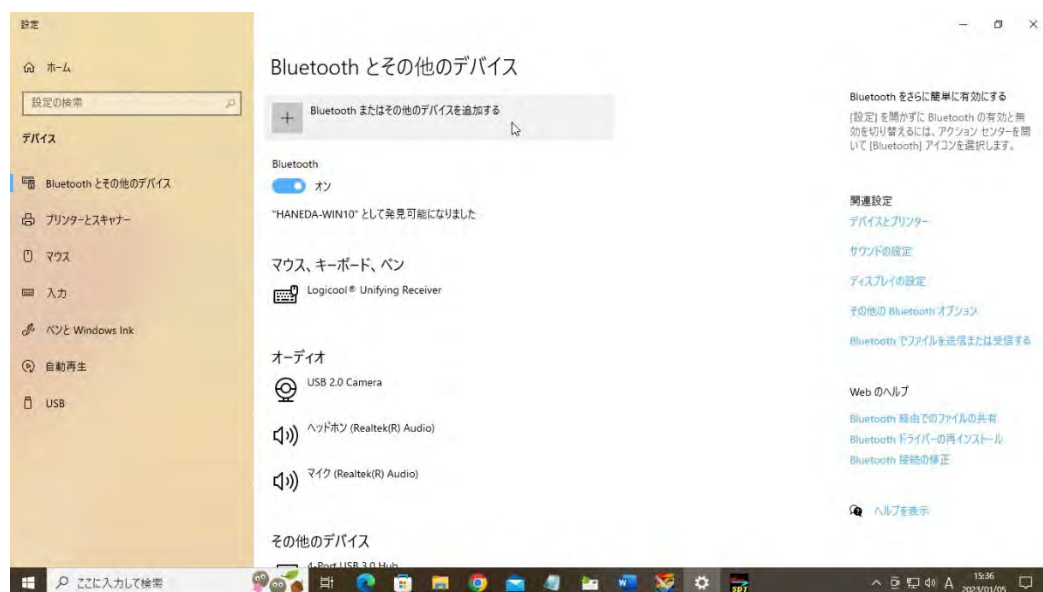
5-3 Bluetooth HID 接続モード

- スキャナが Bluetooth モードに設定されていることを確認してください； Bluetooth モードについては、4-2-1 章をご参照ください。
- モード選択番号が「3」に設定されることを確認ください。 4-2-4-3 章をご参照ください。

1. コーナーより Bluetooth アイコンにカーソルを合わせて右クリックでメニューを表示します。「Bluetooth デバイスの表示」を選択します。



2. 「+ Bluetooth またはその他のデバイスを追加する」を選択します。

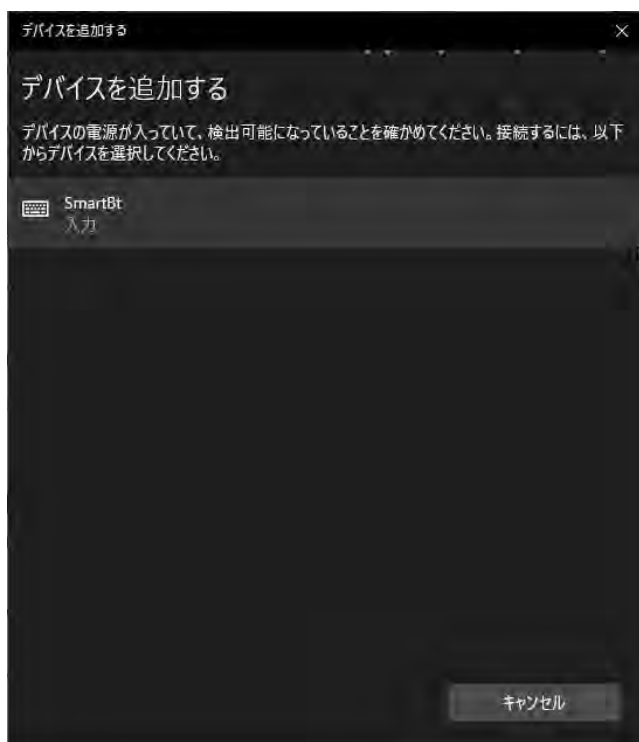


3. 「Bluetooth」を選択します。



4. Bluetooth モードで Bluetooth 未接続ならば、小ボタンを押し続けてピープ音が 3 回鳴ったら大ボタンも押し続けてピープ音が 4 回（2 回×2 回）鳴ったら、大ボタンと小ボタンの両方を解放します。ペアリングが開始されます。

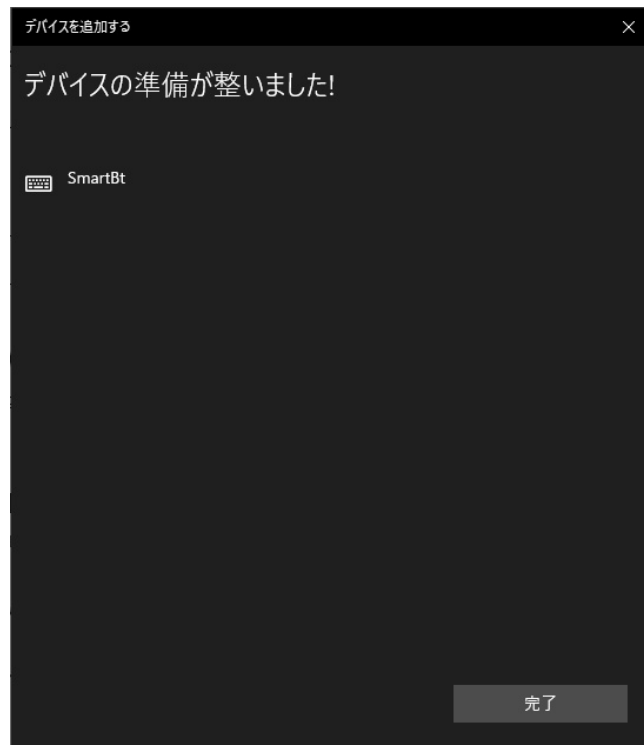
5. 「Smart Bt」を選択します。



6. ペアリング中

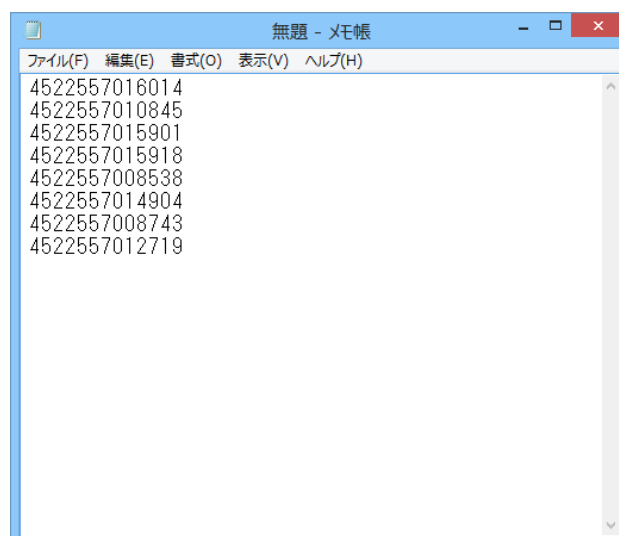


7. 「接続試行中」が消えたら「完了」ボタンを選択します。



8. 入力の確認

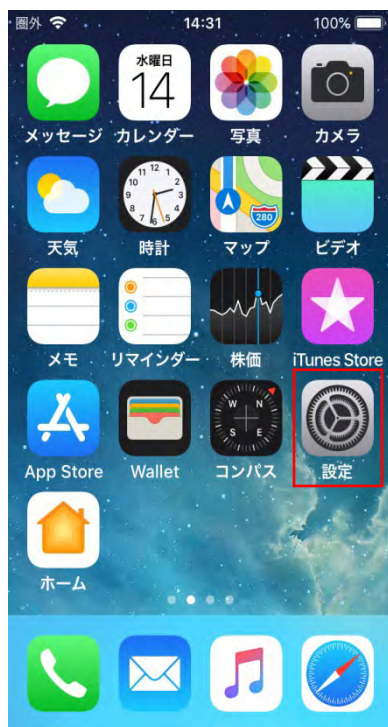
メモ帳などのテキスト入力画面でカーソルのある位置にスキャンデータが入力されます。



5-4 iOS 用 HID 接続

- スキャナが Bluetooth モードに設定されていることを確認してください； Bluetooth モードについては、4-2-1 章をご参照ください。
- モード選択番号が「4」に設定されることを確認ください。 4-2-4-4 章をご参照ください。

1. 「設定」を選択してください



2. Bluetooth を ON にする。

「Bluetooth」を選択して Bluetooth スイッチを「ON」にします。この段階で、iPad が Bluetooth デバイスの検索を開始します。

3. ペアリング開始

Bluetooth モードで Bluetooth 未接続ならば、小ボタンを押し続けてピープ音が 3 回鳴ったら大ボタンも押し続けてピープ音が 4 回（2 回×2 回）鳴ったら、大ボタンと小ボタンの両方を解放します。ペアリングが開始されます。

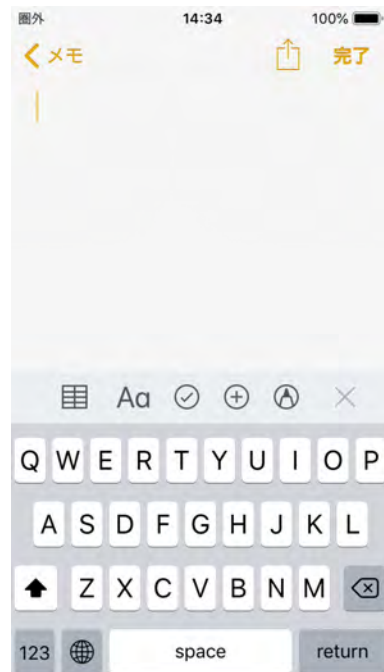
4. 「SmartBt」をタップする。



5. 「接続済み (i)」確認

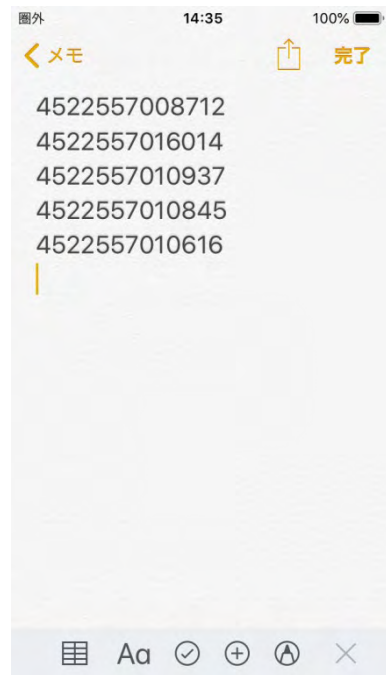
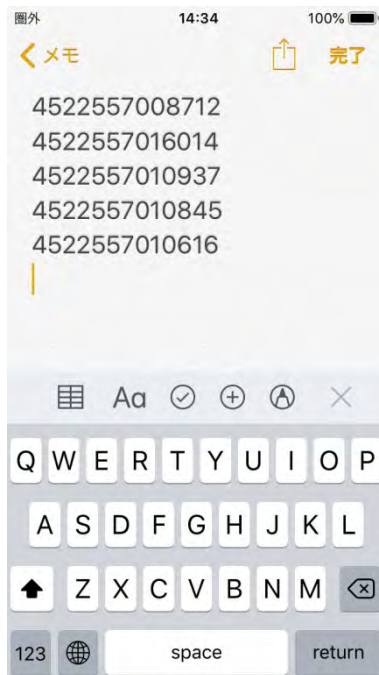
6. 入力の確認

ホーム画面より「メモ帳」を起動する。



地球儀マークをタップして英語入力モードに変更

バーコードをスキャンする。



小ボタンを押すことでソフトキーの表示／非表示を選択できます。

5-5 BTR-UK3 ドングル接続 (USB-HID / USB-VCOM : オプション)

- スキャナが Bluetooth モードに設定されていることを確認してください； Bluetooth モードについては、4-2-1 章をご参照ください。
- モード選択番号が「5」に設定されることを確認ください。 4-2-4-5 章をご参照ください。
- BTR-UK3 の Bluetooth アドレスを設定してください。 4-2-5 章をご参照ください。

1. BTR-UK3 (HID モード) をコンピュータの USB ポートへ装着する。



PC へ BTR-UK3 ドングルを装着する。

2. ペアリング開始

BTR-UK3 の側面のバーコードをスキャンします。

Bluetooth モードで Bluetooth 未接続ならば、小ボタンを押し続けてビープ音が 3 回鳴ったら大ボタンも押し続けてビープ音が 4 回 (2 回×2 回) 鳴ったら、大ボタンと小ボタンの両方を解放します。 ペアリングが開始されます。

3. 接続完了

BTR-UK3 が青色の LED を点灯して接続完了を知らせます。

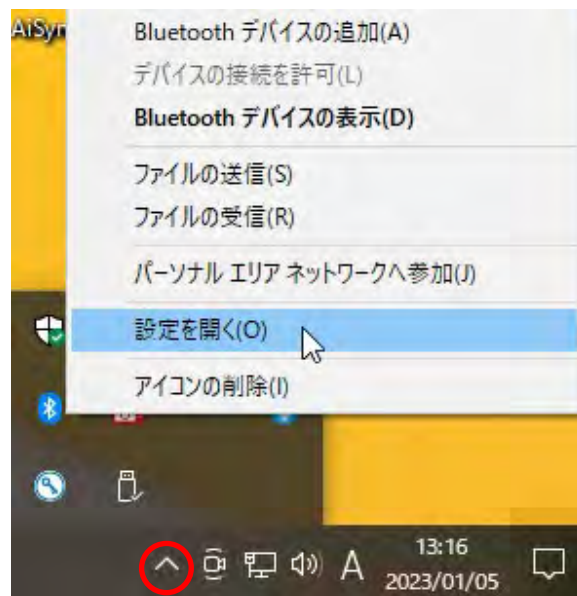
4. 入力の確認

パソコンのメモ帳などを開いてアクティブなカーソル位置にスキャンデータが入力されます。

5-6 SPP 自動マスタ接続モード

- スキャナが Bluetooth モードに設定されていることを確認してください； Bluetooth モードについては、4-2-1 章をご参照ください。
- モード選択番号が「2」に設定されることを確認ください。 4-2-4-2 章をご参照ください。

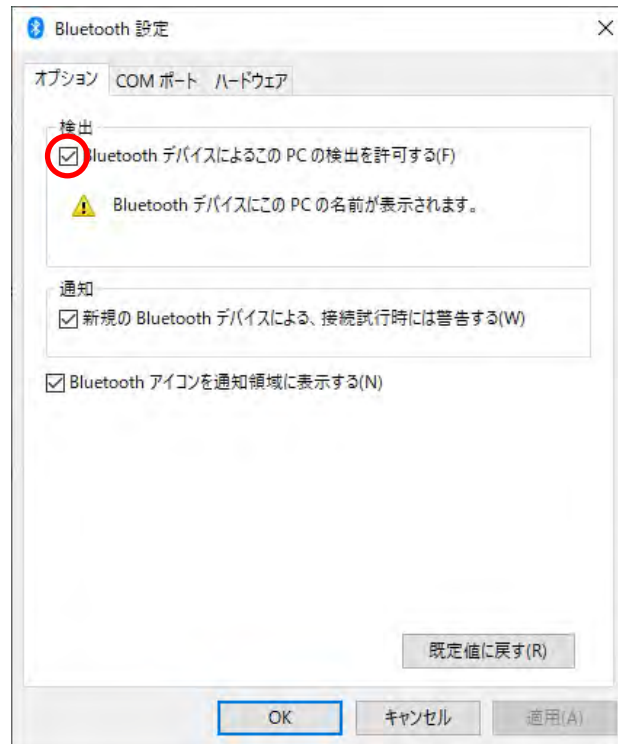
1. アイコン一覧より Bluetooth アイコンにカーソルを合わせて右クリックでメニューを表示します。 「設定を開く」を選択します。



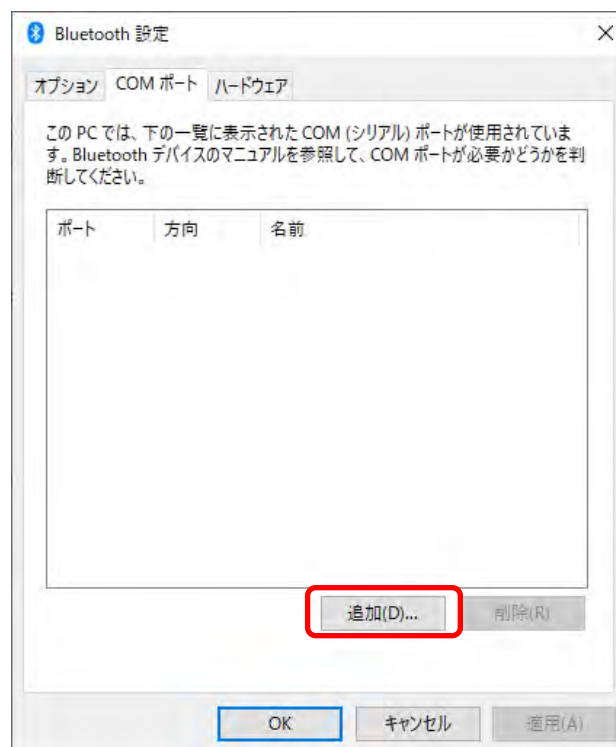
2. 関連設定より「その他の Bluetooth オプション」を選択します。



3. 検出欄「Bluetooth デバイスによるこの PC の検出を許可する (F)」にチェックを入れます。

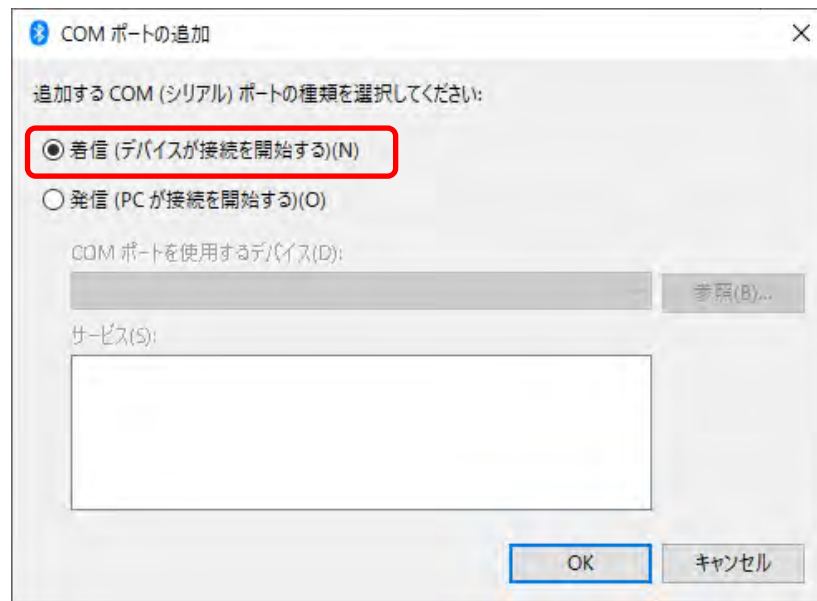


4. 「COM ポート」タブを選択します。

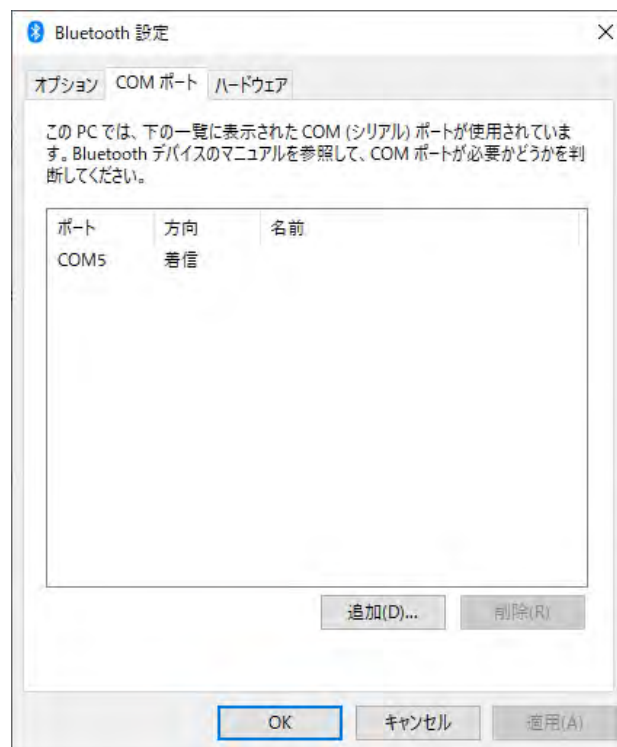


5. 受信用 COM ポートを作成するために「追加」ボタンをクリックしてください。

6. 「着信（デバイスが接続を開始する）(N)」ラジオボタンを選択します。



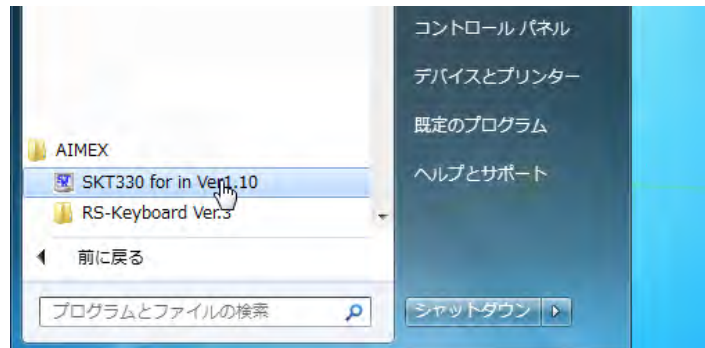
7. 「OK」 ボタンを選択します。



「COM5 着信」は、Bluetooth SPP で受信する全データを共通で受け取ることのできるポート番号です。

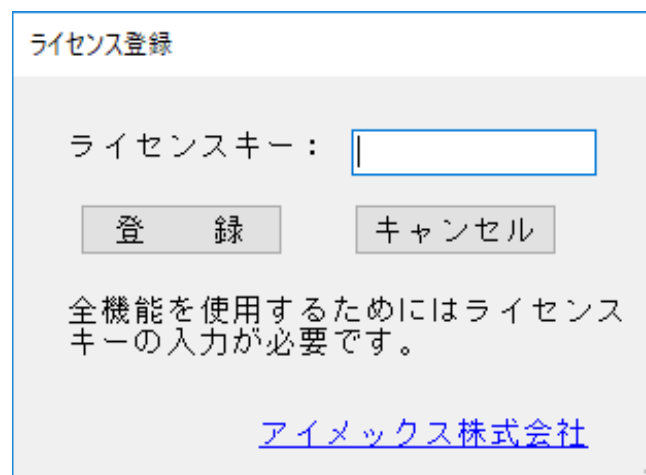
個別のポート番号は、Bluetooth デバイスが接続要求を出して、初めて表示されますので事前に待機する場合には、共通ポートを利用ください。

- Bluetooth SPP マスタ通信は、伝送手順を必要としますので、専用ソフト SKT330 for Win のご利用をお勧めいたします。 以下は、SKT330 for Win を利用した受信の説明をいたします。



CM-601BT と Bluetooth SPP マスタ接続するためにシリアルポート番号を Bluetooth 共通受信ポート番号に合わせてください。

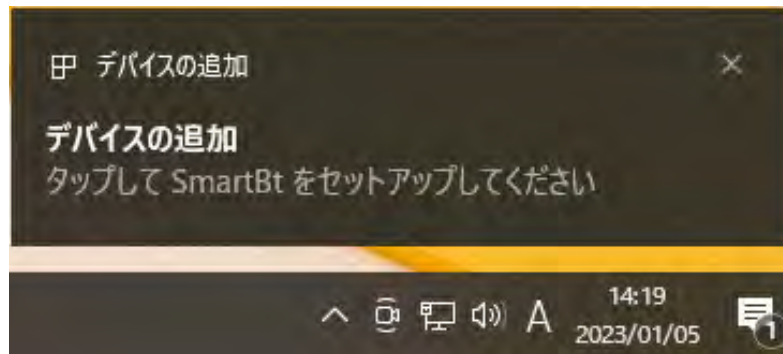
SKT330 for Win の伝送手順等を変更するためには、ライセンス登録が必要です。ライセンスキーは、CM-601BT を購入されたお客様へ無償で提供しております。



2. Bluetooth ペアリング

周辺の Bluetooth 受信できるデバイスに「SmartBt」が表示されます。

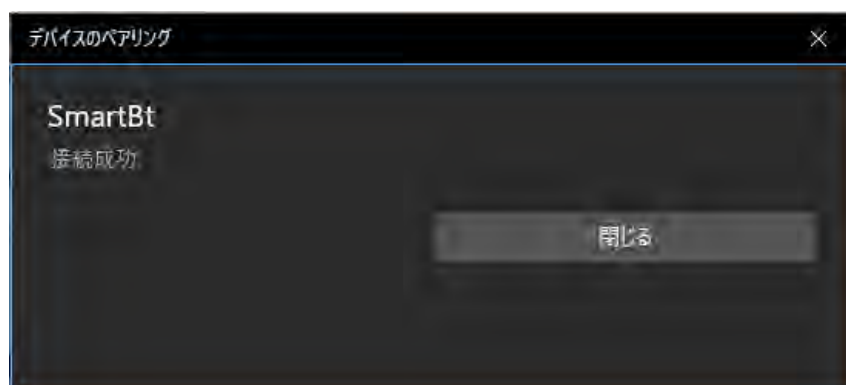
Bluetooth モードで Bluetooth 未接続ならば、小ボタンを押し続けてピープ音が3回鳴ったら大ボタンも押し続けてピープ音が4回（2回×2回）鳴ったら、大ボタンと小ボタンの両方を解放します。ペアリングが開始されます。



3. 「デバイスの追加」をタップします。



4. 「許可」ボタンを選択します。



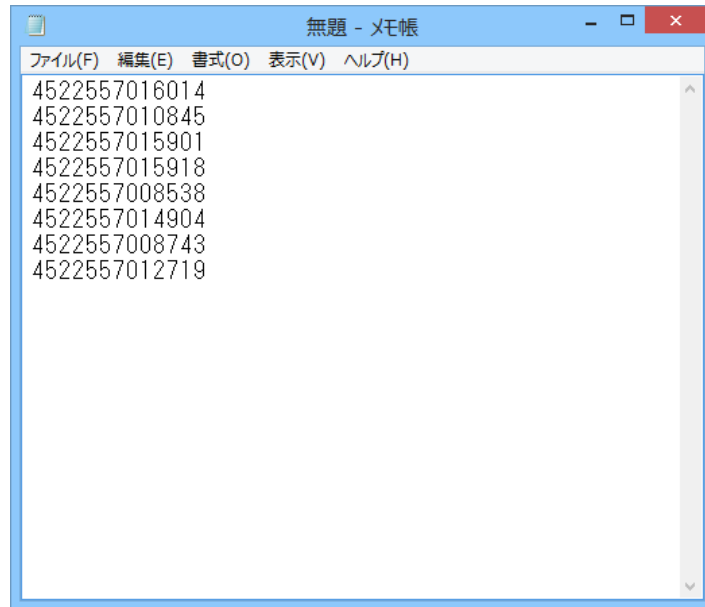
5. ペアリングが完了して接続ソフトで認識すると「接続成功」が表示されます。

「閉じる」ボタンを選択して終了です。

※「接続失敗」が表示されますと接続ソフトで認識できませんでした。

6. 受信データの確認

メモ帳などのテキスト入力画面でカーソルのある位置にスキャンデータが入力されます。



※SKT330 for Win を使用することでシリアル入力をキーボード入力へ変換します。さらに、伝送手順もサポートしています。

第6章：環境設定：

メモリ / Bluetooth / ケーブル

- 6-1 メモリモードの環境設定
 - 6-1-1 モード
 - 6-1-2 出力インタフェース
 - 6-1-3 読取環境の設定
 - 6-1-4 大小ボタンの複合操作機能
 - 6-1-5 小ボタンの操作機能
 - 6-1-6 充電
 - 6-1-7 正読ビープの音量
 - 6-1-8 操作ビープの音量
 - 6-1-9 警告ビープの音量
 - 6-1-10 送信フォーム
 - 6-1-11 送信完了時蓄積データ自動削除
 - 6-1-12 送信ヘッダ
 - 6-1-13 送信フッタ
 - 6-1-14 正読時バイブレーション
 - 6-1-15 操作時バイブレーション
 - 6-1-16 警告時バイブレーション
 - 6-1-17 読取時間
 - 6-1-18 読取待機時間
 - 6-1-19 スタンバイ時間
 - 6-1-20 プリアンブル送信
 - 6-1-21 プリアンブルデータ
 - 6-1-22 ポストアンブル
 - 6-1-23 ポストアンブルデータ
 - 6-1-24 プリフィックス
 - 6-1-25 プリフィックスデータ
 - 6-1-26 サフィックス
 - 6-1-27 サフィックスデータ
 - 6-1-28 バーコード種別名
 - 6-1-29 バーコード種別 ID
 - 6-1-30 バーコード種別 ID 表示位置
 - 6-1-31 バーコードデータの文字数

- 6-1-3 2 Caps Lock
- 6-1-3 3 タイムスタンプ区切り
- 6-1-3 4 タイムスタンプ区切り文字
- 6-1-3 5 制御コード
- 6-1-3 6 蓄積データの送信間隔
- 6-1-3 7 日付と時刻情報送信
- 6-1-3 8 日付/時刻情報の表示位置
- 6-1-3 9 日付/時刻 区切り文字
- 6-1-4 0 二重読取禁止

- 6-2 総合的な Bluetooth モード設定
 - 6-2-1 様式
 - 6-2-2 アウトプットインタフェイス
 - 6-2-3 アプリケーションタイプ
 - 6-2-4 複合したトリガー機能性
 - 6-2-5 少しのトリガー機能性
 - 6-2-6 Dcplug 料金
 - 6-2-7 GoodRead ビープのボリューム
 - 6-2-8 イベントビープのボリューム
 - 6-2-9 警告音のボリューム
 - 6-2-1 0 GoodRead 振動子
 - 6-2-1 1 イベント振動子
 - 6-2-1 2 警告振動子
 - 6-2-1 3 対になっているタイム
 - 6-2-1 4 グッドはビープ Freq を読みました
 - 6-2-1 5 良い読み取りビープ時間
 - 6-2-1 6 良い読み出しバイブレーター時間
 - 6-2-1 7 スキャン時間
 - 6-2-1 8 スキャンアイドルタイム
 - 6-2-1 9 StandbyTime
 - 6-2-2 0 Tx 前置き
 - 6-2-2 1 プリアンブルデータ
 - 6-2-2 2 Tx ポストアンブル
 - 6-2-2 3 ポストアンブルデータ
 - 6-2-2 4 Tx 前置文字
 - 6-2-2 5 前置文字データ
 - 6-2-2 6 Tx 接尾語
 - 6-2-2 7 接尾辞データ
 - 6-2-2 8 Tx コードネーム

- 6-2-29 Tx CodeId
- 6-2-30 CodeId ポジション
- 6-2-31 Tx 符号長
- 6-2-32 ForceCase
- 6-2-33 Tx デリミター
- 6-2-34 DelimiterChar
- 6-2-35 の Tx 制御コード
- 6-2-36 デート&時間伝達
- 6-2-37 日付 / タイム位置
- 6-2-38 DateTimeSpareChar

- 6-3 総合的なケーブルモード設定
 - 6-3-1 様式
 - 6-3-2 アウトプットインタフェース
 - 6-3-3 アプリケーションタイプ
 - 6-3-4 複合したトリガー機能性
 - 6-3-5 少しのトリガー機能性
 - 6-3-6 Dcplug 料金
 - 6-3-7 GoodRead ビープのボリューム
 - 6-3-8 イベントビープのボリューム
 - 6-3-9 警告音のボリューム
 - 6-3-10 GoodRead 振動子
 - 6-3-11 イベント振動子
 - 6-3-12 警告振動子
 - 6-3-13 電源投入光
 - 6-3-14 グッドはビープ Freq を読みました
 - 6-3-15 良い読み取りビープ時間
 - 6-3-16 良い読み出しバイブレーター時間
 - 6-3-17 スキャン時間
 - 6-3-18 Tx 前置き
 - 6-3-19 プリアンブルデータ
 - 6-3-20 Tx ポストアンブル
 - 6-3-21 ポストアンブルデータ
 - 6-3-22 Tx 前置文字
 - 6-3-23 前置文字データ
 - 6-3-24 Tx 接尾語
 - 6-3-25 接尾辞データ
 - 6-3-26 Tx コードネーム
 - 6-3-27 Tx CodeId

- 6-3-28 CodeId ポジション
- 6-3-29 Tx 符号長
- 6-3-30 ForceCase
- 6-3-31 Tx デリミター
- 6-3-32 DelimiterChar
- 6-3-33 の Tx 制御コード
- 6-3-34 データ&時間伝達
- 6-3-35 日付 / タイム位置
- 6-3-36 DateTimeSpareChar

6. 環境設定：メモリ / Bluetooth / ケーブル

6-1 メモリモードの環境設定

6-1-1 モード

操作モードの設定

- (1) **正読 OFF**：大ボタン（スキャン）を押し続けると読み取りの照明が点灯します。バーコードを読み取るか、一定時間過ぎるか、大ボタンを解放すると照明が自動で消灯します。照明が消灯したら大ボタンを解放してください。
- (2) **モーメンタリ**：大ボタンを押し続けている間は、照明を点灯して読み取り状態を続けます。大ボタンを解放またはバーコードを読み取ると照明を消灯して終了します。
- (3) **トグル**：大ボタンを押して解放すると照明を点灯して読み取りを開始します。バーコードを読み取るか、大ボタンを押して解放すると照明を消灯して読み取りを終了します。 **バッテリー保護のために連続読み取りの動作にはなりません。**

操作モードを決定するために下記の設定バーコードをスキャンしてください。

 正読 OFF
 モーメンタリ
 トグル



6-1-2 出カインタフェース

出カインタフェースを指定するために適切な設定バーコードをスキャンしてください


 ケーブル	 USB キーボード
 USB シリアル	 USB メモリ

6-1-3 読取環境の設定

読取環境の選択

通常 : 標準読取 (初期値)



液晶画面 : 本設定を行うことでスマホなどの画面に表示したバーコードを容易に取り取ります。

 通常	 液晶画面
--	--






6-1-4 大小ボタンの複合操作機能

大ボタンは、主にバーコードの読み取り、小ボタンは、蓄積データの伝送を行うために使用します、大小ボタンを組み合わせて押すことで別の機能として動作します。メモリモードで、全ての蓄積データを小ボタンを押すことで削除できます。大小ボタンを以下の組合せで操作します：小ボタンを押し続けるとLEDがオレンジ色に高速点滅したら、大ボタンも押して、次に両方のボタンを解放してください。「DelAll」または「無効」の設定コードをスキャンして機能を有効にしてください。

 無効	 DelAll
---	--

6-1-5 小ボタンの操作機能



小ボタンは、押している時間によりスキャン、1データの削除、蓄積データの送信モードへ切り換えるように設計されています。小ボタンに関する操作を容易にするために、設定バーコードにより機能を選択します。一方、「蓄積データ送信」が有効になると、デバイスはデータ送信モードへ切り換ります。初期状態で小ボタンは、制限なしに最大の機能を設定可能です。

 削除	 蓄積データ送信
 標準	




6-1-6 充電

デバイスが USB ケーブルでホストと接続されるときに、バッテリー充電を行う／行わないを決定する設定バーコードをスキャンしてください。

 無効	 有効
---	--

6-1-7 正読ビープの音量

バーコードを正常に読み取った時のビープ音の音量を指定する設定バーコードをスキャンしてください。 より高いレベルは音量が大きくなります。

 消音	 レベル1
 レベル2	 レベル3
 レベル4	







6-1-8 操作ビープの音量

通常操作モードで標準の大ボタンまたは小ボタン作業（モード切替、データ送信モード、蓄積データの削除など）時のビープ音の音量を指定する設定バーコードをスキャンしてください。より高いレベルは音量が大きくなります。

 消音	 レベル 1
 レベル 2	 レベル 3
 レベル 4	

6-1-9 警告ビープの音量

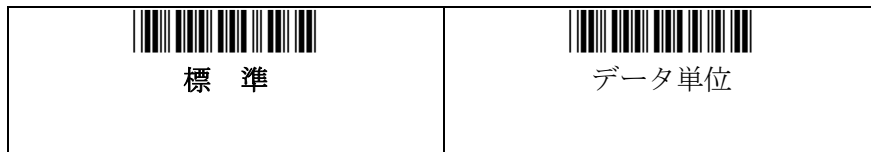
エラーが発生した時、警告ビープの音量を指定する設定バーコードをスキャンしてください。より高いレベルは音量が大きくなります。

 レベル 1	 レベル 2
 レベル 3	 レベル 4



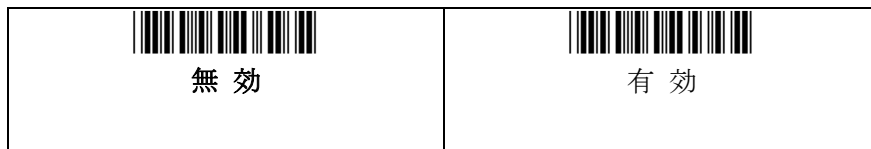
6-1-10 送信フォーム

デバイスから蓄積データを送信する手段を指定する設定バーコードをスキャンしてください。初期状態では、バッチ処理で蓄積データを一括送信します。「データ単位」設定バーコードをスキャンして大ボタンを押す度に1データ送信します。



6-1-11 送信完了時蓄積データ自動削除

蓄積データを正常に送信完了後に自動で蓄積データを全て削除する設定を指定する設定バーコードをスキャンしてください。



6-1-12 送信ヘッダ

メモリモードで送信データのヘッダ（見出し）情報を送信するかを指定する設定バーコードをスキャンしてください。





6-1-13 送信フッタ

メモリモードで送信データのフッタ情報を送信するかを指定する設定バーコードをスキャンしてください。

 無効	 有効
---	--



6-1-14 正読時バイブレーション

バーコードを正常に読み取った時のバイブレーション機能を有効/無効に指定する設定バーコードをスキャンしてください。

 無効	 有効
---	--

6-1-15 操作時バイブレーション

通常操作モードで標準の大ボタンまたは小ボタン作業（モード切替、データ送信モード、蓄積データの削除など）時のバイブレーション機能の有効/無効を指定する設定バーコードをスキャンしてください。

 無効	 有効
---	--



6-1-16 警告時バイブレーション

エラーが発生した時、バイブレーション機能の有効/無効を指定する設定バーコードをスキャンしてください。

 無効	 有効
---	--

6-1-17 読取時間設定

読み取り時間の設定：

1. バーコードスキャナは、設定時間内は読み取りを継続しますが、設定時間を経過すると読み取りを自動で終了します。
(初期設定：10秒：「大ボタン」を押し続けて、10秒間 照明LEDを点灯します。)
2. バーコードをスキャンしない状態を設定時間経過すると、読み取りの照明とエイマー(ターゲットマーク)を消灯します。



設定可能な範囲	単位	初期値
1～30 秒	1 秒	10 秒

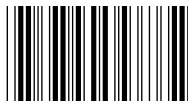
設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「読取時間」バーコード
- (C) 16進 / 10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定 (OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-1-18 読取待機時間設定

スキャナは、一定時間操作しないと省エネルギーモードに切り替わります。
省エネルギーモードに変わるまでの経過時間を設定



設定範囲	単位	初期値
1～255秒	1秒	15秒

設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「読取待機時間」バーコード
- (C) 16進 / 10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定 (OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

6-1-19 スタンバイ時間設定

待機時間を経過したデバイスは、すぐに電力消費量を抑えたスタンバイ状態に入ります。
電源 OFF になる前のスタンバイ状態の時間を設定



設定範囲	単位	初期値
0～255秒	10秒	30秒



設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「スタンバイ時間」バーコード
- (C) 16進 / 10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定 (OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-1-20 プリアンブル送信

プリアンブルは、データ送信の際にプリフィックスとスキャンデータより前（最初）にデータを出力します。プリアンブルコードの出力の有効/無効を指定する設定バーコードをスキャンしてください。

 無 効	 有 効
---	--

データフォーム：

<プリアンブル><プリフィックス><データ><サフィックス><ポストアンブル>

6-1-21 プリアンブルデータ

プリアンブル文字列の設定



設定可能な文字数	初期値
8	無し

設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「プリアンブルデータ」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-1-2 2 ポストアンブル送信

ポストアンブルは、データ送信の際にサフィックスとスキャンデータより後（最後）にデータを出力します。ポストアンブルコードの出力の有効/無効を指定する設定バーコードをスキャンしてください。

 無効	 有効
---	--

データフォーム：

<プリアンブル><プリフィックス><データ><サフィックス><ポストアンブル>

6-1-2 3 ポストアンブルデータ

ポストアンブル文字列の設定



設定可能な文字数	初期値
8	<CR> <LF> (0x0D, 0x0A)


設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「ポストアンブルデータ」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-1-24 プリフィックス送信

プリフィックスは、データ送信の際にプリアンブルとスキャンデータの間にデータを出力します。プリフィックスデータの出力の有効/無効を指定する設定バーコードをスキャンしてください。

 無効	 有効
---	--

データフォーム：

<プリアンブル><プリフィックス><データ><サフィックス><ポストアンブル>

6-1-25 プリフィックスデータ

プリフィックス文字列の設定



設定可能な文字数	初期値
8	無し

設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「プリフィックスデータ」バーコード
- (C) 16/10 進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-1-26 サフィックス送信

サフィックスは、データ送信の際にスキャンデータとポストアンブルの間にデータを出力します。サフィックスデータの出力の有効/無効を指定する設定バーコードをスキャンしてください。

 無効	 有効
--	---

データフォーム：

<プリアンブル><プリフィックス><データ><サフィックス><ポストアンブル>

6-1-27 サフィックスデータ

サフィックス文字列の設定



設定可能な文字数	初期値
8	無し

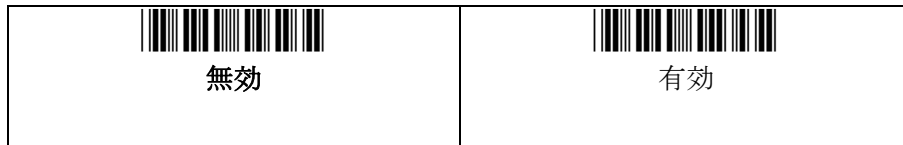
設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「サフィックスデータ」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-1-28 バーコード種別名

バーコード種別名の表示を可能にします。バーコード種別名はバーコードデータの前に表示します。



6-1-29 バーコード種別 ID

バーコードをスキャンした時、バーコード種別 ID を表示することを可能にします。





6-1-30 バーコード種別 ID 表示位置

「バーコード種別 ID」が「有効」である時、バーコード種別 ID の表示位置を設定します。
(バーコードデータの前/バーコードデータの後)







6-1-3 1 バーコードデータの文字数

バーコードデータの文字数の表示を可能にします。バーコードデータの文字数はバーコードデータの前に表示します。

 無効	 有効
---	--

6-1-3 2 Caps Lock



バーコードデータを Caps Lock の状態にコンバートして表示を可能にします。1つの設定バーコードで2種類の状況を持ちます。

 標準	 反転
 小文字	 大文字



6-1-33 タイムスタンプ区切り

バーコードデータとタイムスタンプの間に区切り文字を挿入すべきかどうか決定します。

 無効	 有効
---	--

6-1-34 タイムスタンプ区切り文字

タイムスタンプ区切り文字の設定



設定文字数	初期値
1	" "



設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「タイムスタンプ区切り文字」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-1-35 制御コード

バーコードデータの中にASCII制御コードを含んでいる場合、出力データに制御コードを出力するべきかどうか決定します。

 無効	 有効
---	--

6-1-36 蓄積データの送信間隔

送信フォーム (6-1-10) で「データ単位」に設定している時、データ出力の間隔時間を設定します。



」

設定範囲	単位	初期値
0 ~ 255 秒	1 秒	30 秒





設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「蓄積データの送信間隔」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード





6-1-37 日付と時刻情報送信

日付と時刻情報を送信するべきかどうか決定します。

日付	時間
 無効	 無効
 有効	 有効

6-1-38 日付/時刻情報の表示位置

上記日付と時刻情報を送信を「有効」に設定した時、日付/時刻情報の表示位置を設定します。(バーコードデータの前/バーコードデータの後)

 前	 後
--	---



6-1-39 日付／時刻 区切り文字

日付と時刻を区切る文字を設定します。



設定文字数	初期値
1	" "

設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「日付/時刻 区切り文字」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

6-1-40 二重読取禁止

同じバーコードをスキャンすると出力しない設定

 無効	 有効
--------	--------



6-2 Bluetooth モード

6-2-1 モード

操作モードの設定

- (1) **正読 OFF** : 大ボタン (スキャン) を押し続けると読み取りの照明が点灯します。バーコードを読み取るか、一定時間過ぎるか、大ボタンを解放すると照明が自動で消灯します。照明が消灯したら大ボタンを解放してください。
- (2) **モーメンタリ** : 大ボタンを押し続けている間は、照明を点灯して読み取り状態を続けます。大ボタンを解放またはバーコードを読み取ると照明を消灯して終了します。
- (3) **トグル** : 大ボタンを押して解放すると照明を点灯して読み取りを開始します。バーコードを読み取るか、大ボタンを押して解放すると照明を消灯して読み取りを終了します。 **バッテリー保護のために連続読み取りの動作にはなりません。**

操作モードを決定するために下記の設定バーコードをスキャンしてください。

 正読 Off	 モーメンタリ
 トグル	



6-2-2 アウトプットインタフェース

どうかアウトプットインタフェースを指定するために適切なバーコードをスキャンしてください



 スレープ	 マスタ
 HID	 HID for iOS
 dongle	 マスタ自動

6-2-3 アプリケーションタイプ

読取環境の選択

通常 : 標準読取 (初期値)

液晶画面 : 本設定を行うことでスマホなどの画面に表示したバーコードを容易に取り取ります。

 通常	 液晶画面
---	--



6-2-4 大小ボタンの複合操作

大ボタンは、バーコードをスキャンし、小ボタンは、蓄積データを送信するために通常使用します。大小ボタンを組み合わせることで別の機能として動作します。



Bluetooth モードで Bluetooth ペアリング動作を開始します。小ボタンを押し続けて中央 LED が連続高速点滅状態になりピープ音が 2 回鳴ったら、大ボタンも押してピープ音が 4 回鳴ったら大小ボタンを解放します。ペアリング可能な状態になりますので接続先のデバイスでペアリングおよび接続を完了してください。

 無効	 ペアリング開始
---	---

6-2-5 小ボタンの機能

小ボタンは、いくつかの機能が割り当てられています。小ボタンを押している時間の長さによってデータ送信モードに切り替わります。小ボタンの関連した操作を行うためにこの機能を有効にすることで利用可能になります。



小ボタンの補助機能を無効にするために「無効」のバーコードをスキャンしてください。他方「蓄積データ送信」が有効な場合に、小ボタンを押し続けて中央 LED が青色から橙色に変わると蓄積データ送信モードに切り替わりますので、小ボタンを解放します。大ボタンを押すことで蓄積データが送信されます。

 無効	 蓄積データ送信
---	---








6-2-6 USB 充電切替

ホストと USB ケーブルで接続した際にスキャナのバッテリー充電を行うべきかどうか決定します。

 無効	 有効
---	--

6-2-7 正読ビープの音量




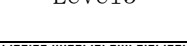
バーコードを正常に読み取った時のビープ音の音量を指定する設定バーコードをスキャンしてください。 より高いレベルは音量が大きくなります。

 消音
 Level1
 Level2
 Level3
 Level4






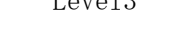
6-2-8 操作ビープの音量

通常操作モードで標準の大ボタンまたは小ボタン作業（モード切替、データ送信モード、蓄積データの削除など）時のビープ音の音量を指定する設定バーコードをスキャンしてください。より高いレベルは音量が大きくなります。

 消音
 Level1
 Level2
 Level3
 Level4

6-2-9 警告ビープの音量

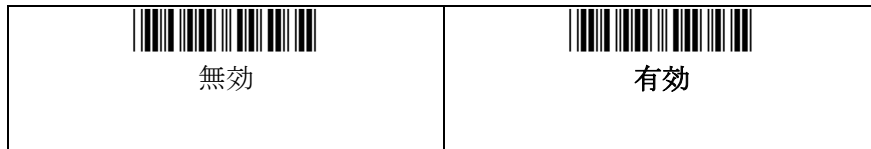
エラーが発生した時、警告ビープの音量を指定する設定バーコードをスキャンしてください。より高いレベルは音量が大きくなります。

 Level1
 Level2
 Level3
 Level4



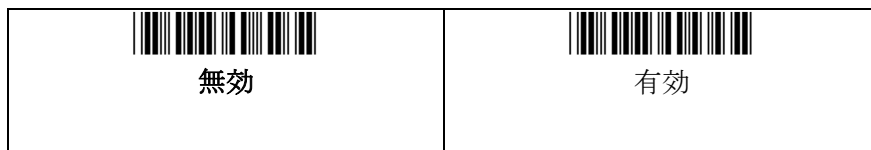
6-2-10 正読時バイブレーション

バーコードを正常に読み取った時のバイブレーション機能を有効/無効に指定する設定バーコードをスキャンしてください。



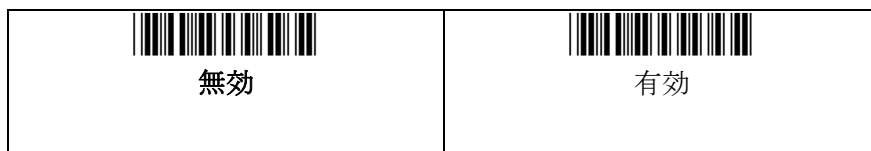
6-2-11 操作時バイブレーション

通常操作モードで標準の大ボタンまたは小ボタン作業（モード切替、データ送信モード、蓄積データの削除など）時のバイブレーション機能の有効/無効を指定する設定バーコードをスキャンしてください。



6-2-12 警告時バイブレーション

エラーが発生した時、バイブレーション機能の有効/無効を指定する設定バーコードをスキャンしてください。



6-2-13 ペアリング有効時間

Bluetooth ペアリング開始から「ペアリング有効時間」内に接続できない時、ペアリング失敗の警報を出力して終了します。



設定範囲	単位	初期値
1 ~ 255 秒	1 秒	90 秒

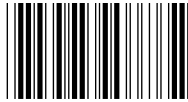
設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャンを「ペアリング有効時間」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-2-14 正読ビープ周波数

バーコードの読み取りに成功した時のビープ音の周波数を指定します。



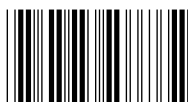
設定範囲	単位	初期値
100～3500Hz	100Hz	2700Hz

設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「正読ビープ周波数」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

6-2-15 正読ビープ時間

バーコードの読み取りに成功した時のビープ音の持続時間を指定します。



設定範囲	単位	初期値
10～2550ミリ秒	10ミリ秒	100ミリ秒

設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「正読ビープ時間」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-2-16 正読バイブレーション時間

バーコードの読み取りに成功した時のビープ音の持続時間を指定します。



設定範囲	単位	初期値
10～2550ミリ秒	10ミリ秒	50ミリ秒

設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「正読バイブレーション時間」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-2-17 読取時間

読み取り時間の設定：

1. バーコードスキャナは、設定時間内は読み取りを継続しますが、設定時間を経過すると読み取りを自動で終了します。
(初期設定：10秒：「大ボタン」を押し続けて、10秒間 照明LEDを点灯します。)
2. バーコードをスキャンしない状態を設定時間経過すると、読み取りの照明とエイマー(ターゲットマーク)を消灯します。



設定範囲	単位	初期値
1～30秒	1秒	10秒

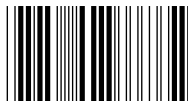
設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「スキャン時間」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-2-18 読取待機時間

スキャナは、一定時間操作しないと省エネルギーモードに切り替わります。
この設定は、省エネルギーモードに変わるまでの経過時間の長さを指定するため設定します。



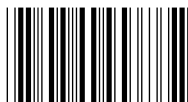
設定範囲	単位	初期値
1～255秒	1秒	15秒

設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「読取待機時間」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

6-2-19 スタンバイ時間

待機時間を経過したデバイスは、すぐに電力消費量を抑えたスタンバイ状態に入ります。
このパラメータは、電源OFFになる前のスタンバイ状態の時間を決めます。



設定範囲	単位	初期値
30～2550秒(42.5分)	10秒	90秒

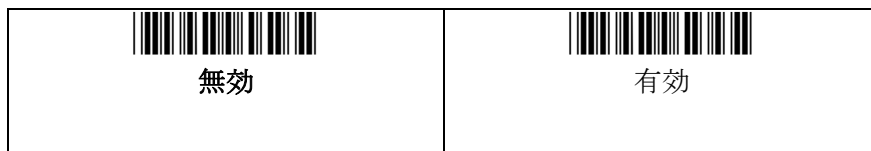
設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「スタンバイ時間」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-2-20 プリアンブル送信

プリアンブルは、データ送信の際にプリフィックスとスキャンデータより前（最初）にデータを出力します。プリアンブルコードの出力の有効/無効を指定する設定バーコードをスキャンしてください。



データフォーム：

<プリアンブル><プリフィックス><データ><サフィックス><ポストアンブル>

6-2-21 プリアンブルデータ

プリアンブル文字列の設定



設定文字数	初期値
8	無し

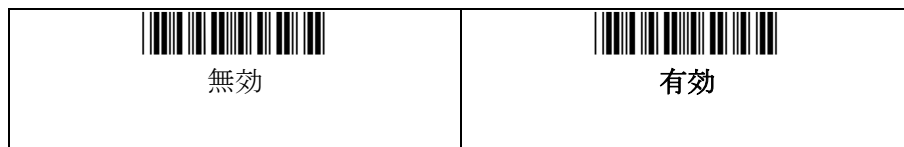
設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「プリアンブルデータ」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-2-2 2 ポストアンブル送信

ポストアンブルは、データ送信の際にサフィックスとスキャンデータより後（最後）にデータを出力します。ポストアンブルコードの出力の有効/無効を指定する設定バーコードをスキャンしてください。



データフォーム：

<プリアンブル><プリフィックス><データ><サフィックス><ポストアンブル>

6-2-2 3 ポストアンブルデータ

ポストアンブル文字列の設定



設定文字数	初期値
8	<CR><LF> (0x0D, 0x0A)


設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「ポストアンブルデータ」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-2-24 プリフィックス送信

プリフィックスは、データ送信の際にプリアンブルとスキャンデータの間データを出力します。プリフィックスデータの出力の有効/無効を指定する設定バーコードをスキャンしてください。

 無効	 有効
---	--

データフォーム：

<プリアンブル><プリフィックス><データ><サフィックス><ポストアンブル>

6-2-25 プリフィックスデータ

プリフィックス文字列の設定



設定文字数	初期値
8	無し

設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「プリフィックスデータ」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-2-26 サフィックス送信

サフィックスは、データ送信の際にスキャンデータとポストアンブルの間にデータを出力します。サフィックスデータの出力の有効/無効を指定する設定バーコードをスキャンしてください。

 無効	 有効
---	--

データフォーム：

<プリアンブル><プリフィックス><データ><サフィックス><ポストアンブル>

6-2-27 サフィックスデータ

サフィックス文字列の設定



設定文字数	初期値
8	無し

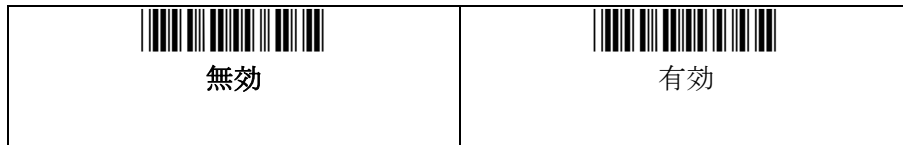
設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「サフィックスデータ」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-2-28 バーコード種別名

バーコード種別名の表示を可能にします。バーコード種別名はバーコードデータの前に表示します。



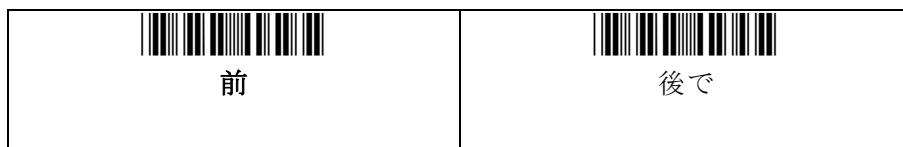
6-2-29 バーコード種別 ID

バーコードをスキャンした時、バーコード種別 ID を表示することを可能にします。





6-2-30 バーコード種別 ID 表示位置

「バーコード種別 ID」が「有効」である時、バーコード種別 ID の表示位置を設定します。
(バーコードデータの前/バーコードデータの後)







6-2-3 1 バーコードデータの文字数

バーコードデータの文字数の表示を可能にします。バーコードデータの文字数はバーコードデータの前に表示します。

 無効	 有効
---	--

6-2-3 2 Caps Lock



バーコードデータを Caps Lock の状態にコンバートして表示を可能にします。1つの設定バーコードで2種類の状況を持ちます。

 標準	 反転
 小文字	 大文字



6-2-3 3 タイムスタンプ区切り

バーコードデータとタイムスタンプの間に区切り文字を挿入するべきかどうか決定します。

 無効	 有効
---	--

6-2-3 4 タイムスタンプ区切り文字

タイムスタンプ区切り文字の設定



設定文字数	初期値
1	" "



設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「タイムスタンプ区切り文字」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード







6-2-35 制御コード

バーコードデータの中にASCII制御コードを含んでいる場合、出力データに制御コードを出力するべきかどうか決定します。

 無効	 有効
---	--



6-2-36 日付と時刻情報送信

日付と時刻情報を送信するべきかどうか決定します。

日付	時刻
 無効	 無効
 有効	 有効

6-2-37 日付/時刻情報の表示位置

上記日付と時刻情報を送信を「有効」に設定した時、日付/時刻情報の表示位置を設定します。(バーコードデータの前/バーコードデータの後)

 前	 後
--	---



6-2-38 日付／時刻 区切り文字

日付と時刻を区切る文字を設定します。



設定文字数	初期値
1	" "

設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「日付/時刻 区切り文字」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-3 ケーブルモードの環境設定

6-3-1 モード

操作モードの設定

- (1) **正読 OFF** : 大ボタン (スキャン) を押し続けると読み取りの照明が点灯します。バーコードを読み取るか、一定時間過ぎるか、大ボタンを解放すると照明が自動で消灯します。照明が消灯したら大ボタンを解放してください。
- (2) **モーメンタリ** : 大ボタンを押し続けている間は、照明を点灯して読み取り状態を続けます。大ボタンを解放またはバーコードを読み取ると照明を消灯して終了します。
- (3) **トグル** : 大ボタンを押して解放すると照明を点灯して読み取りを開始します。バーコードを読み取るか、大ボタンを押して解放すると照明を消灯して読み取りを終了します。 **他の通信モードと同様に連続読み取りの動作にはなりません。**
- (4) **プレゼン** : スキャン範囲以内に物質を検出すると、自動で照明が点灯してすぐにバーコードをスキャンします。設定時間内にバーコードをスキャンできないと自動で照明は消灯し、次の物質を検出するように待機します。

操作モードを決定するために下記の設定バーコードをスキャンしてください。

 正読 OFF
 モーメンタリ
 トグル
 プレゼン



6-3-2 出カインタフェース

出カインタフェースを指定するために適切な設定バーコードをスキャンしてください。

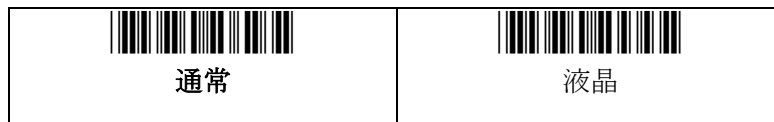


6-3-3 読取環境の設定

読取環境の選択

通常 : 標準読取 (初期値)

液晶画面 : 本設定を行うことでスマホなどの画面に表示したバーコードを容易に読み取ります。



6-3-4 大小ボタンの複合操作機能

大ボタンは、主にバーコードの読み取り、小ボタンは、蓄積データの伝送を行うために使用します、大小ボタンを組み合わせることで別の機能として動作します。ケーブルモードで、大小ボタンを組合せ操作でバッテリー充電の制御ができます。

小ボタンを押し続けると中央 LED が緑色に高速点滅したら、大ボタンも押して、次に両方のボタンを解放してください。充電状態と充電禁止の切り替えを交互に行います。

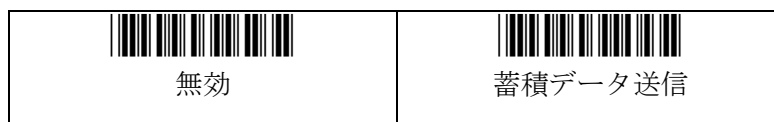
「充電禁止」 または「充電状態」の設定コードをスキャンして機能を有効にしてください。



6-3-5 小ボタンの操作機能

小ボタンは、押している時間により充電切替、蓄積データの送信モードへ切り換えるように設計されています。「蓄積データ送信」設定コードをスキャンした状態で小ボタンを連続して押し続けて中央 LED が橙色に点滅したら蓄積データ送信モードへ切り換ります。蓄積データ送信モードで大ボタンを押すと蓄積データが送信されて通常モードへ戻ります。

「無効」設定コードをスキャン状態では、切り替わりません。



6-3-6 充電

デバイスがUSBケーブルでホストと接続されるときに、バッテリー充電を行う／行わないを決定する設定バーコードをスキャンしてください。

 無効
 有効

6-3-7 正読ビープの音量

バーコードを正常に読み取った時のビープ音の音量を指定する設定バーコードをスキャンしてください。より高いレベルは音量が大きくなります。

 消音	 * Level1
 Level2	 Level3
 Level4	







6-3-8 操作ビープの音量

通常操作モードで標準の大ボタンまたは小ボタン作業（モード切替、データ送信モード、蓄積データの削除など）時のビープ音の音量を指定する設定バーコードをスキャンしてください。より高いレベルは音量が大きくなります。

 消音	 Level1
 Level2	 Level3
 Level4	

6-3-9 警告ビープの音量

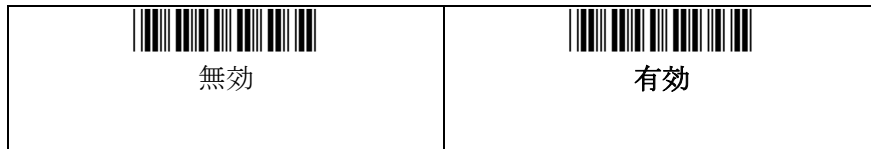
エラーが発生した時、警告ビープの音量を指定する設定バーコードをスキャンしてください。より高いレベルは音量が大きくなります。

 Level1	 Level2
 Level3	 Level4



6-3-10 正読時バイブレーション

バーコードを正常に読み取った時のバイブレーション機能を有効/無効に指定する設定バーコードをスキャンしてください。



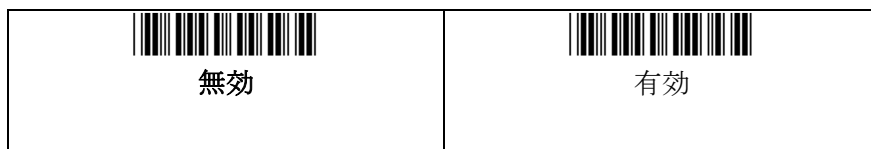
6-3-11 操作時バイブレーション

通常操作モードで標準の大ボタンまたは小ボタン作業（モード切替、データ送信モード、蓄積データの削除など）時のバイブレーション機能の有効/無効を指定する設定バーコードをスキャンしてください。



6-3-12 警告時バイブレーション

エラーが発生した時、バイブレーション機能の有効/無効を指定する設定バーコードをスキャンしてください。



6-3-13 自動スキャンモード

ケーブルモード時に、スキャナが起動したら自動でスキャンを開始します。

 無効
 有効

6-3-14 正読ビープ 周波数

バーコードの読み取りに成功した時のビープ音の周波数を指定します。



設定範囲	単位	初期値
100 ~ 3500Hz	100Hz	2700Hz

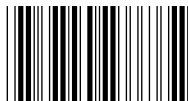
設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「正読ビープ周波数」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-3-15 正読ビープ時間

バーコードの読み取りに成功した時のビープ音の持続時間を指定します。



設定範囲	単位	初期値
10～2550ミリ秒	10ミリ秒	100ミリ秒

設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「正読ビープ時間」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

6-3-16 正読バイブレータ時間

バーコードの読み取りに成功した時のビープ音の持続時間を指定します。



設定範囲	単位	初期値
10～2550ミリ秒	10ミリ秒	50ミリ秒

設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「正読バイブレーター時間」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-3-17 読取時間

読み取り時間の設定：

1. バーコードスキャナは、設定時間内は読み取りを継続しますが、設定時間を経過すると読み取りを自動で終了します。
(初期設定：10秒：「大ボタン」を押し続けて、10秒間 照明LEDを点灯します。)
2. バーコードをスキャンしない状態を設定時間経過すると、読み取りの照明とエイマー(ターゲットマーク)を消灯します。



設定範囲	単位	初期値
1～30秒	1秒	10秒


設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「読取時間」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-3-18 プリアンブル送信

プリアンブルは、データ送信の際にプリフィックスとスキャンデータより前（最初）にデータを出力します。プリアンブルコードの出力の有効/無効を指定する設定バーコードをスキャンしてください。

 無効	 有効
---	--

データフォーム：

<プリアンブル><プリフィックス><データ><サフィックス><ポストアンブル>

6-3-19 プリアンブルデータ

プリアンブル文字列の設定



設定文字数	初期値
8	無し



設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「プリアンブルデータ」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-3-20 ポストアンブル送信

ポストアンブルは、データ送信の際にサフィックスとスキャンデータより後（最後）にデータを出力します。ポストアンブルコードの出力の有効/無効を指定する設定バーコードをスキャンしてください。

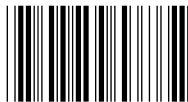
 無効	 有効
---	--

データフォーム：

<プリアンブル><プリフィックス><データ><サフィックス><ポストアンブル>

6-3-21 ポストアンブルデータ

ポストアンブル文字列の設定



設定文字数	初期値
8	<CR><LF> (0x0D0x0A)


設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「ポストアンブルデータ」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-3-2 2 プリフィックス送信

プリフィックスは、データ送信の際にプリアンブルとスキャンデータの間データを出力します。プリフィックスデータの出力の有効/無効を指定する設定バーコードをスキャンしてください。

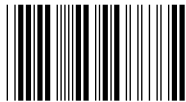
 無効	 有効
---	--

データフォーム：

<プリアンブル><プリフィックス><データ><サフィックス><ポストアンブル>

6-3-2 3 プリフィックスデータ

プリフィックス文字列の設定



設定文字数	初期値
8	無し



設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「プリフィックスデータ」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-3-24 サフィックス送信

サフィックスは、データ送信の際にスキャンデータとポストアンブルの間にデータを出力します。サフィックスデータの出力の有効/無効を指定する設定バーコードをスキャンしてください。

 無効	 有効
---	--

データフォーム：

<プリアンブル><プリフィックス><データ><サフィックス><ポストアンブル>

6-3-25 サフィックスデータ

サフィックス文字列の設定



設定文字数	初期値
8	無し


設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「サフィックスデータ」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



6-3-26 バーコード種別名

バーコード種別名の表示を可能にします。バーコード種別名はバーコードデータの前に表示します。

 無効	 有効
---	--

6-3-27 バーコード種別 ID

バーコードをスキャンした時、バーコード種別 ID を表示することを可能にします。

 無効	 有効
--	---

6-3-28 バーコード種別 ID 表示位置



「バーコード種別 ID」が「有効」である時、バーコード種別 ID の表示位置を設定します。
(バーコードデータの前/バーコードデータの後)

 前	 後
--	---







6-3-29 バーコードデータの文字数

バーコードデータの文字数の表示を可能にします。バーコードデータの文字数はバーコードデータの前に表示します。

 無効	 有効
---	--

6-3-30 Caps Lock



バーコードデータを Caps Lock の状態にコンバートして表示を可能にします。1つの設定バーコードで2種類の状況を持ちます。

 標準	 反転
 小文字	 大文字



6-3-3 1 タイムスタンプ区切り

バーコードデータとタイムスタンプの間に区切り文字を挿入すべきかどうか決定します。

 無効	 有効
---	--

6-3-3 2 タイムスタンプ区切り文字

タイムスタンプ区切り文字の設定



設定文字数	初期値
1	" "


設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「タイムスタンプ区切り文字」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード







6-3-33 制御コード

バーコードデータの中にASCII制御コードを含んでいる場合、出力データに制御コードを出力するべきかどうか決定します。

 無効	 有効
---	--

6-3-34 日付と時刻情報送信

日付と時刻情報を送信するべきかどうか決定します。

日付	時間
 無効	 無効
 有効	 有効

6-3-35 日付/時刻情報の表示位置

上記日付と時刻情報を送信を「有効」に設定した時、日付/時刻情報の表示位置を設定します。(バーコードデータの前/バーコードデータの後)

 前	 後
--	---



6-3-36 日付／時刻 区切り文字

日付と時刻を区切る文字を設定します。



設定文字数	初期値
1	" "

設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「日付／時刻 区切り文字」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



第7章：環境設定

7-1 ホストインタフェース

7-1-1 バージョン

7-1-2 アポート設定

7-1-3 バーコードデフォルト

7-1-4 すべてのデフォルト

7-1-5 Mode Switch

7-2 データ出力インタフェース

7-2-1 がキーボードの種類をUSB - 隠しました

7-2-1-1 キャップス・ロック

7-2-1-2 Num Lock

7-2-1-3 シフトリリースキャップス・ロック

7-2-1-4 伝達タイムアウト

7-2-1-5 伝達 char 遅れ

7-2-1-6 伝達 char ギャップ時間

7-2-1-7 伝達レコード間隔時間

7-2-1-8 USBがレイアウト設定を隠しました

7-2-1-9 アウトプット言語

7-2-2 USB - SPP (仮想の COM) タイプ

7-2-2-1 通信プロトコル

7-2-2-2 <STX>& <ETX>特徴

7-2-2-3 コマンドモード

7-2-2-4 再転送カウント

7-2-2-5 ACK タイムアウト

7-2-2-6 伝達タイムアウト

7-2-2-7 伝達 char 遅れ

7-2-2-8 伝達 char ギャップ時間

7-2-2-9 伝達レコード間隔時間

7-2-3 Bluetooth HID

7-2-3-1 キャップス・ロック

7-2-3-2 Num Lock

7-2-3-3 シフトリリースキャップス・ロック

7-2-3-4 Bluetoothがレイアウト Setting を隠しました

7-2-3-5 伝達タイムアウト



- 7-2-3-6 伝達 char 遅れ
- 7-2-3-7 伝達 char ギャップ時間
- 7-2-3-8 伝達レコード間隔時間
- 7-2-3-9 アウトプット言語
- 7-2-4 Bluetooth - SPP タイプ
 - 7-2-4-1 通信プロトコル
 - 7-2-4-2 <STX>& <ETX>特徴
 - 7-2-4-3 コマンドモード
 - 7-2-4-4 再転送カウント
 - 7-2-4-5 ACK タイムアウト
 - 7-2-4-6 伝達タイムアウト
 - 7-2-4-7 伝達 char 遅れ
 - 7-2-4-8 伝達 char ギャップ時間
 - 7-2-4-9 伝達レコード間隔時間
- 7-2-5 メモリ HID タイプ
 - 7-2-5-1 キャップス・ロック
 - 7-2-5-2 Num Lock
 - 7-2-5-3 シフトリリースキャップス・ロック
 - 7-2-5-4 記憶がレイアウト Setting を隠しました
 - 7-2-5-5 伝達タイムアウト
 - 7-2-5-6 伝達 char 遅れ
 - 7-2-5-7 伝達 char ギャップ時間
 - 7-2-5-8 伝達レコード間隔時間
 - 7-2-5-9 アウトプット言語
- 7-2-6 メモリ - SPP タイプ
 - 7-2-6-1 通信プロトコル
 - 7-2-6-2 <STX>& <ETX>特徴
 - 7-2-6-3 再転送カウント
 - 7-2-6-4 ACK タイムアウト
 - 7-2-6-5 伝達タイムアウト
 - 7-2-6-6 伝達 char 遅れ
 - 7-2-6-7 伝達 char ギャップ時間
 - 7-2-6-8 伝達レコード間隔時間

7-3 システム制御

- 7-3-1 様式
- 7-3-2 システムビープのボリューム
- 7-3-3 DcPlug ケーブル様式



- 7-3-4 日付形式
- 7-3-5 時間構成
- 7-3-6 システム Virbator
- 7-3-7 ショーヘッダー Str
- 7-3-8 ショーフッタ Str
- 7-3-9 ショーヘッダー SerNum
- 7-3-10 ショーフッタ SerNum
- 7-3-11 ショーヘッダー期日&時間
- 7-3-12 ショーフッタ期日&時間
- 7-3-13 ショーヘッダー RecCnt
- 7-3-14 ショーフッタ RecCnt
- 7-3-15 日付区切り線
- 7-3-16 時間区切り線
- 7-3-17 DLE エスケープ特徴
- 7-3-18 バーエスケープ特徴
- 7-3-19 ETX エスケープ特徴
- 7-3-20 STX エスケープ特徴
- 7-3-21 セットアップタイムアウト時間
- 7-3-22 セット期日&時間
- 7-3-23 データがクリアするすべての記憶
- 7-3-24 すべてのメモリデータ伝送
- 7-3-25 フッタ Chatacters
- 7-3-26 読取エリア 中央
- 7-3-27 読取エリア 上部設定
- 7-3-28 読取エリア 下部設定
- 7-3-29 読取エリア 左側設定
- 7-3-30 読取エリア 右側設定

メモ：パラメータ設定のために 16 進 / 10 進テーブル（ページ：347）を印刷することを推奨しました。



7. 環境設定

7-1 ホストインターフェイス

7-1-1 バージョン

ファームウェア情報出力には、カスタマ番号、ISP バージョン、ファームウェアバージョン、2Dエンジンバージョンと Bluetooth モジュールバージョンを含みます。



設定手順：

- (1) スキャン「設定開始」バーコード
- (2) スキャン「バージョン」バーコード

注意：ファームウェア情報は下記の通りです。

(数値は例で実際と異なることがあります)

Mode: 0005.0001	(カスタマ番号)
Isp: 0001.0000	(ISP バージョン)
Kernel: 0001.0009	(ファームウェアバージョン)
2D Eng: CZ000052BAA	(2D エンジンバージョン)
Bt: V100-T031BT-20170627	(Bluetooth モジュールバージョン)

7-1-2 設定中止

現在の設定を中止して設定前の状態へ戻すために「設定終了」バーコードをスキャンする前に、下記の「設定中止」バーコードをスキャンしてください。



設定手順：

- (1) 「設定モード」時のみ有効
- (2) スキャン「設定中止」バーコード

設定開始



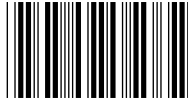
132

設定終了



7-1-3 バーコード設定の初期化

バーコード設定を初期値に戻すために下のバーコードをスキャンしてください。

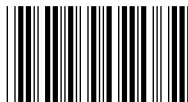
**設定手順：**

- (1) スキャン「設定開始」バーコード
- (2) スキャン「バーコード初期化」バーコード

バーコード種別に関する設定値を出荷時状態へ戻します。その他の設定値は変更されません。

7-1-4 全初期化

出荷状態設定に戻すために下のバーコードをスキャンしてください。

**設定手順：**

- (1) スキャン「設定開始」バーコード
- (2) スキャン「全初期化」バーコード

出荷時状態の設定値へ戻します。通信設定は、次回起動に設定が反映されます。



7-1-5 モード設定

「設定開始」バーコードをスキャンして、下記のモードへ切り替えるバーコードをスキャンしてください。

ケーブルモード	
メモリモード	
Bluetooth モード	

設定手順：

- (1) スキャン「設定開始」バーコード
- (2) スキャン「ケーブルモード」、「メモリモード」、「Bluetooth モード」バーコード

※最後にスキャンしたモードが有効になります。

※メモリモードは、初期値で禁止設定になっております。許可するためには、「7-3-1 モード」項目で「ケーブル&メモリ&Bluetooth」を先に設定してください。



7-2 データ出カインターフェイス

ケーブルモード

スキャナをPCをUSBケーブルで接続して、メモリモードで蓄積したデータの転送、あるいは、USBケーブルスキャナとしてリアルタイムでデータ転送ができます。

2つの異なった出カインターフェイスがあります：

- (1) USB-HID（キーボード）タイプ：Word、Excel あるいはテキストエディタにバーコードデータを入力することができます。
- (2) USB-COM（仮想シリアル）タイプ：シリアル通信ソフトでバーコードデータを受信できます。



7-2-1 USB HID キーボードタイプ

バーコードデータ表示の Caps Lock 設定。

 自動	 小文字
 大文字	 Alt +

例：バーコードデータ「ABCdef」の場合

ステータス 選択	Caps Lock オン	Caps Lock オフ
大文字	ABCdef	abcDEF
小文字	abcDEF	ABCdef
Alt+ テンキー	ABCdef	ABCdef

7-2-1-2 Num Lock

テンキーパッドの設定、アプリケーションプログラムによって数値キーパッドを有効にしているならば、キーパッドの設定を選択しなければなりません。（キーボード右側の「NumLock」をオンにします）

 通常設定 (NumLock オフ)
 テンキー設定 (NumLock オン)



7-2-1-3 Shift 解除した Caps Lock

Shift キーを解除した Caps Lock の状態に戻します。


無効

有効

7-2-1-4 送信タイムアウト

データ転送後に設定時間内に返答が無い場合に警報を発します。



設定範囲	単位	初期値
2 ~ 2 5 5 秒	1 秒	3 秒

設定手順 :	例 :
(A) スキャン「設定開始」バーコード	設定を 2 秒にするために パラメータ「2」をスキ ャンしてください。
(B) スキャン「送信タイムアウト」バーコード	
(C) 16 進/10 進表からパラメータをスキャンしてください	
(D) スキャン「確定 (OK)」バーコード	
(E) スキャン「設定終了」バーコード	



7-2-1-5 文字間遅延間隔

設定された文字の数を送信すると遅延時間待って送信を再開します。設定された文字数より小さいデータでは遅延時間は発生しません。



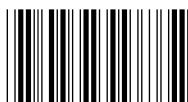
設定範囲	初期値
0 ~ 2 5 5	0

設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「文字間遅延間隔」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

7-2-1-6 文字間遅延時間

文字間遅延間隔で設定した遅延時間を設立します。



設定範囲	単位	初期値
0 ~ 2 5 5 ミリ秒	1 ミリ秒	0 ミリ秒

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「文字間遅延時間」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

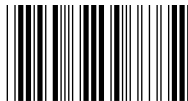
例：

設定を2 ミリ秒にするためにパラメータ「2」をスキャンしてください。



7-2-1-7 レコード間隔時間

レコード間の送信に遅延時間を設定します。



設定範囲	単位	初期値
0～2550ミリ秒	10ミリ秒	0ミリ秒

設定手順：	例：
(A) スキャン「設定開始」バーコード	200 ミリ秒を設定するには、200 ミリ秒 /10 ミリ秒 = 20 です
(B) スキャン「伝達レコード間隔時間」バーコード	
(C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください	
(D) スキャン「確定(OK)」バーコード	
(E) スキャン「設定終了」バーコード	

7-2-1-8 USB HID キーボード言語

USDB HID キーボード言語を指定します。

USB HID キーボード言語
 英語 (US)
 英語
 日本語
 フランス語
 ドイツ語
 イタリア語
 スペイン語

設定開始



139




設定終了



 ポルトガル語
 スロバキア語
 韓国語
 トルコ語

7-2-1-9 出力言語

バーコードの言語に合わせる

 合衆国
 Big5
 Gb2312
 Shift JIS



7-2-2 USB - SPP (仮想 COM) タイプ

7-2-2-1 通信プロトコル

「ACK / NAK」 ハンドシェイクの設定

 無効
 有効

7-2-2-2 <STX> - <ETX>パケット

先頭に「STX」、データ、末尾に「ETX」

 無効
 有効



7-2-2-3 バーコードとエスケープ文字

バーコードとエスケープ文字の選択

 無効
 有効

7-2-2-4 コマンドモード

SPP 通信でコマンドモードの選択

 無効
 有効



7-2-2-5 再転送カウント

NAK 受信による再送信の回数制限。 ACK を受信するか ACK 受信タイムアウト以前の状態で有効です。



設定範囲	初期値
0 ~ 2 5 5	2

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「再転送カウント」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

7-2-2-6 ACK タイムアウト

ACK/NAK を受信するまでの時間を設定



設定範囲	単位	初期値
2 ~ 2 5 5 秒	1 秒	3 秒

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「ACK タイムアウト」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

例：

2秒を設定するには、
2秒 / 1秒 = 2です

設定開始



143

設定終了



7-2-2-7 送信タイムアウト

設定時間内に応答メッセージを受信できないと送信タイムアウトエラーを発生します。



設定範囲	単位	初期値
2～255秒	1秒	3秒

設定手順：	例：
(A) スキャン「設定開始」バーコード (B) スキャン「送信タイムアウト」バーコード (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください (D) スキャン「確定(OK)」バーコード (E) スキャン「設定終了」バーコード	2秒を設定するには、 $2 \text{ 秒} / 1 \text{ 秒} = 2$ です

7-2-2-8 送信文字間遅延設定

送信文字数毎に遅延時間を入れます。



設定範囲	初期値
0～255	0

設定手順
(A) スキャン「設定開始」バーコード (B) スキャン「送信文字間遅延設定」バーコード (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください (D) スキャン「確定(OK)」バーコード (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



144

設定終了



7-2-2-9 送信文字間遅延時間

送信文字間の遅延時間を設定



設定範囲	単位	初期値
0～255ミリ秒	1ミリ秒	0ミリ秒

設定手順：	例：
(A) スキャン「設定開始」バーコード (B) スキャン「送信文字間遅延時間」バーコード (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください (D) スキャン「確定(OK)」バーコード (E) スキャン「設定終了」バーコード	2ミリ秒を設定するには、2ミリ秒 / 1ミリ秒 = 2です

7-2-2-10 送信データ間遅延時間

送信データ間の遅延時間を設定



設定範囲	単位	初期値
0～2550ミリ秒	10ミリ秒	0ミリ秒

設定手順：	例：
(A) スキャン「設定開始」バーコード (B) スキャン「送信データ間遅延時間」バーコード (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください (D) スキャン「確定(OK)」バーコード (E) スキャン「設定終了」バーコード	20ミリ秒を設定するには、20ミリ秒 / 10ミリ秒 = 2です

設定開始



145

設定終了




Bluetooth モード

7-2-3 Bluetooth HID タイプ

7-2-3-1 CapsLock

バーコードデータ表示用の Caps Lock 設定。



 小文字	 Alt+
 大文字	

バーコードデータ出力例「ABCdef」

ステータス 選択	Caps Lock オン	Caps Lock オフ
大文字	ABCdef	abcDEF
小文字	abcDEF	ABCdef
Alt + テンキー	ABCdef	ABCdef

7-2-3-2 Num Lock

テンキーパッドの設定:アプリケーションプログラムがテンキーパッドからの入力のみを許可しない場合に使用します。(キーボード右側の上の「NumLock」キーを制御)

 アルファベット	 数値
--	--



7-2-3-3 Caps Lock 解除 (Shift + Caps Lock)

Caps Lock 状態を解除する設定。 Shift キーを押しながら Caps Lock キーを押した状態

 無効
 有効

7-2-3-4 Bluetooth HID キーボード設定

Bluetooth HID キーボード言語を設定

 US 英語	 スペイン
 UK 英語	 ポルトガル
 日本語	 スロバキア
 フランス	 韓国
 ドイツ	 トルコ
 イタリア	 フィンランド&スウェーデン



7-2-3-5 送信タイムアウト設定

データ送信後に応答メッセージが届くまでの時間を設定

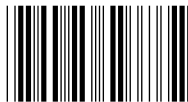


設定範囲	単位	初期値
2～255秒	1秒	3秒

設定手順：	例：
(A) スキャン「設定開始」バーコード (B) スキャン「送信タイムアウト」バーコード (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください (D) スキャン「確定(OK)」バーコード (E) スキャン「設定終了」バーコード	2秒に設定する場合 $2\text{秒} \div 1\text{秒} = 2$

7-2-3-6 文字間遅延間隔

設定した文字数を出力後に遅延時間を入れる数値を設定



設定範囲	初期値
0～255	0

設定手順
(A) スキャン「設定開始」バーコード (B) スキャン「文字間遅延間隔」バーコード (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください (D) スキャン「確定(OK)」バーコード (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



148

設定終了



7-2-3-7 文字間遅延時間

文字間遅延間隔に入れる遅延時間を設定



設定範囲	単位	初期値
0～255ミリ秒	1ミリ秒	0ミリ秒

設定手順：	例：
(A) スキャン「設定開始」バーコード	2ミリ秒に設定する場合 2ミリ秒÷1ミリ秒 = 2
(B) スキャン「文字間遅延時間」バーコード	
(C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください	
(D) スキャン「確定(OK)」バーコード	
(E) スキャン「設定終了」バーコード	

7-2-3-8 データ間遅延時間

スキャンデータ送信後に入れる遅延時間を設定



設定範囲	単位	初期値
0～2550ミリ秒	10ミリ秒	0ミリ秒

設定手順：	例：
(A) スキャン「設定開始」バーコード	200ミリ秒に設定する場合 200ミリ秒÷10ミリ秒 = 20
(B) スキャン「データ間遅延時間」バーコード	
(C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください	
(D) スキャン「確定(OK)」バーコード	
(E) スキャン「設定終了」バーコード	

設定開始







149

設定終了



7-2-3-9 送信言語

バーコードエンコーディングの言語を設定

 US
 Big5
 GB2312
 Shift JIS

設定開始



150

設定終了



7-2-4 Bluetooth - SPP タイプ

7-2-4-1 通信プロトコル

「ACK / NAK」 ハンドシェイクの設定



7-2-4-2 <STX> - <ETX>パケット

スキャンデータの先頭に「STX(0x02)」、末尾に「ETX(0x03)」を付加するパケット設定



7-2-4-3 <CMD>&<BAR>文字

<BAR>または<CMD>のエスケープ文字の設定

 無効
 有効

7-2-4-4 コマンドモード

Bluetooth SPP モードでコマンドモードの設定

 無効
 有効



7-2-4-5 NAK 再転送回数

データ転送後に「NAK」応答メッセージを受け取りデータの再送信を行う回数を設定



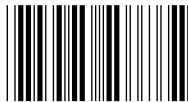
設定範囲	初期値
0 ~ 2 5 5	2

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「NAK 再転送回数」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

7-2-4-6 ACK タイムアウト

データを送った後に「ACK」応答メッセージを受け取るまでの時間を設定



設定範囲	単位	初期値
2 ~ 2 5 5 秒	1 秒	3 秒

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「ACK タイムアウト」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

例：

2秒に設定する場合、
2秒 ÷ 1秒 = 2

設定開始



153

設定終了



7-2-4-7 送信タイムアウト

データを送った後に「ACK」または「NAK」応答メッセージを受け取るまでの時間を設定



設定範囲	単位	初期値
2 ~ 255 秒	1 秒	3 秒

設定手順 :	例 :
(A) スキャン「設定開始」バーコード (B) スキャン「送信タイムアウト」バーコード (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください (D) スキャン「確定(OK)」バーコード (E) スキャン「設定終了」バーコード	2秒に設定する場合、 $2 \text{ 秒} \div 1 \text{ 秒} = 2$

7-2-4-8 文字間遅延間隔

遅延時間を入れる転送文字数を設定



設定範囲	初期値
0 ~ 255	0

設定手順
(A) スキャン「設定開始」バーコード (B) スキャン「文字間遅延間隔」バーコード (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください (D) スキャン「確定(OK)」バーコード (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



154

設定終了



7-2-4-9 文字間遅延時間

文字間遅延時間を設定



設定範囲	単位	初期値
0～255ミリ秒	1ミリ秒	0ミリ秒

設定手順：	例：
(A) スキャン「設定開始」バーコード	2ミリ秒に設定する場合 2ミリ秒÷1ミリ秒 =2
(B) スキャン「文字間遅延時間」バーコード	
(C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください	
(D) スキャン「確定(OK)」バーコード	
(E) スキャン「設定終了」バーコード	

7-2-4-10 データ間遅延時間

データ間の遅延時間を設定



設定範囲	単位	初期値
0～2550ミリ秒	10ミリ秒	0ミリ秒

設定手順：	例：
(A) スキャン「設定開始」バーコード	200ミリ秒に設定する場合 200ミリ秒÷10 ミリ秒=20
(B) スキャン「伝達レコード間隔時間」バーコード	
(C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください	
(D) スキャン「確定(OK)」バーコード	
(E) スキャン「設定終了」バーコード	

設定開始



155

設定終了



設定開始



156

設定終了







メモリモード

7-2-5 メモリ HID モード

7-2-5-1 Caps Lock

バーコードデータ表示の Caps Lock 設定。

 自動判定	 小文字
 大文字	 Alt +

バーコードデータ出力例「ABCdef」

ステータス 選択	Caps Lock オン	Caps Lock オフ
	大文字	ABCdef
小文字	abcDEF	ABCdef
Alt + テンキー	ABCdef	ABCdef

7-2-5-2 Num Lock

テンキーパッドの設定、アプリケーションプログラムによって数値キーパッドを有効にしているならば、キーパッドの設定を選択しなければなりません。（キーボード右側の「NumLock」をオンにします）

 通常設定 (NumLock オフ)
 テンキー設定 (NumLock オン)















7-2-5-3 Shift 解除した Caps Lock

Shift キーを解除した Caps Lock の状態に戻します。

 無効
 有効

7-2-5-4 メモリ HID キーボード設

メモリモード HID キーボード言語を設定

 US 英語	 スペイン
 UK 英語	 ポルトガル
 日本語	 スロバキア
 フランス	 韓国
 ドイツ	 トルコ
 イタリア	 フィンランド&スウェーデン



7-2-5-5 送信タイムアウト設定

データ送信後に応答メッセージが届くまでの時間を設定



設定範囲	単位	初期値
2～255秒	1秒	3秒

設定手順：	例：
(A) スキャン「設定開始」バーコード	2秒に設定する場合 2秒 ÷ 1秒 = 2
(B) スキャン「送信タイムアウト」バーコード	
(C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください	
(D) スキャン「確定(OK)」バーコード	
(E) スキャン「設定終了」バーコード	

7-2-5-6 文字間遅延間隔

設定した文字数を出力後に遅延時間を入れる数値を設定



設定範囲	初期値
0～255	0

設定手順
(A) スキャン「設定開始」バーコード
(B) スキャン「文字間遅延間隔」バーコード
(C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
(D) スキャン「確定(OK)」バーコード
(E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



159

設定終了



7-2-5-7 文字間隔遅延時間

文字間隔の遅延時間を設定



設定範囲	単位	初期値
0～255ミリ秒	1ミリ秒	0ミリ秒

設定手順：	例：
(A) スキャン「設定開始」バーコード	2ミリ秒に設定する場合 2ミリ秒÷1ミリ秒 = 2
(B) スキャン「文字間隔遅延時間」バーコード	
(C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください	
(D) スキャン「確定(OK)」バーコード	
(E) スキャン「設定終了」バーコード	

7-2-5-8 データ間隔遅延時間

データ間隔の遅延時間の設定



設定範囲	単位	初期値
0～2550ミリ秒	10ミリ秒	0ミリ秒

設定手順：	例：
(A) スキャン「設定開始」バーコード	200ミリ秒に設定する場合 200ミリ秒÷10ミリ秒 = 20
(B) スキャン「データ間隔遅延時間」バーコード	
(C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください	
(D) スキャン「確定(OK)」バーコード	
(E) スキャン「設定終了」バーコード	

設定開始







160

設定終了



7-2-5-9 送信言語

送信言語の設定

 US
 Big5
 GB2312
 Shift JIS

設定開始



161

設定終了



7-2-6 メモリ - SPP タイプ

7-2-6-1 通信プロトコル

「ACK/NAK」プロトコルの設定



7-2-6-2 <STX> - <ETX>設定

スキャンデータの先頭に「STX(0x02)」、末尾に「ETX(0x03)」を付加するパケット設定



7-2-6-3 <CMD>& <BAR>文字

<BAR>または<CMD>のエスケープ文字の設定

 無効
 有効

7-2-6-4 再転送カウント

NAK 受信による再送信の回数制限。 ACK を受信するか ACK 受信タイムアウト以前の状態で有効です。



設定範囲	初期値
0 ~ 2 5 5	2

設定手順 :

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「再転送カウント」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



7-2-6-5 ACK タイムアウト

ACK/NAK を受信するまでの時間を設定



設定範囲	単位	初期値
2 ~ 255 秒	1 秒	3 秒

設定手順 :	例 :
(A) スキャン「設定開始」バーコード	2 秒に設定する場合 2 秒 ÷ 1 秒 = 2
(B) スキャン「ACK タイムアウト」バーコード	
(C) 16 進/10 進表からパラメータをスキャンしてください	
(D) スキャン「確定(OK)」バーコード	
(E) スキャン「設定終了」バーコード	

7-2-6-6 送信タイムアウト

設定時間内に応答メッセージを受信できないと送信タイムアウトエラーを發します。



設定範囲	単位	初期値
2 ~ 255 秒	1 秒	3 秒

設定手順 :	例 :
(A) スキャン「設定開始」バーコード	2 秒に設定する場合 2 秒 ÷ 1 秒 = 2
(B) スキャン「送信タイムアウト」バーコード	
(C) 16 進/10 進表からパラメータをスキャンしてください	
(D) スキャン「確定(OK)」バーコード	
(E) スキャン「設定終了」バーコード	

設定開始



164

設定終了



7-2-6-7 送信文字間遅延設定

送信文字数毎に遅延時間を入れます。



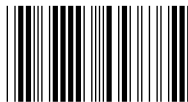
設定範囲	初期値
0～255	0

設定手順

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「送信文字間遅延設定」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

7-2-6-8 送信文字間遅延時間

送信文字間の遅延時間を設定



設定範囲	単位	初期値
0～255ミリ秒	1ミリ秒	0ミリ秒

設定手順：	例：
(A) スキャン「設定開始」バーコード	2ミリ秒に設定する場合 2ミリ秒÷1ミリ秒 = 2
(B) スキャン「送信文字間遅延時間」バーコード	
(C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください	
(D) スキャン「確定(OK)」バーコード	
(E) スキャン「設定終了」バーコード	

設定開始



165

設定終了



7-2-6-9 送信データ間遅延時間

送信データ間の遅延時間を設定



設定範囲	単位	初期値
0～2550ミリ秒	10ミリ秒	0ミリ秒

設定手順：	例：
(A) スキャン「設定開始」バーコード	200ミリ秒に設定する場合 200ミリ秒÷10ミリ秒 = 20
(B) スキャン「送信データ間遅延時間」バーコード	
(C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください	
(D) スキャン「確定(OK)」バーコード	
(E) スキャン「設定終了」バーコード	

設定開始



166

設定終了



7-3 システム制御






7-3-1 モード

モードの設定

 ケーブル	 ケーブル&Bluetooth
 メモリ	 メモリ & Bluetooth
 ケーブル&メモリ	 ケーブル&メモリ & Bluetooth
 Bluetooth	

7-3-2 システムビープの音量

システム操作（起動）時のビープ音の音量設定

 消音	 Level1
 Level2	 Level3
 Level4（最大）	









7-3-3 USB ケーブル接続状態

USB ケーブルを接続してホスト通信を開始する初期値と通信モードを変更すること無く充電のみを行う状態を切り換える

 充電専用
 ケーブル通信

7-3-4 日付形式




日付表示形式の設定

 YYYYMMDD
 MMDDYYYY
 DDMMYYYY
 YYMMDD
 MMDDYY
 DDMMYY



7-3-5 時間形式

時間表示形式の設定

 HHMMSS
 HHMM
 MMSS

7-3-6 システムバイブレータ

システム操作時の警報バイブレーション設定

 無効
 有効

7-3-7 ヘッダ文字列出力

蓄積データの送信時にヘッダ文字列を出力する設定

 無効
 有効

設定開始



169

設定終了



7-3-8 フッタ文字列出力

蓄積データの送信時にフッタ文字列を出力する設定

 無効
 有効

7-3-9 ヘッダにシリアル番号出力

蓄積データの送信時にヘッダにシリアル番号を出力する設定

 無効
 有効

7-3-10 フッタにシリアル番号出力





蓄積データの送信時にフッタにシリアル番号を出力する設定

 無効
 有効







7-3-1 1 ヘッダ日時情報出力

蓄積データの送信時にヘッダに日時情報を出力する設定
全蓄積データを削除すると日時情報をクリアします。

日付	時間
 無効	 無効
 有効	 有効

7-3-1 2 フッタ日時情報出力

蓄積データの送信時にフッタに日時情報を出力する設定
全蓄積データを削除すると日時情報をクリアします。

日付	時間
 無効	 無効
 有効	 有効

7-3-1 3 ヘッダ蓄積数出力

蓄積データの送信時にヘッダに蓄積データ数を出力する設定

 無効
 有効



7-3-14 フッタ蓄積数出力

蓄積データの送信時にフッタに蓄積データ数を出力する設定

 無効
 有効

7-3-15 日付区切文字

日付の区切文字設定



設定文字数	初期値
1	/

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「日付区切文字」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



172

設定終了



7-3-16 時間区切文字

時間区切文字の設定



設定文字数	初期値
1	:

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「時間区切文字」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

7-3-17 DLE 制御コード

DLE 制御コードに割り当てる ASCII コードを設定



設定文字数	初期値
1	0x10

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「DLE 制御コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



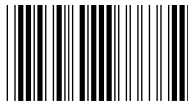
173

設定終了



7-3-18 ETX 制御コード

ETX 制御コードに割り当てる ASCII コードを設定



設定文字数	初期値
1	0x03

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「ETX エスケープ特徴」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

7-3-19 STX 制御コード

STX 制御コードに割り当てる ASCII コードを設定



設定文字数	初期値
1	0x02

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「STX 制御コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



7-3-20 セットアップタイムアウト時間

設定開始のバーコードをスキャンした後でセットアップタイムアウト時間操作しない状態を続けるとエラーを警報して設定モードから抜けます。

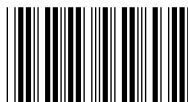


設定範囲	単位	初期値
1 ~ 255 秒	1 秒	60 秒

設定手順 :	例 :
(A) スキャン「設定開始」バーコード	2分に設定する場合
(B) スキャン「セットアップタイムアウト時間」バーコード	2分(120) ÷ 1 秒 =
(C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください	120
(D) スキャン「確定(OK)」バーコード	
(E) スキャン「設定終了」バーコード	

7-3-21 日時情報

日時情報として「年 / 月 / 日 / 時 / 分 / 秒 (YYMMDDhhmmss)」を入力します。



設定文字数
12

設定手順 :
(A) スキャン「設定開始」バーコード
(B) スキャン「日時情報」バーコード
(C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
(D) スキャン「確定(OK)」バーコード
(E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



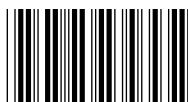
175

設定終了



7-3-2 2 蓄積データのクリア

全蓄積データを削除します。

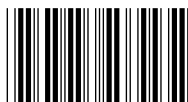


設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「蓄積データのクリア」バーコード

7-3-2 3 蓄積データ送信

Bluetooth/USB ケーブルモード時に蓄積データを送信します。



設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「蓄積データ送信」バーコード
- (C) 大ボタンを押してデータ転送開始

設定開始



176

設定終了



7-3-24 フッタ文字

蓄積データを送信する際のフッタの文字列を変更します。



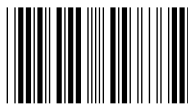
設定文字数	初期値
16	<Footer>

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「フッタ文字」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

7-3-25 ヘッダ文字

蓄積データを送信する際のフッタの文字列を変更します。



設定文字数	初期値
16	<Header>

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「ヘッダ文字」バーコードを付けます
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード

設定開始



177

設定終了



(E) スキャン「設定終了」バーコード

7-3-26 読取エリア 中央

本設定は、読み取りエリアを中央部限定する設定です。



7-3-27 読取エリア 上部設定

本設定は、読み取りエリアを上部の位置を設定です。



設定範囲	初期値
0～100	40

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「読取エリア 上部設定」バーコードを付けます
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



7-3-28 読取エリア 下部設定

本設定は、読み取りエリアを下部の位置を設定です。



設定範囲	初期値
0～100	60

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「読取エリア 下部設定」バーコードを付けます
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

7-3-29 読取エリア 左側設定

本設定は、読み取りエリアを下部の位置を設定です。



設定範囲	初期値
0～100	40

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「読取エリア 左側設定」バーコードを付けます
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



7-3-30 読取エリア 右側設定

本設定は、読み取りエリアを下部の位置を設定です。



設定範囲	初期値
0～100	60

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「読取エリア 右側設定」バーコードを付けます
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



第8章：バーコード設定

- 8-1 バーコード種別の初期値一覧
- 8-2 UPC-A
- 8-3 UPC-E
- 8-4 JAN-13(EAN-13)
- 8-5 JAN-8(EAN-8)
- 8-6 Msi
- 8-7 Gs1 Databar
- 8-8 Gs1 Databar 合成シンボル
- 8-9 Codablock
- 8-10 PDF417
- 8-11 Tlc39
- 8-12 QR
- 8-13 DataMatrix
- 8-14 MaxiCode
- 8-15 Aztec
- 8-16 ChineseSensible (HanXinCode)
- 8-17 Codabar (Nw7)
- 8-18 Code39
- 8-19 Interleaved2of5
- 8-20 Nec2of5
- 8-21 Code93
- 8-22 Straight2of5 (Industrial2of5)
- 8-23 Matrix2of5
- 8-24 Code11
- 8-25 Code 128
- 8-26 GS1-128
- 8-27 2DPostal
- 8-28 GS1 AI および GS1 FNC1
- 8-29 バーコード種別



8. バーコード設定

8-1 バーコード種別の初期値一覧

バーコードタイプ	読取	有効文字数		短縮	
		最小	最大	リード	エンド
UPC-A	許可	-	-	0	0
UPC-E	許可	-	-	0	0
JAN-13 (EAN-13)	許可	-	-	0	0
JAN-8 (EAN-8)	許可	-	-	0	0
Msi	禁止	4	48	0	0
GS1 Databar	許可	4	74	0	0
GS1 Composite	禁止	1	2,435	0	0
CodablockA	禁止	1	600	0	0
CodablockF	禁止	1	2,048	0	0
PDF417	許可	1	2,750	0	0
MicroPDF417	許可	1	366	0	0
Tlc39	禁止	-	-	0	0
QRコード	許可	1	7,089	0	0
DataMatrix	許可	1	3,116	0	0
MaxiCode	禁止	1	150	0	0
Aztec	許可	1	3,832	0	0
ChineseSensible (HanXinCode)	禁止	1	7,833	0	0
Codabar (Nw7)	許可	4	60	0	0
Code39	許可	0	48	0	0
Interleaved2of5	許可	4	80	0	0
Nec2of5	許可	4	80	0	0
Code93	許可	0	80	0	0
Straight2of5 (Industrial2of5)	禁止	4	48	0	0
Matrix2of5	禁止	4	80	0	0
Code11	禁止	4	80	0	0
Code 128	許可	0	80	0	0



バーコードタイプ	読取	有効文字数		短縮	
		最小	最大	リード	エンド
Gs1-128	許可	0	80	0	0
2DPostal	禁止	-	-	0	0
ChinaPost (HongKong2of5)	禁止	4	80	0	0
KoreaPost	禁止	4	48	0	0

設定開始



183

設定終了



8-2 UPC-A

8-2-1 読取

UPC-A バーコードのスキャン設定



8-2-2 チェックデジット

チェックデジットの検査設定



8-2-3 2桁アドオンコード

2桁アドオンコードの読取設定



設定開始



184

設定終了



8-2-4 5桁アドオンコード

5桁アドオンコードの読取設定



8-2-5 アドオンコード

アドオンコードの読取設定



8-2-6 アドオン区切り

UPC-A バーコードとアドオンコードの区別りを設定



8-2-7 クーポン Gs1DataBar 送信

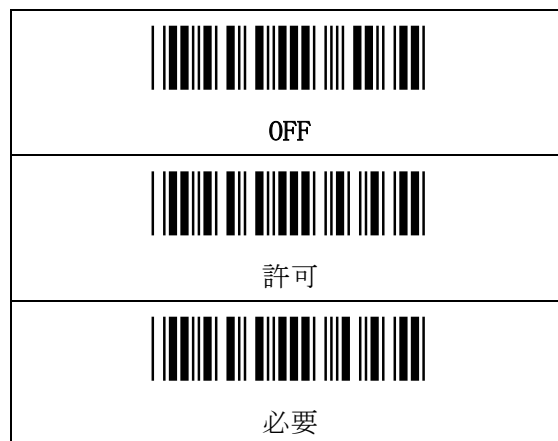
EAN/UPC コードと GS1DataBar コードを同時にスキャンした時 GS1DataBar を優先して出力する設定



8-2-8 拡張クーポンコード

UPC-A と JAN-13 (EAN-13) を拡張クーポンコードに変換する設定：

1. OFF (初期値) : スキャナはクーポンコードと拡張クーポンコードを独立したバーコードとして取り扱います
2. 許可 : クーポンコードと拡張クーポンコードをスキャンすると、1つのバーコードとしてデータを送信します。それ以外ではクーポンコードを送信します
3. 必要 : クーポンコードと拡張クーポンコードを一つのバーコードとして必ず認識します。両方のコードが読めない限り、データを送信しません



8-2-9 アドオンコード 読取時間

アドオンコードを読み取りするまでの時間を設定



設定範囲	単位	初期値
0～500ミリ秒	1ミリ秒	120ミリ秒

設定手順：	例：
(A) スキャン「設定開始」バーコード	20ミリ秒に設定する場合 20ミリ秒÷1ミリ秒 = 20
(B) スキャン「Addon デコード時間」バーコード	
(C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください	
(D) スキャン「確定(OK)」バーコード	
(E) スキャン「設定終了」バーコード	

8-2-10 UPC-A を JAN-13 に変換

UPC-A の先頭に「0」を付加して JAN-13 (EAN-13) に変換

 有効
 無効

設定開始



187

設定終了



8-2-1 1 先頭削除文字数

データの先頭より削除する桁数を設定



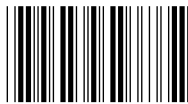
設定範囲	初期値
0 ~ 1 2	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭削除文字数」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-2-1 2 末尾削除文字数

データの末尾より削除する桁数を設定



設定範囲	初期値
0 ~ 1 2	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾削除文字数」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



8-2-13 先頭「0」削除

データの先頭「0」文字を削除する設定

 無効
 有効

8-2-14 データ1挿入位置

データ1の設定コード を挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0 ~ 1 2	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ1挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



8-2-15 挿入データ1コード

データ1の設定コードを指定



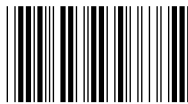
設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ1コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-2-16 データ2挿入位置

データ2の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0～12	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ2挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



190

設定終了



8-2-17 挿入データ2コード

挿入データ2の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



8-3 UPC-E

8-3-1 読取

UC-E バーコードのスキャン設定



8-3-2 UPC-A 変換

UPC-E を UPC-A へ変換するために「0」を付加する設定



8-3-3 チェックデジット

チェックデジットの検査設定



8-3-4 2桁アドオンコード

2桁アドオンコードの読取設定



8-3-5 5桁アドオンコード

5桁アドオンコードの読取設定



8-3-6 アドオンコード

アドオンコードの読取設定



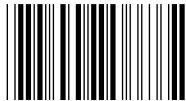
8-3-7 アドオンコード 区切り

UPC-E バーコードとアドオンコードの区切り設定



8-3-8 アドオンコード読取時間

アドオンコードを読み取りする時間設定



設定範囲	単位	初期値
0～500ミリ秒	1ミリ秒	120ミリ秒

設定手順：	例：
(A) スキャン「設定開始」バーコード	20ミリ秒に設定する 場合 $20 \text{ ミリ秒} \div 1 \text{ ミリ秒}$ $= 20$
(B) スキャン「アドオンコード読取時間」バーコード	
(C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください	
(D) スキャン「確定(OK)」バーコード	
(E) スキャン「設定終了」バーコード	

設定開始



194

設定終了



8-3-9 先頭文字削除

バーコードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～8	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-3-10 末尾文字削除

バーコードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～8	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



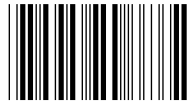
8-3-1 1 先頭「0」削除

データの先頭「0」文字を削除する設定



8-3-1 2 データ 1 挿入位置

データ 1 の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0～8	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ 1 挿入位置」バーコード
- (C) 16 進/10 進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定 (OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



8-3-13 挿入データ1コード

挿入データ1の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ1コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-3-14 データ2挿入位置

データ2の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0～8	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ2挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



197

設定終了



8-3-15 挿入データ2コード

挿入データ2の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



8-5 JAN-13 (EAN-13)

8-4-1 読取

バーコードがスキャンされることができるかどうか



8-4-2 チェックデジット

チェックデジットの検査設定



8-4-3 2桁アドオンコード

2桁アドオンコードの読取設定



8-4-4 5桁アドオンコード

5つの桁付加的コードの読取設定



8-4-5 アドオンコード

アドオンコードの読取設定



8-4-6 アドオンコード区切り

JAN-13 とアドオンコードの区切りを設定



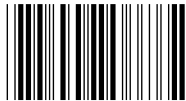
8-4-7 ISBN 変換

JAN-13 バーコードを ISBN（書籍）コードに変換設定



8-4-8 アドオンコード読取時間

アドオンコードを読み取りする時間設定



設定範囲	単位	初期値
0～500ミリ秒	1ミリ秒	120ミリ秒

設定手順：	例：
(A) スキャン「設定開始」バーコード	20ミリ秒に設定する場合 20ミリ秒÷1ミリ秒 = 20
(B) スキャン「アドオンコード読取時間」バーコード	
(C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください	
(D) スキャン「確定(OK)」バーコード	
(E) スキャン「設定終了」バーコード	

設定開始



201

設定終了



8-4-9 先頭文字削除

JAN-13 バーコードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0 ~ 1 3	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-4-10 末尾文字削除

JAN-13 バーコードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0 ~ 1 3	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



8-4-1 1 先頭「0」削除

データの先頭「0」文字を削除する設定



8-4-1 2 データ 1 挿入位置

データ 1 挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0 ~ 1 3	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ 1 挿入位置」バーコード
- (C) 16 進/10 進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定 (OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



203

設定終了



8-4-13 挿入データ 1 コード

挿入データ 1 の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ 1 コード」バーコード
- (C) 16 進/10 進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-4-14 データ 2 挿入位置

データ 2 の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0 ~ 13	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ 2 挿入位置」バーコード
- (C) 16 進/10 進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



204

設定終了



8-4-15 挿入データ2コード

挿入データ2の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



8-5 JAN-8 (EAN-8)

8-5-1 読取

JAN-8 バーコードの読み取り設定



8-5-2 チェックデジット

チェックデジットの検査設定



8-5-3 2桁アドンコード

2桁アドンコードの読取設定



8-5-4 5桁アドオンコード

5桁アドオンコードの読取設定



8-5-5 アドオンコード

アドオンコードの読取設定



8-5-6 アドオンコード区切り

JAN-8 バーコードとアドオンコードの区切りを設定



8-5-7 アドオンコード読取時間

アドオンコードを読み取りする時間設定



設定範囲	単位	初期値
0～500ミリ秒	1ミリ秒	120ミリ秒

設定手順：	例：
(A) スキャン「設定開始」バーコード	20ミリ秒に設定する場合 20ミリ秒÷1ミリ秒 = 20
(B) スキャン「アドオンコード読取時間」バーコード	
(C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください	
(D) スキャン「確定(OK)」バーコード	
(E) スキャン「設定終了」バーコード	

8-5-8 先頭文字削除

JAN-8 バーコードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～8	0

設定手順：
(A) スキャン「設定開始」バーコード
(B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
(C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
(D) スキャン「確定(OK)」バーコード
(E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



208

設定終了



8-5-9 末尾文字削除

JAN-8 バーコードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～8	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-5-10 先頭「0」削除

JAN-8 バーコードの先頭「0」を削除してデータ送信します。

 無効
 有効



8-5-1 1 データ 1 挿入位置

データ 1 の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0～8	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ 1 挿入位置」バーコード
- (C) 16 進/10 進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-5-1 2 挿入データ 1 コード

挿入データ 1 の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ 1 コード」バーコード
- (C) 16 進/10 進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



8-5-13 データ2挿入位置

データ2の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0～8	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ2挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-5-14 挿入データ2コード

挿入データ2の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



8-6 Msi

8-6-1 読取

Msi バーコードの読取設定

 禁止
 許可

8-6-2 チェックサム検証

チェックサム検証方式を指定

 Type10	 Type10 送信
 2Type10	 2Type10 送信
 Type11	 Type11 送信
 無効	

設定開始



212

設定終了



8-6-3 最小コード長

最小コード長の設定



設定範囲	初期値
4 ~ 48	4

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最小コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-6-4 最大コード長

最大コード長の設定



設定範囲	初期値
4 ~ 48	48

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最大コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



213

設定終了



8-6-5 先頭文字削除

Msi バーコードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0 ~ 48	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-6-6 末尾文字削除

Msi バーコードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0 ~ 48	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



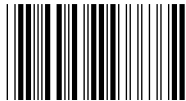
8-6-7 先頭「0」削除

Msi バーコードの先頭の「0」を削除してデータ送信します。



8-6-8 データ 1 挿入位置

データ 1 の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0 ~ 4 8	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ 1 挿入位置」バーコード
- (C) 16 進/10 進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定 (OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



8-6-9 挿入データ 1 コード

挿入データ 1 の設定コードを指定



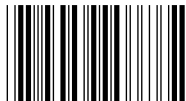
設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ 1 コード」バーコード
- (C) 16 進/10 進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-6-10 データ 2 挿入位置

データ 2 の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0 ~ 4 8	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ 2 挿入位置」バーコード
- (C) 16 進/10 進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



216

設定終了



8-6-1 1 挿入データ2コード

挿入データ2の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



8-7 Gs1Databar

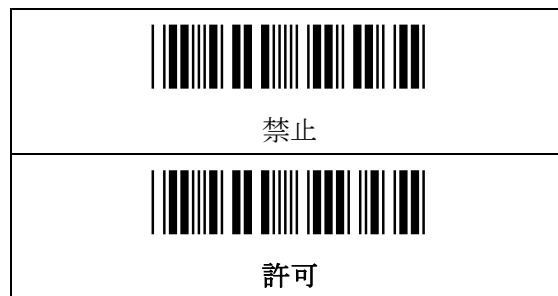
8-7-1 Omnidirectional 読取

Omnidirectional バーコードの読取設定



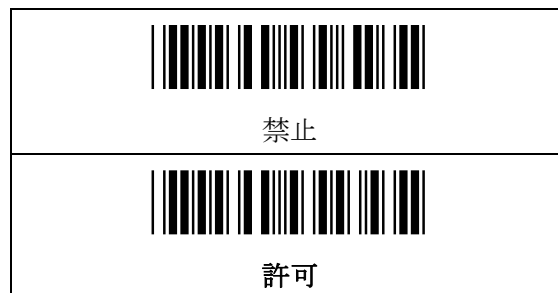
8-7-2 Limited 読取

Limited バーコードの読取設定



8-7-3 Expanded 読取

Expanded バーコードの読取設定



8-7-4 最小コード長

GS1 Databar バーコードの最小コード長を指定します



設定範囲	初期値
4 ~ 7 4	4

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最小コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-7-5 最大コード長

GS1 Databar バーコードの最大コード長を指定します



設定範囲	初期値
4 ~ 7 4	7 4




設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最大コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



8-7-6 先頭文字削除

GS1 Databar バーコードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。

 Gs1DataBar	 Gs1DataBar Limited	 Gs1DataBar Expanded
---	---	--

タイプ	設定範囲	初期値
Gs1DataBar	0 ~ 2 4 3 5	0
Gs1DataBar Limited	0 ~ 7 4	0
Gs1DataBar Expanded	0 ~ 7 4	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始






220

設定終了



8-7-7 末尾文字削除

GS1 Databar バーコードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。

		
Gs1DataBar	Gs1DataBar Limited	Gs1DataBar Expanded

タイプ	設定範囲	初期値
Gs1DataBar	0 ~ 2 4 3 5	0
Gs1DataBar Limited	0 ~ 7 4	0
Gs1DataBar Expanded	0 ~ 7 4	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-7-8 先頭「0」削除

GS1 Databar バーコードの先頭「0」を削除してデータ送信します。

Gs1DataBar :


無効

有効

設定開始



221

設定終了



Gs1DataBar Limited :

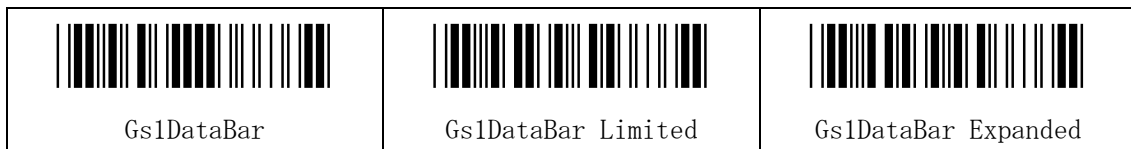


Gs1DataBar Expanded :



8-7-9 データ 1 挿入位置

データ 1 を挿入する位置を指定します



タイプ	設定範囲	初期値
Gs1DataBar	0 ~ 2 4 3 5	0
Gs1DataBar Limited	0 ~ 7 4	0
Gs1DataBar Expanded	0 ~ 7 4	0

設定手順 :

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ 1 挿入位置」バーコード
- (C) 16 進/10 進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定 (OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始






222

設定終了



8-7-10 挿入データ1コード

挿入データ1の設定コードを指定

		
Gs1DataBar	Gs1DataBar Limited	Gs1DataBar Expanded

タイプ	設定文字数	初期値
Gs1DataBar	2	空
Gs1DataBar Limited	2	空
Gs1DataBar Expanded	2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ1コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始






223

設定終了



8-7-1 1 データ 2 挿入位置

データ 2 を挿入する位置を指定します

		
Gs1DataBar	Gs1DataBar Limited	Gs1DataBarExpanded

タイプ	設定範囲	初期値
Gs1DataBar	0 ~ 2 4 3 5	0
Gs1DataBar Limited	0 ~ 7 4	0
Gs1DataBar Expanded	0 ~ 7 4	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ 2 挿入位置」バーコード
- (C) 16 進/10 進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定 (OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始






224

設定終了



8-7-1 2 挿入データ 2コード

挿入データ 2 の設定コードを指定

		
Gs1DataBar	Gs1DataBar Limited	Gs1DataBar Expanded

タイプ	設定文字数	初期値
Gs1DataBar	2	空
Gs1DataBar Limited	2	空
Gs1DataBar Expanded	2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ 2 コード」バーコード
- (C) 16 進/10 進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定 (OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



225

設定終了



8-8 GS1Databar 合成シンボル

8-8-1 読取

GS1Databar 合成シンボルの読取設定



8-8-2 JAN/UPC バージョン

JAN/UPC バーコードに付いた合成シンボルをスキャンして GS1Databar 合成シンボルとしてデータ出力する設定



8-8-3 GS1 エミュレーション

GS1Databar フォーマットへ変換してデータ出力する設定

GS1-128 : 全小売コード (JAN/EAN/UPC) を GS1-128 (16桁) へ変換 AIM ID 「]C1」 を付加する

GS1Databar : 全小売コード (JAN/EAN/UPC) を GS1Databar (16桁) へ変換 AIM ID 「]e1」 を付加する

Code Expansion Off : 全小売コード (JAN/EAN/UPC) を GS1Databar (16桁) へ変換 AIM ID を付加しない

JAN-8 to JAN-13: JAN-8 コードをスキャンして JAN-13 フォーマットに変換

 GS1-128	 GS1DataBar
 Code Expansion Off	 JAN-8 to JAN-13
 無効	



8-9 Codablock

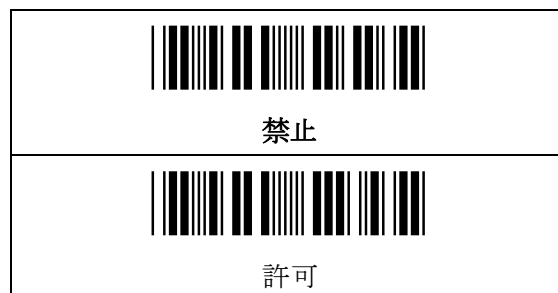
8-9-1 CodablockA 読取

CodablockA バーコードの読取設定



8-9-2 CodablockF 読取

CodablockF バーコードの読取設定



8-9-3 最小コード長

最小コード長の設定



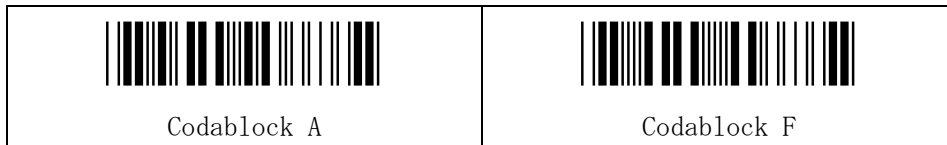
タイプ	設定範囲	初期値
Codablock A	1 ~ 6 0 0	1
Codablock F	1 ~ 2 0 4 8	1

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最小コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-9-4 最大コード長

最大コード長の設定



タイプ	設定範囲	初期値
Codablock A	1 ~ 6 0 0	6 0 0
Codablock F	1 ~ 2 0 4 8	2 0 4 8

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最大コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



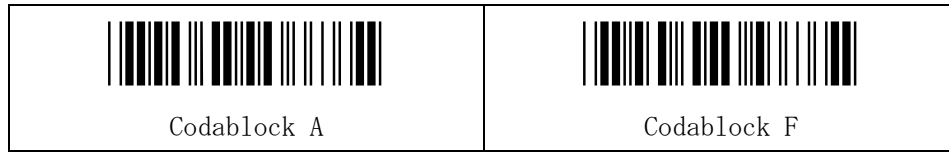
229

設定終了



8-9-5 先頭文字削除

Codablock A/F バーコードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。



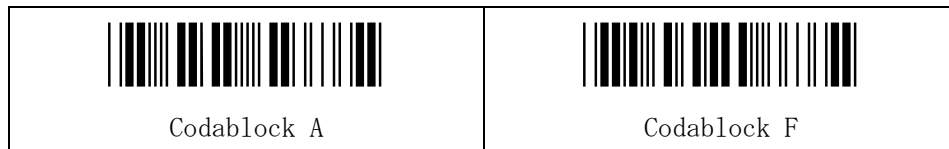
タイプ	設定範囲	初期値
Codablock A	0～600	0
Codablock F	0～2048	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-9-6 末尾文字削除

Codablock A/F バーコードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。



タイプ	設定範囲	初期値
Codablock A	0～600	0
Codablock F	0～2048	0





設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード




8-9-7 先頭「0」削除

Codablock A/F バーコードの先頭の「0」を削除してデータ送信します。

Codablock A	Codablock F
 無効	 無効
 有効	 有効

8-9-8 データ 1 挿入位置

データ 1 の設定コードを挿入する位置を指定

 Codablock A	 Codablock F
--	---

タイプ	設定範囲	初期値
Codablock A	0～600	0
Codablock F	0～2048	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ 1 挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



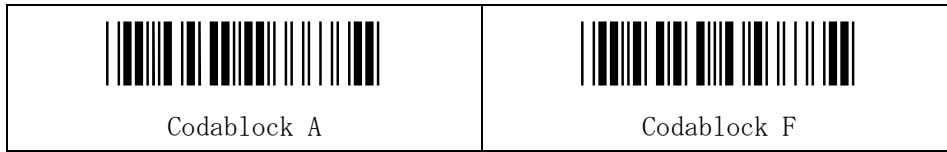
231

設定終了



8-9-9 挿入データ 1 コード

挿入データ 1 の設定コードを指定



タイプ	設定文字数	初期値
Codablock A	2	空
Codablock F	2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ 1 コード」バーコード
- (C) 16 進/10 進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-9-10 データ 2 挿入位置

データ 2 の設定コードを挿入する位置を指定



タイプ	設定範囲	初期値
Codablock A	0 ~ 6 0 0	0
Codablock F	0 ~ 2 0 4 8	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ 2 挿入位置」バーコード
- (C) 16 進/10 進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始





232

設定終了



8-9-1 1 挿入データ2コード

挿入データ2の設定コードを指定

 Codablock A	 Codablock F
--	---

タイプ	設定文字数	初期値
Codablock A	2	空
Codablock F	2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



233

設定終了



8-10 PDF417

8-10-1 PDF417 読取

PDF417 コードの読取設定



8-10-2 MacroPDF417 読取

MacroPDF417 コードの読取設定



8-10-3 低品質 PDF コード読取

低品質の印刷状態の PDF コードの読取設定



設定開始



234

設定終了



8-10-4 MicroPDF417 読取

MicroPDF417 コードの読取設定



8-10-5 最小コード長

最小コード長の設定



タイプ	設定範囲	初期値
PDF417	1 ~ 2 7 5 0	1
MicroPDF417	1 ~ 3 6 6	1

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最小コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



235

設定終了



8-10-6 最大コード長

最大コード長の設定



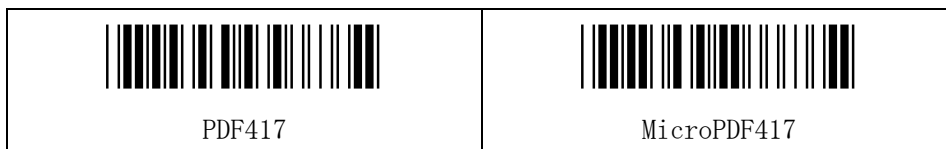
タイプ	設定範囲	初期値
PDF417	1 ~ 2 7 5 0	2 7 5 0
MicroPDF417	1 ~ 3 6 6	3 6 6

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最大コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-10-7 先頭文字削除

PDF417 コードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。



タイプ	設定範囲	初期値
PDF417	0 ~ 2 7 5 0	0
MicroPDF417	0 ~ 3 6 6	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



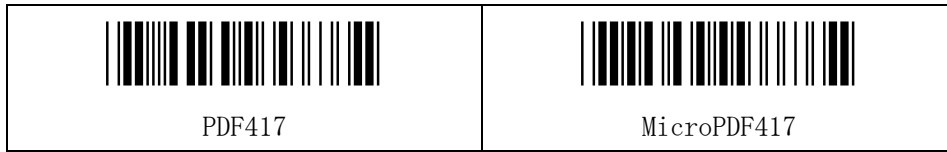
236

設定終了



8-10-8 末尾文字削除

PDF417 コードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。



タイプ	設定範囲	初期値
PDF417	0～2750	0
MicroPDF417	0～366	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-10-9 先頭「0」削除

PDF417 コードの先頭の「0」を削除してデータ送信します。

PDF417	MicroPDF417
 無効	 無効
 有効	 有効



8-10-10 データ1挿入位置

データ1の設定コードを挿入する位置を指定



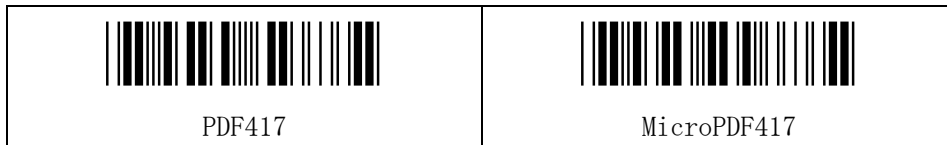
タイプ	設定範囲	初期値
PDF417	0～2750	0
MicroPDF417	0～366	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ1挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-10-11 挿入データ1コード

挿入データ1の設定コードを指定



タイプ	設定文字数	初期値
PDF417	2	空
MicroPDF417	2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ1コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



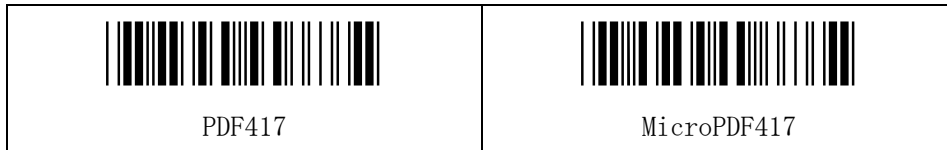
238

設定終了



8-10-12 データ2挿入位置

データ2の設定コードを挿入する位置を指定



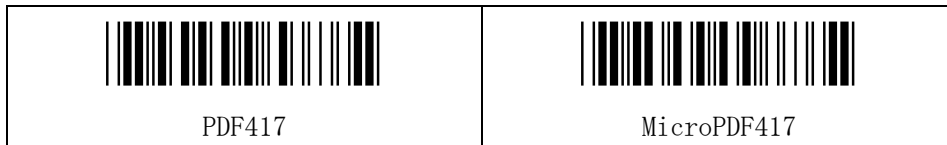
タイプ	設定範囲	初期値
PDF417	0～2750	0
MicroPDF417	0～366	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ2挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-10-13 挿入データ2コード

挿入データ2の設定コードを指定



タイプ	設定文字数	初期値
PDF417	2	空
MicroPDF417	2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



239

設定終了



8-1 1 TLC39

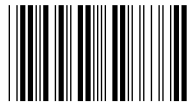
8-1 1-1 読取

TLC39 バーコードの読取設定



8-1 1-2 先頭文字削除

TLC39 バーコードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0 ~ 48	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



240

設定終了



8-11-3 末尾文字削除

TLC39 バーコードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。





設定範囲	初期値
0～48	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-11-4 先頭「0」削除

TLC39 バーコードの先頭の「0」を削除してデータ送信します。

 無効
 有効



8-11-5 データ1挿入位置

データ1の設定コードを挿入する位置を指定



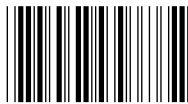
設定範囲	初期値
0～48	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ1挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-11-6 挿入データ1コード

挿入データ1の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ1コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



242

設定終了



8-11-7 データ2挿入位置

データ2の設定コードを挿入する位置を指定



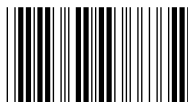
設定範囲	初期値
0～48	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ2挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-11-8 挿入データ2コード

差し込まれるために data2 を組み立てるために



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



243

設定終了



8-1 2 QRコード

8-1 2-1 読取

QRコードの読取設定 (Micro QRコードを含む)



8-1 2-2 連結 QRコード

連結 QRコードの読取設定



設定開始



244

設定終了



8-12-3 最小コード長

最小コード長の設定



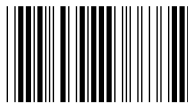
設定範囲	初期値
1～7089	1

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最小コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-12-4 最大コード長

最大コード長の設定



設定範囲	初期値
1～7089	7089

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最大コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



245

設定終了



8-12-5 先頭文字削除

QR コードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～7089	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-12-6 末尾文字削除

QR コードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～7089	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



246

設定終了



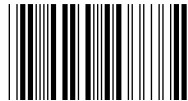
8-12-7 先頭「0」削除

QRコードの先頭の「0」を削除してデータ送信します。



8-12-8 データ1挿入位置

データ1の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0～7089	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ1挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



8-12-9 挿入データ1コード

挿入データ1の設定コードを指定



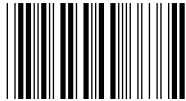
設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ1コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-12-10 データ2挿入位置

データ2の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0～7089	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ2挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



248

設定終了



8-12-11 挿入データ2コード

挿入データ2の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



8-1-3 DataMatrix

8-1-3-1 読取

DataMatrix コードの読取設定



8-1-3-2 最小コード長

最小コード長の設定



設定範囲	初期値
1 ~ 3 1 1 6	1

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最小コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



250

設定終了



8-13-3 最大コード長

最大コード長の設定



設定範囲	初期値
1～3116	3116

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最大コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-13-4 先頭文字削除

DataMatrix コードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～3116	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



251

設定終了



8-13-5 末尾文字削除

DataMatrix コードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～3 1 1 6	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-13-6 先頭「0」削除

DataMatrix コードの先頭の「0」を削除してデータ送信します。

 無効
 有効

設定開始



252

設定終了



8-13-7 データ1挿入位置

データ1の設定コードを挿入する位置を指定



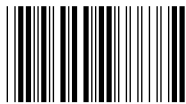
設定範囲	初期値
0～3116	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ1挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-13-8 挿入データ1コード

挿入データ1の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ1コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



253

設定終了



8-13-9 データ2挿入位置

DataMatrix データ2の設定コードを挿入する位置を指定



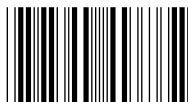
設定範囲	初期値
0～3116	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ2挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-13-10 挿入データ2コード

差し込まれるために data2 を組み立てるために



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



254

設定終了



8-1 4 MaxiCode

8-1 4-1 読取

Maxi コードの読取設定



8-1 4-2 最小コード長

最小コード長の設定



設定範囲	初期値
1 ~ 150	1

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最小コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



255

設定終了



8-14-3 最大コード長

最大コード長の設定



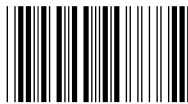
設定範囲	初期値
1～150	150

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最大コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-14-4 先頭文字削除

Maxi コードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～150	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



256

設定終了



8-14-5 末尾文字削除

Maxi コードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～150	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-14-6 先頭「0」削除

Maxi コードの先頭の「0」を削除してデータ送信します。

 無効
 有効



8-14-7 データ1挿入位置

データ1の設定コードを挿入する位置を指定



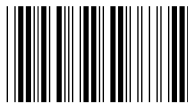
設定範囲	初期値
0～150	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ1挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-14-8 挿入データ1コード

挿入データ1の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ1コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



258

設定終了



8-14-9 データ2挿入位置

データ2の設定コードを挿入する位置を指定



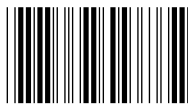
設定範囲	初期値
0～150	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ2挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-14-10 挿入データ2コード

差し込まれるために data2 を組み立てるために



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



259

設定終了



8-15 AZTEC

8-15-1 読取

AZTEC コードの読取設定



8-15-2 連結 AZTEC

連結 QR コードの読取設定



設定開始



260

設定終了



8-15-3 最小コード長

最小コード長の設定



設定範囲	初期値
1 ~ 3 8 3 2	1

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最小コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-15-4 最大コード長

最大コード長の設定



設定範囲	初期値
1 ~ 3 8 3 2	3 8 3 2

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最大コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



261

設定終了



8-15-5 先頭文字削除

AZTEC コードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～3832	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-15-6 末尾文字削除

AZTEC コードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～3832	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



262

設定終了



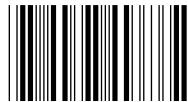
8-15-7 先頭「0」削除

AZTEC コードの先頭の「0」を削除してデータ送信します。



8-15-8 データ1挿入位置

データ1の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0～3832	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ1挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



263

設定終了



8-15-9 挿入データ1コード

挿入データ1の設定コードを指定



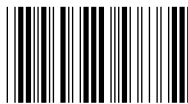
設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ1コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-15-10 データ2挿入位置

データ2の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0～3832	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ2挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



264

設定終了



8-15-11 挿入データ2コード

挿入データ2の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



265

設定終了



8-16 ChineseSensible (HanXin)

8-16-1 読取

ChineseSensible (HanXin) コードの読取設定



8-16-2 最小コード長

最小コード長の設定



設定範囲	初期値
1 ~ 7 8 3 3	1

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最小コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



266

設定終了



8-16-3 最大コード長

最大コード長の設定



設定範囲	初期値
1～7833	7833

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最大コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-16-4 先頭文字削除

ChineseSensible (HanXin) コードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～7833	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



267

設定終了



8-16-5 末尾文字削除

ChineseSensible (HanXin) コードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～7833	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-16-6 先頭「0」削除

ChineseSensible (HanXin) コードの先頭の「0」を削除してデータ送信します。

 無効
 有効



8-16-7 データ1挿入位置

データ1の設定コードを挿入する位置を指定



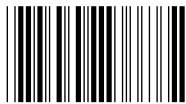
設定範囲	初期値
0～7833	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ1挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-16-8 挿入データ1コード

挿入データ1の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ1コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



269

設定終了



8-16-9 データ2挿入位置

データ2の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0 ~ 7833	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ2挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-16-10 挿入データ2コード

挿入データ2の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



270

設定終了



8-17 Codabar (NW7)

8-17-1 読取

Codabar バーコードの読取設定



8-17-2 スタート/ストップ出力

Codabar バーコードのスタート/ストップ文字出力設定



設定開始






271

設定終了






8-17-3 チェックサム検証

チェックサム検証方式を指定

 無効
 Modulo 16 (未出力)
 Modulo 16 (出力)

8-17-4 連結

Codabar のスタート「D」文字を検出するとストップ「D」文字の Codabar を検索して連結します。

 禁止
 許可
 必要



8-17-5 最小コード長

最小コード長の設定



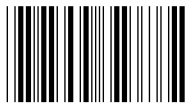
設定範囲	初期値
2～60	4

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最小コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-17-6 最大コード長

最大コード長の設定



設定範囲	初期値
2～60	60

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最大コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



273

設定終了



8-17-7 連続確認

正読判定するまで連続して同じデータをデコードする回数を設定



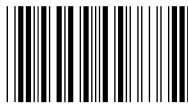
設定範囲	初期値
0～10	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「連続確認」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-17-8 連結確認時間

連結バーコードを検索する時間設定



設定範囲	単位	初期値
10～4000ミリ秒	1ミリ秒	800ミリ秒

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「連結確認時間」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



8-17-9 先頭文字削除

Codabar バーコードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します



設定範囲	初期値
0 ~ 60	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-17-10 末尾文字削除

Codabar バーコードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0 ~ 60	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



275

設定終了



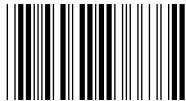
8-17-11 先頭「0」削除

Codabar バーコードの先頭の「0」を削除してデータ送信します。



8-17-12 データ1挿入位置

データ1の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0 ~ 6 0	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ1挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



8-17-13 挿入データ 1コード

挿入データ 1 の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ 1コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-17-14 データ 2 挿入位置

データ 2 の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0 ~ 60	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ 2 挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



277

設定終了



8-17-15 挿入データ2コード

挿入データ2の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

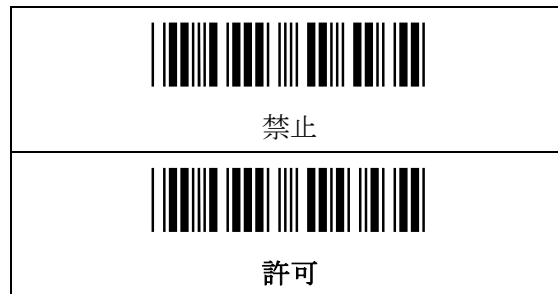
- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



8-18 Code39

8-18-1 読取

Code39 バーコードの読取設定



8-18-2 チェックサム検証

チェックサム検証方式を指定



設定開始



279

設定終了



8-18-3 スタート/ストップ出力

Code39 バーコードのスタート/ストップ「*」出力設定



8-18-4 タイプ

Code39 タイプ別の読取設定



設定開始



280

設定終了



8-18-5 最小コード長

最小コード長の設定



設定範囲	初期値
0～48	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最小コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-18-6 最大コード長

最大コード長の設定



設定範囲	初期値
0～48	48

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最大コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



281

設定終了



8-18-7 連続読取確認

正読判定するまで連続して同じデータをデコードする回数を設定



設定範囲	初期値
0 ~ 10	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「連続読取確認」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-18-8 Code32 フォーム

スキャン結果を Code32 フォームへ変換指定

 無効
 有効

設定開始



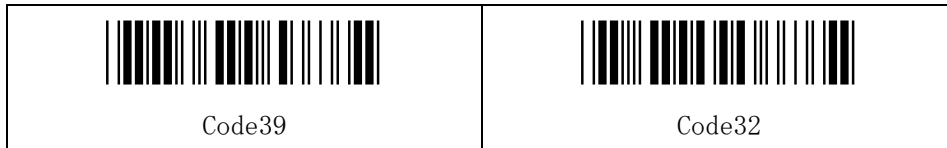
282

設定終了



8-18-9 先頭文字削除

Code39 バーコードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。



タイプ	設定範囲	初期値
Code39	0 ~ 48	0
Code32	0 ~ 48	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-18-10 末尾文字削除

Code39 バーコードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。



タイプ	設定範囲	初期値
Code39	0 ~ 48	0
Code32	0 ~ 48	0





設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード





8-18-11 先頭「0」削除

Code39 バーコードの先頭の「0」を削除してデータ送信します。

Code39	Code32
 無効	 無効
 有効	 有効

8-18-12 データ 1 挿入位置

データ 1 の設定コードを挿入する位置を指定

 Code39	 Code32
---	--

タイプ	設定範囲	初期値
Code39	0 ~ 4 8	0
Code32	0 ~ 4 8	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ 1 挿入位置」バーコード
- (C) 16 進/10 進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定 (OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



284

設定終了



8-18-13 挿入データ1コード

挿入データ1の設定コードを指定



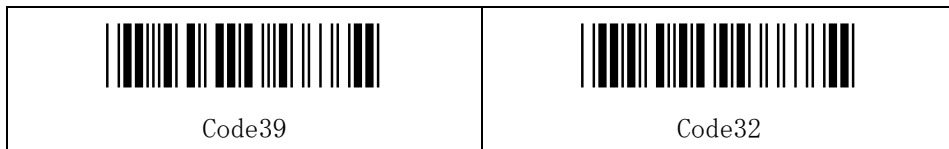
タイプ	設定文字数	初期値
Code39	2	空
Code32	2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ1コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-18-14 データ2挿入位置

データ2の設定コードを挿入する位置を指定



タイプ	設定範囲	初期値
Code39	0 ~ 4 8	0
Code32	0 ~ 4 8	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ2挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



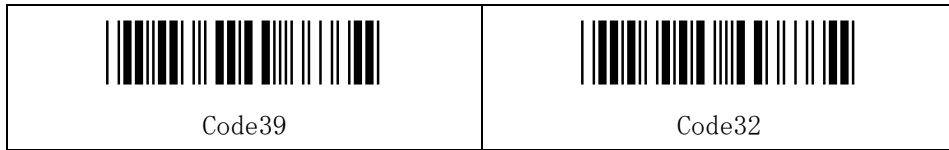
285

設定終了



8-18-15 挿入データ2コード

挿入データ2の設定コードを指定



タイプ	設定文字数	初期値
Code39	2	空
Code32	2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



286

設定終了



8-19 Interleaved2of5 (ITF)

8-19-1 読取

Interleaved 2of5 バーコードの読取設定



8-19-2 チェックサム検証

チェックサム検証方式を指定



8-19-3 最小コード長

最小コード長の設定



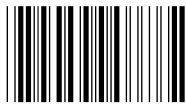
設定範囲	初期値
2 ~ 80	4

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最小コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-19-4 最大コード長

最大コード長の設定



設定範囲	初期値
2 ~ 80	80

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最大コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



288

設定終了



8-19-5 先頭文字削除

Interleaved 2of5 バーコードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-19-6 末尾文字削除

Interleaved 2of5 バーコードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



8-19-7 先頭「0」削除

Interleaved 2of5 バーコードの先頭の「0」を削除してデータ送信します。



8-19-8 データ1挿入位置

データ1の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ1挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



290

設定終了



8-19-9 挿入データ1コード

挿入データ1の設定コードを指定



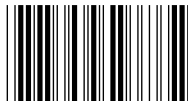
設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ1コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-19-10 データ2挿入位置

データ2の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ2挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



8-19-1 1 挿入データ2コード

挿入データ2の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



292

設定終了



8-20 NEC 2of5

8-20-1 読取

NEC 2of5 バーコードの読取設定



8-20-2 チェックサム検証

検査数字と検査数字を送るべきかどうかの規制を準備するために



8-20-3 最小コード長

最小コード長の設定



設定範囲	初期値
2～80	4

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最小コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-20-4 最大コード長

最大コード長の設定



設定範囲	初期値
2～80	80

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最大コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



294

設定終了



8-20-5 先頭文字削除

NEC 2of5 バーコードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-20-6 末尾文字削除

NEC 2of5 バーコードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



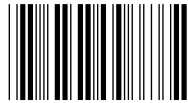
8-20-7 先頭「0」削除

NEC 2of5 バーコードの先頭の「0」を削除してデータ送信します。



8-20-8 データ1挿入位置

データ1の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ1挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



296

設定終了



8-20-9 挿入データ1コード

挿入データ1の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ1コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-20-10 データ2挿入位置

データ2の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ2挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



297

設定終了



8-20-11 挿入データ2コード

挿入データ2の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



298

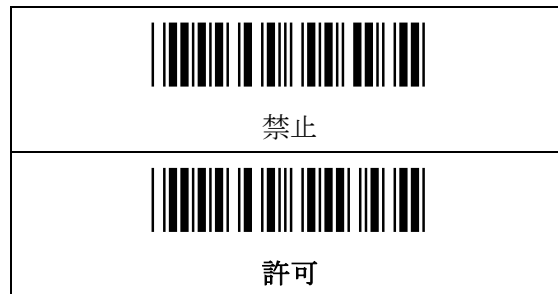
設定終了



8-2 1 Code93

8-2 1-1 読取

Code93 バーコードの読取設定



8-2 1-2 付加

付加情報の読取設定



設定開始



299

設定終了



8-2 1-3 最小コード長

最小コード長の設定



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最小コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-2 1-4 最大コード長

最大コード長の設定



設定範囲	初期値
0～80	80

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最大コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



300

設定終了



8-2 1-5 先頭文字削除

Code93 バーコードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。



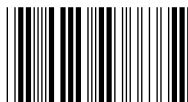
設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-2 1-6 末尾文字削除

Code93 バーコードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



301

設定終了



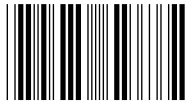
8-21-7 先頭「0」削除

Code93 バーコードの先頭の「0」を削除してデータ送信します。



8-21-8 データ1挿入位置

データ1の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ1挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



302

設定終了



8-21-9 挿入データ1コード

挿入データ1の設定コードを指定



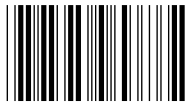
設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ1コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-21-10 データ2挿入位置

データ2の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ2挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード



8-2 1-1 1 挿入データ 2コード

挿入データ 2 の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ 2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



304

設定終了



8-2-2 Straight2of5 (Industrial2of5)

8-2-2-1 読取

Straight 2of5 バーコードの読取設定

Straight2of5	Straight2of5 IATA
 禁止	 禁止
 許可	 許可

8-2-2-2 最小コード長

最小コード長の設定

MZ3+	*PZ6+*
Straight2of5	Straight2of5 IATA

タイプ	設定範囲	初期値
Straight2of5	1 ~ 4 8	4
Straight2of5 IATA	1 ~ 4 8	4

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最小コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



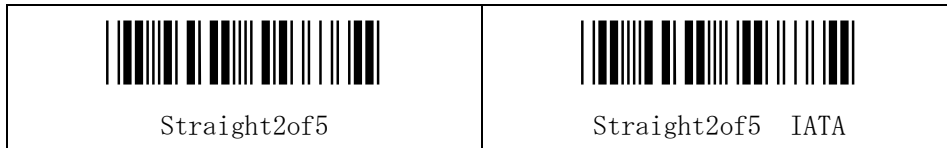
305

設定終了



8-2 2-3 最大コード長

最大コード長の設定



タイプ	設定範囲	初期値
Straight2of5	1 ~ 4 8	4 8
Straight2of5 IATA	1 ~ 4 8	4 8

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最大コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-2 2-4 Straight2of5 IATA 連続読取確認

正読判定するまで連続して同じデータをデコードする回数を設定



設定範囲	初期値
0 ~ 1 0	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「Straight2of5 IATA 連続読取確認」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



306

設定終了



8-2 2-5 先頭文字削除

Straight 2of5 バーコードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0 ~ 4 8	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-2 2-6 末尾文字削除

Straight 2of5 バーコードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0 ~ 4 8	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



307

設定終了



8-22-7 先頭「0」削除

Straight 2of5 バーコードの先頭の「0」を削除してデータ送信します。



8-22-8 データ1挿入位置

データ1の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0 ~ 48	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ1挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



308

設定終了



8-22-9 挿入データ1コード

挿入データ1の設定コードを指定



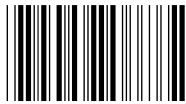
設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ1コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-22-10 データ2挿入位置

データ2の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0 ~ 48	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ2挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



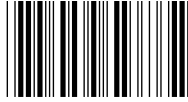
309

設定終了



8-2 2-1 1 挿入データ 2 コード

挿入データ 2 の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順 :

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ 2 コード」バーコード
- (C) 16 進/10 進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定 (OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



310

設定終了



8-23 Matrix2of5

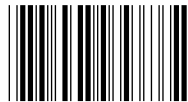
8-23-1 読取

Matrix2of5 バーコードの読取設定



8-23-2 最小コード長

最小コード長の設定



設定範囲	初期値
1 ~ 80	4

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最小コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



311

設定終了



8-23-3 最大コード長

最大コード長の設定



設定範囲	初期値
1～80	80

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最大コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-23-4 先頭文字削除

Matrix2of5 バーコードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



312

設定終了



8-23-5 末尾文字削除

Matrix2of5 バーコードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-23-6 先頭「0」削除

Matrix2of5 バーコードの先頭の「0」を削除してデータ送信します。

 無効
 有効



8-23-7 データ1挿入位置

データ1の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ1挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-23-8 挿入データ1コード

挿入データ1の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ1コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



314

設定終了



8-23-9 データ2挿入位置

データ2の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ2挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-23-10 挿入データ2コード

挿入データ2の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



315

設定終了



8-24 Code11

8-24-1 読取

Code11 バーコードの読取設定



8-24-2 チェックサム検証

チェックサム検証方式を指定



設定開始



316

設定終了



8-24-3 最小コード長

最小コード長の設定



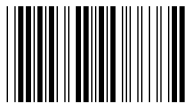
設定範囲	初期値
1～80	4

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最小コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-24-4 最大コード長

最大コード長の設定



設定範囲	初期値
1～80	80

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最大コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



317

設定終了



8-24-5 先頭文字削除

Code11 バーコードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-24-6 末尾文字削除

Code11 バーコードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



318

設定終了



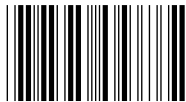
8-24-7 先頭「0」削除

Code11 バーコードの先頭の「0」を削除してデータ送信します。



8-24-8 データ1挿入位置

データ1の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ1挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



319

設定終了



8-24-9 挿入データ1コード

挿入データ1の設定コードを指定



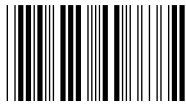
設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ1コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-24-10 データ2挿入位置

データ2の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0 ~ 80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ2挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



320

設定終了



8-24-11 挿入データ2コード

挿入データ2の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



321

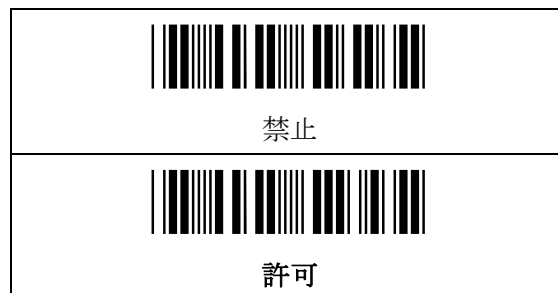
設定終了



8-25 Code128

8-25-1 読取

Code128 バーコードの読取設定



8-25-2 付加

付加情報の読取設定



設定開始



322

設定終了



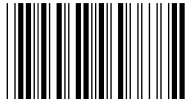
8-25-3 ISBT 連結

ISBT128 の読取設定

 無効
 有効

8-25-4 最小コード長

最小コード長の設定



設定範囲	初期値
0 ~ 80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最小コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



323

設定終了



8-25-5 最大コード長

最大コード長の設定



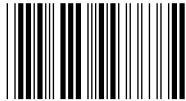
設定範囲	初期値
0～80	80

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最大コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-25-6 先頭文字削除

Code128 バーコードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



324

設定終了



8-25-7 末尾文字削除

Code128 バーコードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-25-8 先頭「0」削除

Code128 バーコードの先頭の「0」を削除してデータ送信します。

 無効
 有効

設定開始



325

設定終了



8-25-9 データ1挿入位置

data1 を差し込むポジションを構えるために



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ1挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-25-10 挿入データ1コード

挿入データ1の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ1コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



326

設定終了



8-25-11 データ2挿入位置

データ2の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ2挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-25-12 挿入データ2コード

挿入データ2の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



327

設定終了



8-26 GS1-128

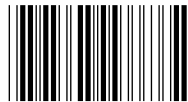
8-26-1 読取

GS1-128 バーコードの読取設定



8-26-2 最小コード長

最小コード長の設定



設定範囲	初期値
0 ~ 80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最小コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



328

設定終了



8-26-3 最大コード長号長

最大コード長の設定



設定範囲	初期値
0～80	80

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「最大コード長」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-26-4 先頭文字削除

GS1-128 バーコードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



329

設定終了



8-26-5 末尾文字削除

GS1-128 バーコードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。



設定範囲	初期値
0 ~ 80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-26-6 先頭「0」削除

GS1-128 バーコードの先頭の「0」を削除してデータ送信します。

 無効
 有効



8-26-7 データ1挿入位置

データ1の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ1挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-26-8 挿入データ1コード

挿入データ1の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ1コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



331

設定終了



8-26-9 データ2挿入位置

データ2の設定コードを挿入する位置を指定



設定範囲	初期値
0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ2挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

8-26-10 挿入データ2コード

挿入データ2の設定コードを指定



設定文字数	初期値
2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



332































設定終了



8-27 二次元郵便コード

8-27-1 読取

二次元郵便コードの読取設定

 無効	 AustralianPost	 InfoMail
 日本郵便	 KIXPost (NetherlandsPost)	 PlanetCode (PLA)
 Postnet (P0)	 BritishPost	 InfoMail / BritishPost
 Postal-4i (POS4)	 IntelligentMail (IM)	 PostnetB / B'Fields
 Planet / Postnet	 Planet / Postal-4i	 Postnet / Postal-4i
 Planet / IM	 Postnet / IM	 Postal-4i / IM
 PLA / POSB / B'F	 POS4 / POSB / B'F	 IM / POSB / B'F
 PLA、P0、POS4	 PLA、POS、IM	 PLA、POS4、IM
 POS、POS4、IM	 PLA、POS4、POSB/B'F	 PLAS、IM、POSB / B'F
		


設定開始



333

設定終了



POS4、IM、POSB / B' F	PLA、POS4、IM、PO	PLA、POS4、IM、POSB / B' F
 CanadianPost		


8-27-2 Postnet チェックデジット送信

Postnet コードのチェックデジット数字の送信設定

 無効
 有効

8-27-3 Plant チェックデジット送信











Planet コードのチェックデジット数字の送信設定

 無効
 有効



8-27-4 先頭文字削除

バーコードの先頭から指定文字数削除してデータ送信します。

 AustralianPost	 InfoMail	 日本郵便
 PlanetCode	 Postnet	 BritishPost
 Postal4i	 IntelligentMail	 CanadianPost
 NetherlandsPost		

タイプ	設定範囲	初期値
AustralianPost	0～80	0
InfoMail	0～80	0
日本郵便	0～80	0
PlanetCode	0～80	0
Postnet	0～80	0
BritishPost	0～80	0
Postal4i	0～80	0
IntelligentMail	0～80	0
CanadianPost	0～80	0
NetherlandsPost	0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「先頭文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始













335

設定終了



8-27-5 末尾文字削除

バーコードの末尾から指定文字数削除してデータ送信します。

 AustralianPost	 InfoMail	 日本郵便
 PlanetCode	 Postnet	 BritishPost
 Postal4i	 IntelligentMail	 CanadianPost
 NetherlandsPost		

タイプ	設定範囲	初期値
AustralianPost	0～80	0
InfoMail	0～80	0
日本郵便	0～80	0
PlanetCode	0～80	0
Postnet	0～80	0
BritishPost	0～80	0
Postal4i	0～80	0
IntelligentMail	0～80	0
CanadianPost	0～80	0
NetherlandsPost	0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「末尾文字削除」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始























336

設定終了



8-27-6 先頭「0」削除

バーコードの先頭の「0」を削除してデータ送信します。

AustralianPost	InfoMail	日本郵便
 無効	 無効	 無効
 有効	 有効	 有効
PlanetCode	Postnet	BritishPost
 無効	 無効	 無効
 有効	 有効	 有効
Postal4i	IntelligentMail	CanadianPost
 無効	 無効	 無効
 有効	 有効	 有効
NetherlandsPost		
 無効		
 有効		



8-27-7 データ1挿入位置

データ1の設定コードを挿入する位置を指定

 AustralianPost	 InfoMail	 日本郵便
 PlanetCode	 Postnet	 BritishPost
 Postal4i	 IntelligentMail	 CanadianPost
 NetherlandsPost		

タイプ	設定範囲	初期値
AustralianPost	0～80	0
InfoMail	0～80	0
日本郵便	0～80	0
PlanetCode	0～80	0
Postnet	0～80	0
BritishPost	0～80	0
Postal4i	0～80	0
IntelligentMail	0～80	0
CanadianPost	0～80	0
NetherlandsPost	0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ1挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



338

設定終了



8-27-8 挿入データ1コード

差し込まれるために data1 を組み立てるために

 AustralianPost	 InfoMail	 日本郵便
 PlanetCode	 Postnet	 BritishPost
 Postal4i	 IntelligentMail	 CanadianPost
 NetherlandsPost		

タイプ	設定文字数	初期値
AustralianPost	2	空
InfoMail	2	空
日本郵便	2	空
PlanetCode	2	空
Postnet	2	空
BritishPost	2	空
Postal4i	2	空
IntelligentMail	2	空
CanadianPost	2	空
NetherlandsPost	2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ1コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



339

設定終了



8-27-9 データ2挿入位置

data2 を差し込むポジションを構えるために

 AustralianPost	 InfoMail	 日本郵便
 PlanetCode	 Postnet	 BritishPost
 Postal4i	 IntelligentMail	 CanadianPost
 NetherlandsPost		

タイプ	設定範囲	初期値
AustralianPost	0～80	0
InfoMail	0～80	0
日本郵便	0～80	0
PlanetCode	0～80	0
Postnet	0～80	0
BritishPost	0～80	0
Postal4i	0～80	0
IntelligentMail	0～80	0
CanadianPost	0～80	0
NetherlandsPost	0～80	0

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「データ2挿入位置」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



340

設定終了



8-27-10 挿入データ2コード

差し込まれるために data2 を組み立てるために

 AustralianPost	 InfoMail	 日本郵便
 PlanetCode	 Postnet	 BritishPost
 Postal4i	 IntelligentMail	 CanadianPost
 NetherlandsPost		

タイプ	設定文字数	初期値
AustralianPost	2	空
InfoMail	2	空
日本郵便	2	空
PlanetCode	2	空
Postnet	2	空
BritishPost	2	空
Postal4i	2	空
IntelligentMail	2	空
CanadianPost	2	空
NetherlandsPost	2	空

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「挿入データ2コード」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



341

設定終了



8-2 8 Gs1 AI および GS1 FNC1

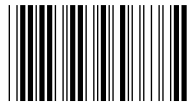
8-2 8-1 AI 区切り

GS1DataBar のアプリケーション拡張子 (AI) の区切り設定



8-2 8-2 AI 区切り文字

GS1DataBar のアプリケーション拡張子 (AI) 区切り文字の指定



設定文字数	初期値
1	(

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「AI 区切り文字」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



342

設定終了



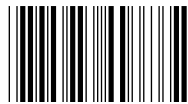
8-28-3 FNC1 区切り

GS1DataBar の FNC1 の区切り設定



8-28-4 FNC1 区切り文字

GS1DataBar のアプリケーション拡張子 (AI) 区切り文字の指定



設定文字数	初期値
1	<GS> (0x1D)

設定手順：

- (A) スキャン「設定開始」バーコード
- (B) スキャン「FNC1 区切り文字」バーコード
- (C) 16進/10進表からパラメータをスキャンしてください
- (D) スキャン「確定(OK)」バーコード
- (E) スキャン「設定終了」バーコード

設定開始



343

設定終了



8-29 バーコード種別

8-29-1 バーコード種別 ID 初期値

バーコード種別	設定文字数	初期値
UPCA	2	c
UPCE	2	E
JAN-13 (EAN13)	2	d
JAN-8 (EAN8)	2	D
Msi	2	g
GS1DataBar	2	y
GS1DataBar Limited	2	{
GS1DataBar Expanded	2	}
CodablockA	2	V
CodablockF	2	q
Pdf417	2	r
MicroPdf417	2	R
Tlc39	2	T
QR	2	s
DataMatrix	2	w
Maxi	2	x
Aztec	2	z
ChineseSensible (HanXinCode)	2	H
Codabar	2	a
Code39	2	b
Code32	2	<
Interleaved2of5	2	e
Nec2of5	2	Y
Code93	2	i
Straight2of5	2	f
Matrix2of5	2	m
Code11	2	h



















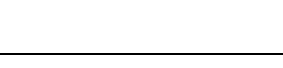
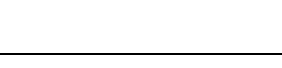

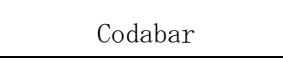
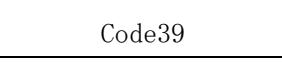
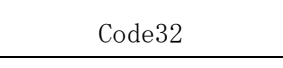
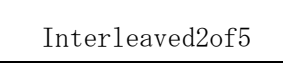
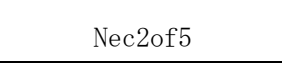
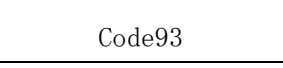
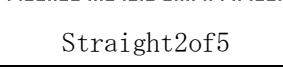
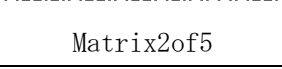



バーコード種別	設定文字数	初期値
Code128	2	j
GS1-128	2	I
AustralianPost	2	A
InfoMail	2	,
日本郵便	2	J
KIXPost (NetherlandsPost)	2	K
PlanetCode	2	L
Postnet	2	P
BritishPost	2	B
Postal4i	2	n
IntelligentMail	2	M
CanadianPost	2	C
ChinaPost2of5	2	Q









8-29-2 バーコード種別 ID コード

バーコード ID コードを設定。6-1-29、6-2-29、6-3-27「バーコード種別 ID」が「有効」に設定されている時に表示する。

 UPCA	 UPCE	 JAN-13 (EAN13)
 JAN-8 (EAN8)	 Msi	 Gs1DataBar
 Gs1DataBarLimited	 Gs1DataBarExpanded	 CodablockA
 CodablockF	 Pdf417	 MicroPdf417
 T1c39	 QRCode	 DataMatrix
 MaxiCode	 AztecCode	 ChineseSensible (HanXinCode)
 Codabar	 Code39	 Code32
 Interleaved2of5	 Nec2of5	 Code93
 Straight2of5	 Matrix2of5	 Code11
		



Code128  InfoMail	Gs1128  日本郵便	AustralianPost  KIXPost (NetherlandsPost)
PlanetCode  PlanetCode	Postnet  Postnet	BritishPost  BritishPost
Postal4i  Postal4i	IntelligentMail  IntelligentMail	CanadianPost  CanadianPost
ChinaPost2of5  ChinaPost2of5	KoreaPost  KoreaPost	

設定開始













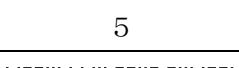
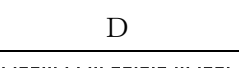
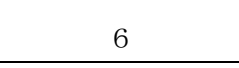
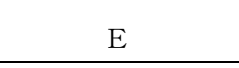


347

設定終了



16進数 / 10進数 表

16進数 / 10進数 表	
 0	 8
 1	 9
 2	 A
 3	 B
 4	 C
 5	 D
 6	 E
 7	 F



確定 (OK)

設定開始



348

設定終了



ASCIIコード表











LH	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	「	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	「	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	「	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	¥	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	n	^	n	~
F	/	?	O	-	o	DEL

LH	0 (※)	1 (※)	0	1
0	Nul		NUL	DLE
1	上	F1	SOH	DC1
2	下	F2	STX	DC2
3	左	F3	ETX	DC3
4	右	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	BS	F8	BS	CAN
9	TAB	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUM
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl +	SO	RS
F	Delete	Alt +	SI	US

(※) キーボード入力時のみ有効



BTR-UK3 ドングル言語設定

言語設定開始		
言語	米国	
	英国	
	日本	
	フランス	
	ドイツ	
	イタリア	
	スペイン	
	ポルトガル	
言語設定終了		

注意：

BTR-UK3 と接続状態のみ有効な設定です。

最初に「言語設定開始」「言語（最後にスキャンした値）」「言語設定終了」の順でスキャンします。

設定開始



350

設定終了

